

平成28年度

岡谷市教育要覧



岡谷市教育委員会

岡谷市幸町8番1号

TEL (0266) 23-4811番

FAX (0266) 24-2755番

岡谷市ホームページ <http://www.city.okaya.lg.jp>

岡谷市民憲章

緑と湖にまつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力を受けつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは、

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。

自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。

心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。

教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

仕事に誇りを持ち、豊かな産業のまちをつくります。

(昭和 46 年 7 月 1 日制定)

人権尊重都市宣言

わたくしたちは誰もが等しく基本的人権が保障され、人間らしく幸せに生活したいと願っています。

市民憲章では「あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。」と掲げ、全市民が人権意識を高めるための努力をしています。

しかし、わたくしたちの周りには、さまざまな人権問題が存在していることも事実です。今こそ、人権の尊重は、市民一人ひとりの課題として受けとめ、明るく住みよいまちづくりのために努めなければなりません。

よって、わたくしたちは、基本的人権を正しく理解し、あらゆる人権侵害をなくすことを誓い、ここに岡谷市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

(平成 8 年 3 月 21 日宣言)

おかや子育て憲章

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

明るく元気で健やかな子どもに育てます。

命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。

自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。

行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。

力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

(平成 14 年 4 月 1 日制定)

岡谷市のおいたち

縄文時代

この地に私達の祖先の縄文人が住むようになったのは、今からおよそ1万年前、縄文時代の最も早い時期にさかのぼります。豊かな湖と山野に囲まれ、東西文化の接点という交流の要衝として、また和田峠の黒曜石の集散地として縄文時代全般にわたって、大きなムラが営まれました。

弥生時代

諏訪地方では最も早く稲作農耕の技術が伝わり、大小の沢、湧水地、天竜川縁辺に大きなムラが発達し、たくさんの玉類を身に付けた王者が存在するほど発展します。

古墳・奈良・平安朝時代

やがて小地域ごとにムラを治めるようになり有力な豪族が生まれ、律令体制が整い、国の統治が全国に及ぶ頃になると、信濃の国の諏訪郡役所が長地一帯に設けられ、大きな高床の建物と役所に勤める役人を中心にマチが発展しました。また、官牧の岡屋（おかのやの）牧が定められ、この頃、信濃の駒の産地の一つとして、朝廷に牧馬を進献していました。

中世武士の社会・戦国の世

鎌倉時代に、諏訪の武士は武運の誉高く、大きな活躍をします。吉野朝時代には、諏訪上下両社とも南朝方として宗良親王を奉じ、全郡あげて天下に呼号しましたが、足利の季世以降戦乱の巷と化しますと、それまで統治していた諏訪氏が滅ぼされ武田氏の領国となります。関ヶ原の戦以後、諏訪氏が旧領に復帰して明治まで高島藩の藩政が行われました。そして江戸時代は綿打業とその糸を使った小倉織が盛んになり、中山道の名物の一つとなって岡谷も栄えます。

明治維新以後

明治4年11月、信濃の国は大きく長野・筑摩の2県に分割され、この地は、筑摩県官下となって、郡県政治が行われることになりました。当時現市域は17村に分かれていました。

平野、湊、川岸、長地の各村の誕生

明治7年筑摩権令の合併勸奨指導のもとに平野村（7か村）、湊村（2か村）、川岸村（5か村）、長地村（3か村）が誕生し、明治9年には、筑摩県は長野県に統合されました。産業の近代化がすすめられる中で、この地は器械製糸業を積極的に取り入れ、大正から昭和初期には世界の一大製糸業地として発展します。

市制施行

昭和11年4月、当時平野村は全国一の大村から一躍市制を施行しました。これは製糸業の隆盛とともに人口が増加、また工業都市への転換をはかるなど画期的な前進からでした。

新しい岡谷市

かくて岡谷市は、歴史的にも深い関係にあった隣接の湊村、川岸村、長地村と合併し、「シルク岡谷」として世界にはばたいた街は、その後「東洋のスイス」といわれる気候・風土に恵まれ、精密工業を中核とした工業都市に転換してきました。そしてさらに近年は電子工業など先端技術の集積した工業都市として発展しています。いま本市は、県内有数の工業都市として発展してきた経緯を踏まえ、働く場の確保、人口の定着を図りながら、一層の産業振興を推進し、将来都市像である「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現を目指し、そのたくましさのもと、市民が輝き、いきいきと暮らすことができるまちづくりを進めていきます。

目 次

1. 教育行政

(1) 教育大綱	1
(2) 岡谷市教育の基本目標	2
① 第4次岡谷市総合計画	2
② おかや子育て憲章	4
③ 第5次岡谷市生涯学習推進計画	6
(3) 市理事者・教育委員・関係市議会議員	9
① 市理事者	9
② 教育委員	9
③ 関係市議会議員	9
(4) 教育委員会機構	10
(5) 事務分掌	11
(6) 教育委員会事務局職員数	13

2. 教育委員会所管予算

(1) 平成28年度岡谷市一般会計当初予算	14
(2) 平成28年度教育委員会費歳出項目別当初予算	15
(3) 教育費の年度別推移	16

3. 教育総務課

(1) 学校教育基本方針	17
(2) 市内小中学校等	18
① 市立小中学校	18
② 学校教職員数	19
③ 児童・生徒数及び学級数	20
④ 保育園・幼稚園	21
⑤ 30人規模学級(35人学級)導入経過	23
⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み	23
⑦ 人口及び児童生徒数の年比較	26
⑧ 中学校卒業者の進路状況	27
⑨ 小中学校通学区域	28
⑩ グランドデザイン	28
⑪ 学校給食実施状況	40
⑫ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師	41
(3) 学校施設	42
① 学校建物保有面積	42
② 学校敷地保有面積	42

③ 学校建物棟別保有面積（主要棟）	43
④ 学校水泳プール	44
⑤ 小中学校施設等主要整備状況	46
⑥ 小中学校コンピュータ整備状況	47
(4) 専門委員会等	49
① 岡谷市就学支援委員会	49
② 岡谷市子ども教育支援チーム	49
③ 岡谷市小中学校子どもの自立支援委員会	50
④ 岡谷市いじめ防止対策推進委員会	50
⑤ 岡谷市小中学校生徒指導推進委員会	50
⑥ 岡谷市小中学校情報教育委員会	50
⑦ 岡谷市保健体育推進委員会	50
⑧ 岡谷市学校図書館教育推進委員会	51
⑨ 岡谷市学力向上推進委員会	51
⑩ 岡谷市外国語活動推進委員会	51
⑪ 岡谷市道德教育推進委員会	51
⑫ 岡谷市学校保健会	51
(5) 学校評議員	52
(6) 岡谷市通学路安全対策会議	52
(7) 岡谷市活力ある学校づくり推進会議	53
(8) 子ども総合相談センター・カウンセリング体制	54
① 子ども総合相談センター	55
② 分室（教育相談室）	55
③ フレンドリー教室・中学校中間教室	56
④ 心の教室相談員	56
⑤ スクールカウンセラー（専門カウンセラー）	56
⑥ スクールソーシャルワーカー	57
(9) 高等学校・専修学校・専門学校等	58
① 高等学校	58
② 専修学校・専門学校	58
③ 各種学校	58
(10) 教員住宅	59
① 公立学校共済組合分	59
② 市営分	59
③ 総計戸数	59
(11) 奨学金制度	60
① 岡谷市育英基金	60
② 公益信託 山田徳郎奨学基金	61

4. 生涯学習課

(1) 生涯学習基本方針	62
(2) 社会教育	63
① 重点目標	63
② 平成28年度重点施策	63
③ 岡谷市社会教育委員の会議	63
④ おかや子育て憲章理念の普及	64
⑤ 岡谷市成人式	64
⑥ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）	64
⑦ 生涯学習人材バンク「おかやマイナビスタッフ」活用事業	64
⑧ 人権教育	65
⑨ 放課後子どもの居場所づくり事業	66
⑩ 学童クラブ	66
⑪ 放課後子どもプラン推進事業	68
(3) 文化財	69
① 重点目標	69
② 平成28年度重点施策	69
③ 岡谷市文化財保護審議会委員	69
④ 施設	69
⑤ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財	70
(4) 図書館	80
① 重点目標	80
② 平成28年度重点施策	80
③ 施設	80
④ 利用案内	80
⑤ 蔵書冊数等	81
⑥ 利用状況（平成27年度）	82
⑦ 平成28年度事業概要	83
(5) 美術考古館	86
① 重点目標	86
② 平成28年度重点施策	86
③ 施設	86
④ 利用案内	86
⑤ 資料	87
⑥ 利用状況（平成27年度）	89
⑦ 平成28年度主要事業	90

(6) ふれあい学習・公民館	91
① 重点目標	91
② 平成28年度重点施策	91
③ 施設	91
④ 利用案内	92
⑤ 利用状況(平成27年度)	94
⑥ 生涯学習館・公民館の事業(平成28年度)	94
(7) 青少年	97
① 重点目標	97
② 平成28年度重点施策	97
③ 主な事業	97

5. スポーツ振興課

(1) スポーツ振興基本方針	102
(2) スポーツ施設	103
① 市営岡谷球場	103
② 岡谷市営庭球場	103
③ 岡谷市民湖畔広場	103
④ 岡谷市民川岸スポーツ広場	103
⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター	104
⑥ 岡谷市学校体育施設	104
⑦ 岡谷市民総合体育館	105
⑧ 岡谷市民水泳プール	106
⑨ 岡谷市やまびこアリーナ	106
⑩ 岡谷市営陸上競技場	106
⑪ 岡谷射撃場	106
(3) 平成28年度体育事業	107
① 岡谷市・岡谷市教育委員会主催事業	107
② その他スポーツ大会	108
(4) 体育関係団体等	110
① 岡谷市スポーツ推進委員	110
② 体育団体	110
(5) 平成28年度スポーツ教室	110
① スポーツ教室	110
② おかや小学生体育塾	111
③ ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室	111
④ おかやファミリースポーツプログラム	111
⑤ スケート教室	111
⑥ 親子で氷上運動会	111

(6) 体育施設の月別利用状況(平成27年度)	112
① 市営岡谷球場	112
② 岡谷市営庭球場	112
③ 岡谷市民湖畔広場	112
④ 岡谷市民川岸スポーツ広場	113
⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター	113
⑥ 岡谷市学校体育施設	113
⑦ 岡谷市民総合体育館	114
⑧ 岡谷市民水泳プール	114

6. 冬季国体推進室

(1) 事業目的	116
(2) 競技会の概要	116
① 大会名	116
② 大会目的	116
③ 主催	116
④ 会期	116
⑤ 競技会場・競技種目・試合日程	116
⑥ 種目及び参加人員	116
⑦ 諸会議	116
(3) 平成28年重点施策	116

1. 教育行政

(1) 教育大綱(概要版)(2015-2018)

岡谷市「教育の理念」

平成27年12月4日制定

岡谷市・岡谷市教育委員会

自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり

(めざす教育の姿)

子どもたちには、一人ひとりの人生の礎となる、確かな学びと成長の支えを実現し、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、共生社会を生き抜く力と創造性溢れる、豊かな感性、人間性を育みます。

また、生涯を通じて学び続け、スポーツに親しむ環境づくりを進めるとともに、地域に根ざす『ひと、もの、こと』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

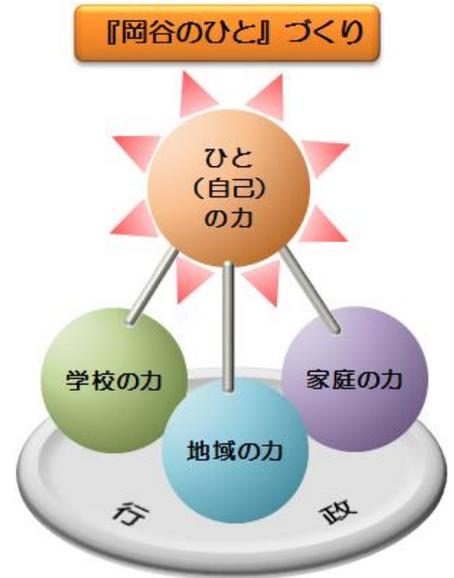
更に、主体的に取り組み、分かり合えるひと(自己)の力を育み、支えることができるよう、

魅力と活力ある学校の力、

共生社会を支える地域の力、

人づくりの根幹を担う家庭の力の充実を図り、

互いに連携しながら、行政との協働により、『岡谷のひとづくり』を推進します。



(岡谷のひとづくりを推進する教育の分野別スローガン)

学校教育	生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり
生涯学習	歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり
スポーツ	親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

教育の重点 ※今後、重点的に取り組む項目を掲げ、施策の展開につなげます。

学校教育	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進 2 ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進 3 安心して学べる教育環境の整備 4 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善 5 自立と共生につながる教育活動の充実
生涯学習	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域に学び貢献する生涯学習 2 ふるさとを誇りに思う生涯学習 3 未来を担う青少年を育む生涯学習 4 親力、家庭力が向上する生涯学習
スポーツ	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民ひとり1スポーツの実現 2 競技力の向上 3 子どものスポーツ機会の充実 4 スポーツによるまちづくり 5 スポーツ環境の整備・充実

施策の展開(第4次岡谷市総合計画)

<生涯学習の推進、文化・スポーツの振興、国際理解の醸成>

◆学校教育の充実	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習環境の整備 (2) 教育施設などの整備 (3) 児童・生徒の育成 (4) 学校・家庭・地域との連携 (5) 高等学校以上の教育 (6) 地域力による子育て支援
◆青少年の健全育成	<ol style="list-style-type: none"> (1) 子育て土壌づくりの支援 (2) 地域における健全な環境づくり (3) 青少年活動の推進 (4) 子育て支援の充実
◆社会教育の充実	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習活動への参加促進と学習機会の充実 (2) 生涯学習推進基盤の整備
◆文化・芸術の振興	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文化施設の活用 (2) 文化活動の促進支援
◆文化財の保護・活用	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財の調査・保存 (2) 文化財の公開・活用 (3) 史跡公園の管理・活用
◆多文化共生の推進	<ol style="list-style-type: none"> (1) 国際交流の推進 (2) 国際理解の醸成
◆スポーツの振興	<ol style="list-style-type: none"> (1) 市民ひとり1スポーツの実現 (2) 競技力の向上 (3) 子どものスポーツ機会の充実 (4) スポーツによるまちづくり (5) スポーツ環境の整備・充実

(2) 岡谷市教育の基本目標

－生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち－

本市は将来都市像を「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」と定め、この実現に向けて5つの都市づくりの柱をかかげております。

この都市づくりの柱の一であり、教育の基本目標となる「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」の推進に努めます。

また、前期基本計画に引き続き、後期基本計画においても、「たくましい産業の創造」、「安全・安心の伸展」と並んで子育て支援を重点プロジェクトとして位置付け、市民総参加による「輝く子どもの育成」に向けた取り組みを推進します。

- ① **第4次岡谷市総合計画** (基本構想2009年～2018年)
(後期基本計画2014年～2018年)

－生涯学習の推進－

1 学校教育の充実

子どもたちの心身の発達を促し、知識の習得と豊かな人間性を育てるため、教育内容の充実、施設・設備の整備を図るなど教育環境の充実に努めます。

また、子どもたちが新しい時代を切り拓く創造性豊かで、人として自立できる力を身に付けていけるよう、学校、家庭、地域、関係機関などとの連携を図り、地域社会全体で心豊かなたくましい人間性や社会性を育む教育を推進します。

2 青少年の健全育成

「おかや子育て憲章」の理念に基づき、子どもの心の自立を支えるよう家庭や地域社会が関係機関との連携のもとに、子どもの健全育成の基礎となる家庭教育力の向上や仲間づくり、また親子の絆を深められるようふれあいの機会の充実に努めます。

青少年の自主性や責任感を育むため、社会参加や交流活動などの機会の充実に努め、多様な人間関係を形成する重要な時期にある青少年の健全育成を推進します。

3 社会教育の充実

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、あらゆるライフステージに応じた学習機会や情報などを提供し、生きがいづくり、仲間づくり、社会貢献など市民が自主的に学び、支えあう生涯学習の環境づくりを進めるとともに、生涯学習活動の参加促進に努めます。

－文化・スポーツの振興－

4 文化・芸術の振興

潤いのある心豊かな暮らしの実現をめざし、楽しさや感動、充実感をもたらす芸術文化の振興および地域文化の伝承を図ります。このため、優れた舞台芸術や美術作品を鑑賞できる機会の充実を図るとともに、市民自らの創作活動による発表の場を提供し、文化団体や人材育成を支援し、市民の芸術文化活動の活性化を図ります。

また、芸術文化の拠点となる施設の環境整備に努めます。

5 文化財の保護・活用

歴史的文化遺産の保護・継承のため文化財保護意識の高揚と文化財保存活動の支援を図り、地域資源としての活用を推進します。

特に、本市の礎を築いた製糸業に関わる近代化産業遺産群については、まちづくりや地域活性化の面からも活用を図ります。

6 スポーツの振興

市民一人ひとりが日常の生活の中で生涯にわたり、自己にあったスポーツに積極的に親しむことは、健康の保持増進、体力の向上、精神面のリフレッシュに役立ちます。

それぞれの目的、健康、体力、年齢に応じたスポーツ・レクリエーションに親しみながら、健康の維持増進を図り、心のふれあいと明るく活力に満ちた「生涯スポーツ」活動を体育関係団体との連携により推進するとともに、競技力の向上をめざしたさまざまな取り組みを行います。

－国際理解の醸成－

7 多文化共生の推進

本市に在住する外国人の数は年々増加傾向にあり、国際理解の醸成と外国人が暮らしやすいまちづくり、外国人との共生の推進が求められています。

このため、国際交流活動を推進し、地域住民と在住外国人の異文化に対する理解を深めるとともに、児童生徒に対しては、国際理解教育の充実を図りコミュニケーション力の育成に努めます。

また、単に在住外国人の生活を支援するだけでなく、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化や習慣を尊重しあい認めあいながら、対等の関係を築き、同じ地域の構成員としてともに生きていくことができる社会をめざします。

② おかや子育て憲章

【憲章制定の趣旨】

わたくしたち岡谷市民は、これまで常に時代を先取りする進取の気性に富んだ人材を育て、まちの発展に寄与してきました。

緑と湖に恵まれた美しい郷土岡谷の未来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。

大人が、子育てに夢と希望をもち、子どもを愛し、心の自立を促し、生きる力を育み、子どもたちの育つ環境を整え、協力し合いながら互いに支え合う市民総参加による子育てのまちづくりを推進するため、この憲章を定めます。

【憲章本文】

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

- 明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- 命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。
- 自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
- 行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。
- 力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

平成 14 年 4 月 1 日制定

【憲章実践の共通指針】

子どもの生きる力を育むには、家庭・地域・学校が「子育て憲章」を共通の指針として、それぞれの役割を果たし、機能を発揮し合うことが大切です。家庭・地域・学校の連携した取り組みによってこそ、子どもはより強く、より大きく成長します。

家庭 《子育ての原点は家庭です》

- ・ 子どもは家族みんなで楽しく過ごすことを願い、**心をつなぎ合うコミュニケーション**を求めています。
- ・ 子どもが家庭で身に付けた**基本的な生活習慣**は、生涯にわたって子どもの心に生き続けます。
- ・ 子育ては家族みんなが参加・協力してバランスが保たれます。子どもが、**心身ともに調和のとれた成長**を続けるよう支えましょう。
- ・ 家庭を支える親の尽くす姿は、子どもの心に届き、**家族みんなで作る生活の価値**に気づかせます。

地域 《地域の子どもは地域で育てます》

- ・ 子どもたちに、地域での自然体験や遊びを経験させ、子どもの**豊かな心の育ち**を支えましょう。
- ・ 子どもたちに、地域の伝統・文化を伝える体験の場と機会を提供し、**地域への愛着心**を育てましょう。

- ・ 子どもたちに、異世代・異年齢交流ができる地域活動に参加させ、**地域の人や友だちとかかわる力や、思いやりの心**を育てましょう。
- ・ 子どもは地域の財産です。子ども会活動や地域子育てミニ集会などを通して、**地域一体となつての子育ての実践**に努めましょう。

学校 《基礎・基本の定着を図ります》

- ・ 学校は、特色ある教育課程の具現を通して、子どもの個性伸長と、調和のある全人的な成長を助け、**人としての自立への育ち**を支えましょう。
- ・ 共に学び合う学習活動を通して、子どもに**基礎的・基本的学力の定着**と、心に響く**学びの喜び**を得させましょう。
- ・ 共同社会としての学校生活を通して、子どもに思いやりの心や協調性・社会性などの**人間関係づくりの力・規範意識**を育てましょう。
- ・ 総合的な学習の時間を通して、子どもに活動的・協同的・課題解決的な学びの体験をさせ、**生きる力の育ち**を支えましょう。

お父さん、お母さんへ

- ・ 子育ては、親にとって**人生の一大事業**です。
- ・ 子どもは、親の愛を実感することで**心を安定させ、強くたくましく成長**します。
- ・ 子どもの願いに耳を傾け、その願いを支える**親子の会話の機会**をもち続けましょう。
- ・ 親からの**正しいしつけが、子どもへの最大の贈り物**です。社会的ルールや善悪の判断、思いやりの心は、人とかかわりや遊びの中で身につけ育ちます。
- ・ 子どもに、家族の一員としての役割分担をもたせ、実感を伴った生活体験をさせることによって、**人としての自立の心**を育てましょう。

③ 第5次岡谷市生涯学習推進計画（2015年—2019年）

第5次岡谷市生涯学習推進計画は、第4次岡谷市総合計画の基本目標の一つである「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」を基調とし、特に後期基本計画（平成26年度からの5ヵ年）と一体的推進を図るものです。

また、岡谷市環境基本計画、岡谷市地域福祉計画、岡谷市高齢者福祉計画、岡谷市障がい者福祉計画、岡谷市児童育成計画（岡谷市子ども・子育て支援事業計画）、岡谷市健康増進計画、男女共同参画おみやプランなど、関連する部門計画と連携をもった計画として位置づけます。

1. 基本理念

「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」

<理念を具現化するための指針>

○地域力と家庭力の向上

○ともに学び支えあう

○ふるさとへの愛着と誇り

2. 重点ポイント

（1）「地域に学び貢献する」生涯学習

地域社会の基盤は、区などの身近な地域であり、こうした地域での学びが重要となります。市民一人ひとりがそれぞれの地域で「自分たちの住んでいる地域を自分たちの手で守り育てていこう」という地域住民の自治意識を高め、地域独自の文化を伝承していくことが重要となります。

これまで伝統的に培われてきた市民の学びをさらに広げ、学習の成果を単に個人だけのものとせず、地域活動に発展させ、地域の人と人との学び合いや周囲の人々の支えと励ましの中で、学習成果を還元することで「学びの循環」が生まれます。

こうした「学びの輪」の中でみずからの学びが評価されることで自己肯定感が生まれ「地域への貢献」意識が高まってきます。

（2）「ふるさとを誇りに思う」生涯学習

本市には、シルクをはじめ素晴らしい文化や歴史があります。市民一人ひとりが、ふるさとを学び学習を深めることにより本市の良さを味わい、ふるさとをより身近に感じ愛着と誇りを持つことが重要です。また、先人の築き上げてきた歴史や文化を学び「地域力」を高めることが、ともに学びともに支え合う社会をつくります。

さらに、地域の大人が子どもに夢や希望を語りかけ、子どもたちに生活常識や地域の良さ、さまざまな知恵を伝授し、子どもと大人がともに学び合い高め合い、世代間の連帯を育むことで、将来、大人になったときにまちへの愛着を深めていくことにつながります。

(3)「未来を担う青少年を育む」生涯学習

子どもたちは、次の時代の「まちづくり」を担う大事な宝です。青少年を取り巻く環境はめまぐるしく変容し、膨大な、また多様な情報が存在し、青少年の意識や行動に大きな影響を与えています。子どもは学校だけでなく、家庭や地域社会の中で過ごし、社会性を身につけながら成長していきます。青少年の健全育成と自立支援に関しては、家庭、学校、地域が連携し、奉仕活動をはじめ、自主的・自発的な地域活動、社会貢献活動などへの参画を促し、心豊かに成長できるよう努めていく必要があります。また、自分の課題を学び考える資質や能力など豊かな人間性を備えた生きる力を培うことが必要です。

さらに、「若い世代の学び」は、生涯学習のスタートとなります。感受性の高い子どもたちに学びのきっかけを与え、社会や世界に羽ばたく動機付けとなり、岡谷市の未来を担う人材の育成につながります。

また、高校生をはじめとする青年期では、地域とのつながりが希薄となり、非行や引きこもりなどが懸念されており、青年期の居場所づくりについて、さまざまな視点から研究・検討していく必要が生じています。

本市では、地域住民との協働による放課後子どもの居場所づくり事業が行われています。地域住民の参画により地域社会の中で心豊かで健やかに育む環境づくりを図ることが必要です。

さらに、野外活動や自然体験学習活動などの学校外活動を充実するとともに、地域行事やボランティア活動を通して、地域社会への積極的な参加を促進します。

(4)「親力、家庭力を向上する」生涯学習

すべての教育の原点である家庭教育は、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的な倫理観や正義感、社会的なマナー、学習に対する意欲や態度等の基礎を子どもたちに育むものであり、重要なものです。一方、少子化、核家族化や都市化の進展などを背景に地域とのつながりが希薄化し親が身近な人から子育てを学んだり、助け合う機会が減少してきており、家庭及び地域の教育力の低下が問題となっています。温かい安らぎのある家庭を築くために親自身が学び、「親力」や「家庭力」を高めることが求められています。

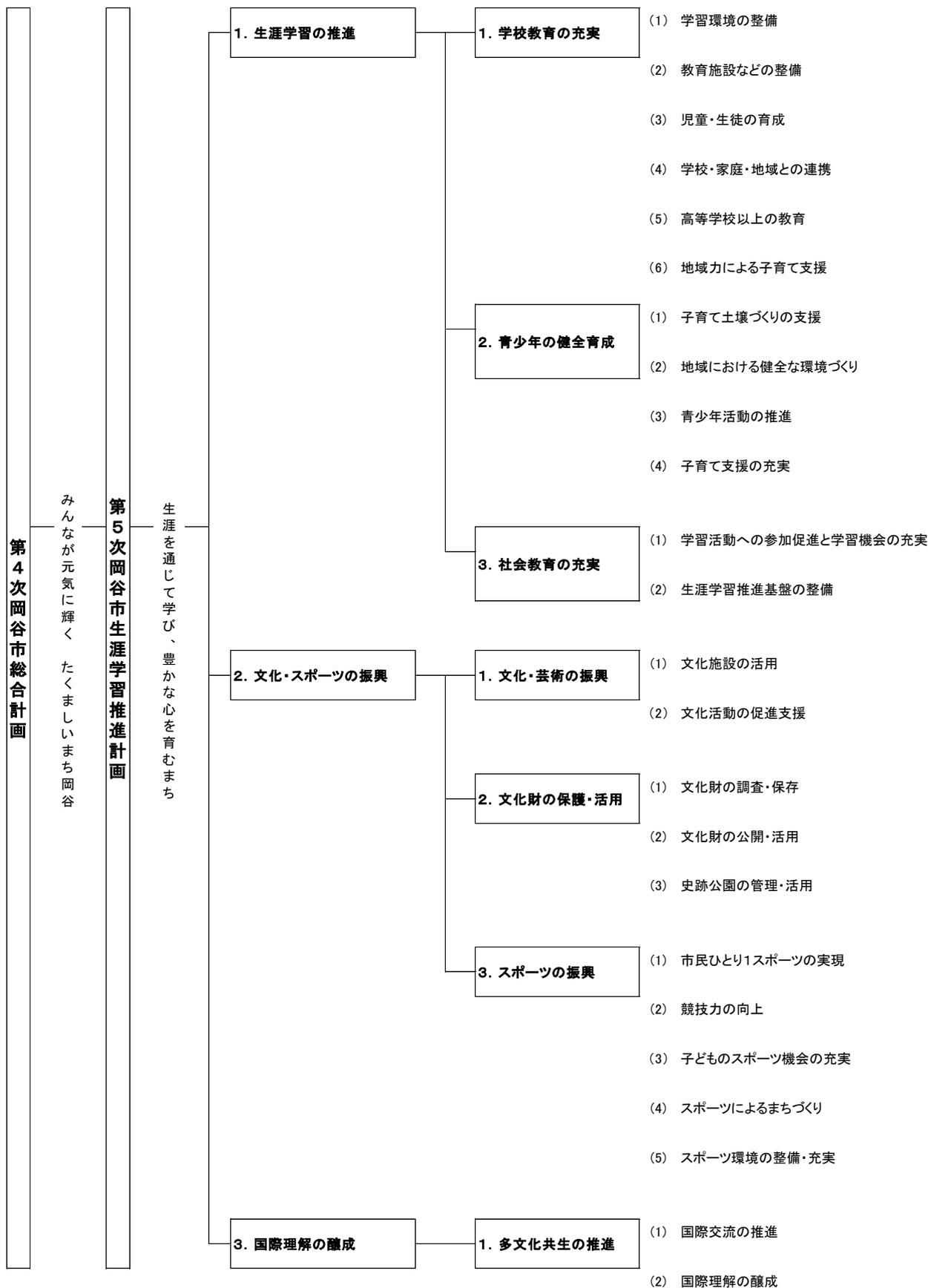
このため保護者が、子どもの発達段階に応じた関わり方を学び、理解を深め実践することで、家庭をつくり子どもを育む力を磨くことが重要となります。

行政、家庭、地域が相互に連携し、地域に溶けこめない保護者等にも、あらゆる機会を通じて参加や相談の機会を提供し充実していくことが大切です。

本市では、おかや子育て憲章の具現化のため作成した「成長樹(期)子育て実践ポイント」を活用し、成長期に沿った子育てに関する意識啓発を推進しています。

また、各種相談業務を充実するとともに、子育て講座や家庭教育学級の開催、親子の交流の場の創出、子育て経験者と親との交流の場の創出、身近な地域における子育て支援事業などにより体制の充実を図り、家庭教育への支援を展開します。

第5次 岡谷市生涯学習推進計画体系図



(3) 市理事者・市教育委員会・関係市議会議員

① 市理事者

(平成28年5月1日現在)

職名	氏名	就任年月日	任期	備考
市長	今井竜五	平27.9.29	平31.9.28	
副市長	小口明則	平28.4.1	平32.3.31	

② 市教育委員

(平成28年5月1日現在)

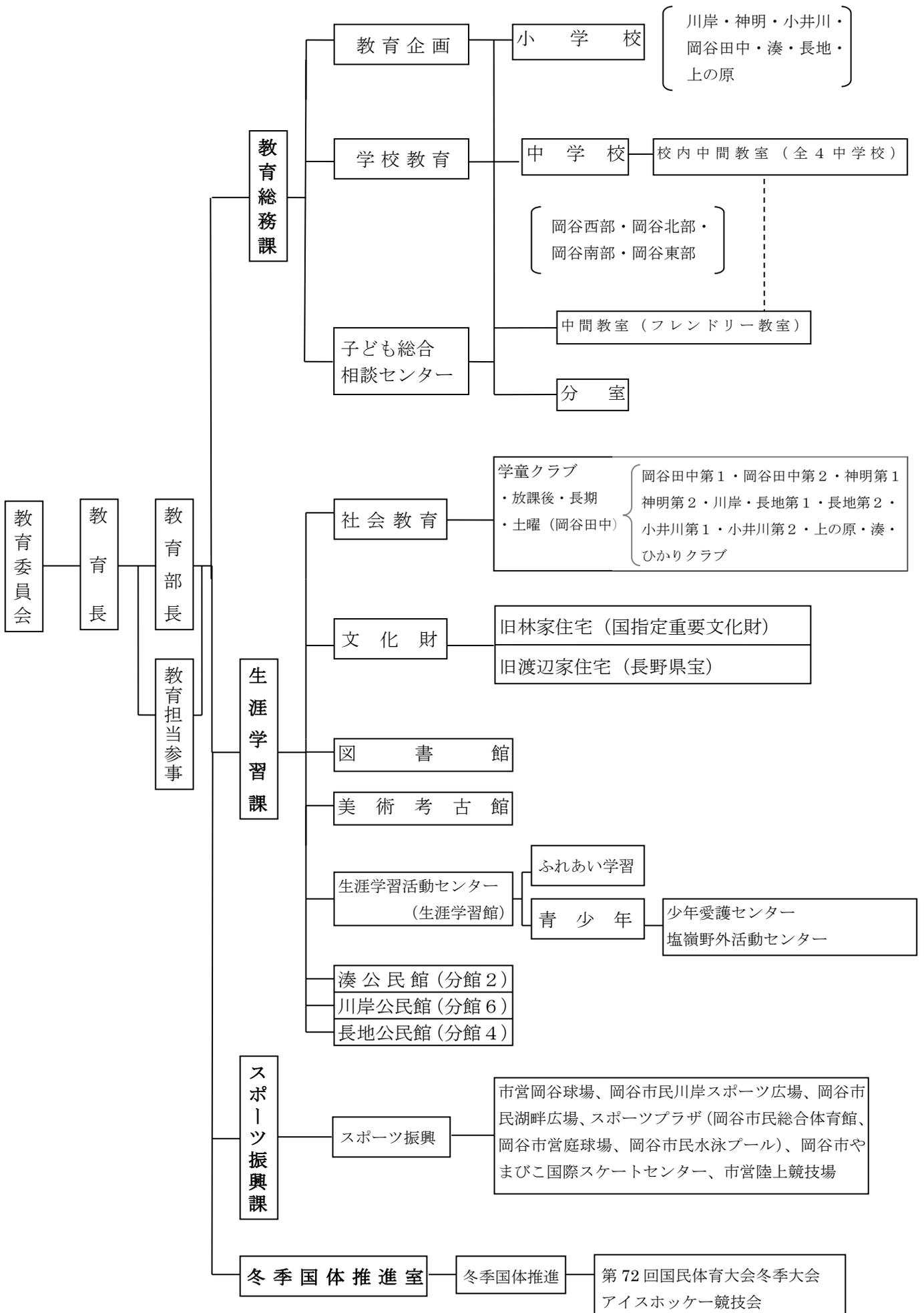
職名	氏名	就任年月日	任期	備考
教育長	岩本博行	平26.8.11	平31.3.31	新教育長就任 平28.4.1
職務代理者	草間吉幸	平19.3.10	平31.3.9	職務代理者就任 平28.4.1
委員	橋爪園美	平22.3.11	平30.3.10	
委員	小野繁男	平24.10.1	平28.9.30	
委員	太田博久	平27.3.1	平31.2.28	
委員	高木千奈美	平27.12.1	平31.11.30	

③ 関係市議会議員

(平成28年5月1日現在)

職名	氏名	備考
議長	竹村安弘	議長就任 平27.5.18
副議長	八木敏郎	副議長就任 "
総務委員会	委員長	共田武史 委員長就任 平27.5.19
	副委員長	中島保明 副委員長就任 "
	委員	竹村安弘
	"	今井秀実
	"	今井康善
"	大塚秀樹	

(4) 教育委員会機構



(5) 事務分掌

区 分		事 務 分 掌	
教 育 総 務 課	教育企画	1. 教育委員会の会議 2. 教育委員会規則の制定及び改廃 3. 事務局、学校、その他の教育等機関の職員の人 事 4. 教育委員会の施策の企画及び調整 5. 法第 26 条に規定する教育に関する事務の管理 及び執行の状況点検及び評価等 6. 教育財産の管理 7. 学校その他の教育等機関の設置、管理、廃止 8. 教育委員会所属職員の厚生及び福利 9. 教育に係る調査及び基幹統計 10. 公印の管理 11. 文書の收受及び保管 12. 教員住宅 13. 校長及び教職員の服務並びに研修 14. 育英事業 15. P T A 等 16. 事務局、部及び課の庶務	専門委員会 ・学校図書館教育推進委員会 ・保健体育推進委員会
	学校教育	1. 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指 導及び進路指導 2. 教科書その他教材の取扱い 3. 通学区域の設定及び変更 4. 学齢児童、生徒の就学並びに入学及び転学 5. 児童生徒の保健、衛生、安全、厚生及び福利 6. 学校給食 7. 学校施設の整備及び営繕 8. その他学校教育	専門委員会 ・情報教育委員会 ・学力向上推進委員会 ・外国語活動推進委員会
	子ども総合 相談センター (分室・フンドリー教室)	1. 教育支援主事及び子ども教育支援相談員の統括 2. 就学支援に関する総合調整 3. 学校・家庭・関係機関との連携 4. 学校諸問題に関する総合的な教育・相談支援 5. 岡谷市子ども教育支援チームに関すること 6. その他教育委員会が特に必要と認めること	専門委員会 ・就学支援委員会 ・岡谷市子ども教育 支援チーム ・子どもの自立支援委員会 ・いじめ防止対策推進委員会 ・生徒指導推進委員会 ・道徳教育推進委員会

生涯学習課	社会教育	1. 生涯学習の総合計画及び推進 2. 社会教育の振興 3. 社会教育委員の会議及び研修 4. 社会教育施設の整備及び監督管理 5. 成人式 6. 放課後子どもの居場所づくり事業の運営 7. 学童クラブの管理運営 8. 人権教育 9. 課の庶務	
	文化財	1. 文化財の保護及び調査 2. 旧林家住宅の管理 3. 旧渡辺家住宅の管理 4. 文化財保護審議会	
	図書館	1. 図書館の管理 2. 図書館活動の総合的企画及び調査 3. 図書館資料の収集、整理及び保存 4. 図書館資料の利用のための相談、閲覧及び貸出し 5. 図書館関係機関、関係団体、読書団体との連携及び調整 6. 公印の管理	
	美術考古館	1. 美術考古館の管理 2. 美術考古館活動の総合的企画及び調査等 3. 美術品及び考古等に係る資料の収集、保管並びに調査、研究 4. 美術考古館資料等の公開、利用及び活用並びに教育普及活動 5. 公印の管理	
	生涯学習活動センター (生涯学習館)	ふれあい学習	1. 生涯学習に係る学級、講座、講演会等の企画実施 2. 社会教育団体及び学習グループの育成 3. 学習ボランティアの育成 4. 生涯学習活動センター全体の調整 5. 公民館等の連絡調整 6. 生涯学習活動センターの管理 7. 所管する公印の管理
		青少年	1. 青少年育成関係団体事務の総合調整 2. 青少年育成関係団体及び地区組織等の育成 3. 青少年及び指導者の研修 4. 少年愛護センター 5. 青少年教育並びに青少年の総合対策、企画及び調査 6. 青少年問題協議会 7. 塩嶺野外活動センターの管理運営
	湊公民館 川岸公民館 長地公民館	1. 学級、講座、講演会等の企画実施 2. 社会教育団体及び学習グループの育成 3. 分館活動の育成指導 4. 公民館図書室 5. 公民館の管理運営 6. 公印の管理 7. その他各公民館との連携	
スポーツ振興課	スポーツ	1. スポーツの振興及び指導 2. 各種スポーツ大会の計画及び運営 3. スポーツ関係団体 4. 市営岡谷球場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民湖畔広場、スポーツプラザ（岡谷市民総合体育館、岡谷市営庭球場、岡谷市民水泳プール）、岡谷市やまびこ国際スケートセンター及び市営陸上競技場 5. 学校体育施設の開放 6. 岡谷市やまびこアリーナの財産管理 7. 課の庶務	
冬季国体推進室	冬季国体推進	1. 第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 2. 第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会岡谷市実行委員会 3. 室の庶務	

(6)教育委員会事務局職員数

(平成28年4月1日現在)

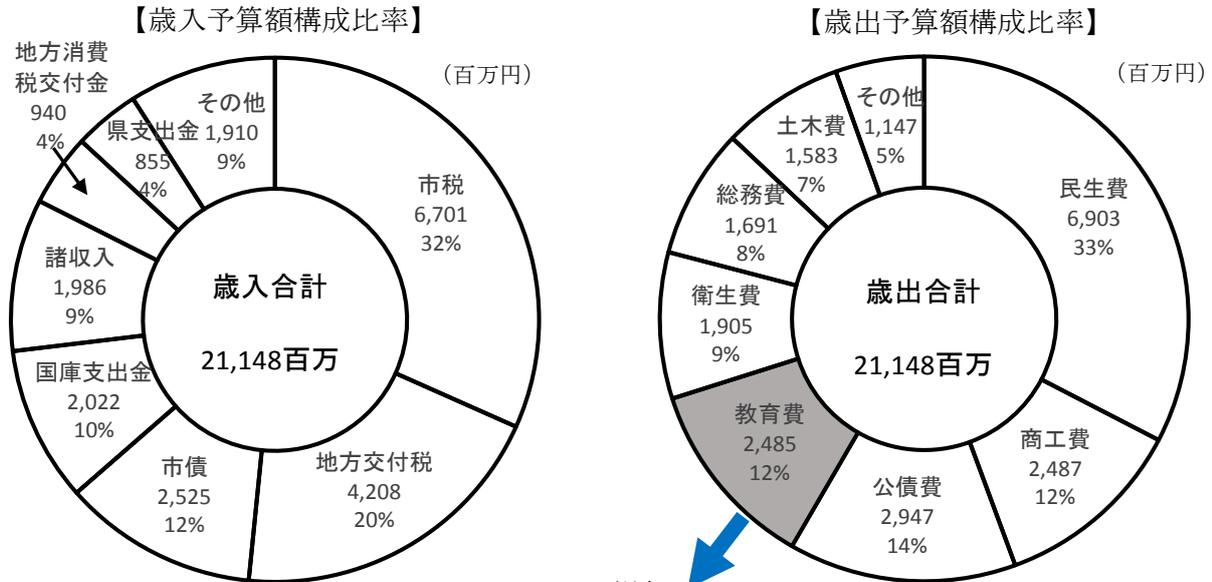
	教育長	部長	参事	課長	副参事	統括主幹	主幹	主査	主任	主事	事務員	嘱託	合計	備考
教育長	1												1	
教育部長		1											1	
教育部教育担当参事			1										1	
教育総務課				1									1	
教育企画							1	2				2	5	
学校教育 子ども総合 相談センター						1		2				1	4	
							1	1				5(2)	7	
生涯学習課				1									1	
社会教育						1		1	1			12	15	
文化財							1	1					2	
図書館							1	1		1		5	8	
美術考古館							1	1				1	2	
生涯学習活動センター (生涯学習館)												1	1	
【ふれあい学習】							1	2				1	4	
【青少年】							1	2				1	4	
【湊公民館】				(1)				1					1	
【川岸公民館】				(1)				1					1	
【長地公民館】				(1)				1					1	
スポーツ振興課				1									1	
スポーツ振興						1		1	1		1		4	
冬季国体推進室				1									1	
冬季国体推進						(1)		(1)	(1)		(1)		0	
合計	1	1	1	4	0		6	17	2	1		24	66	

() 内は兼務者で外数
子ども総合相談センターの () は子ども課の兼務者数

2. 教育委員会所管予算

(1) 平成28年度岡谷市一般会計当初予算

歳入・歳出予算 211億4,800万円
(前年 209億300万円)



	H28	H27	増減
民生費	6,903	6,336	567
商工費	2,487	2,834	△ 347
公債費	2,947	2,674	273
教育費	2,485	2,306	179
衛生費	1,905	1,948	△ 43
総務費	1,691	2,005	△ 314
土木費	1,583	1,675	△ 92
その他	1,147	1,125	22
合計	21,148	20,903	245

	H28	H27	増減
教育費	2,485	2,306	179
教育総務費	365	368	△ 3
小学校費	439	704	△ 265
中学校費	1,192	646	546
社会教育費	261	373	△ 112
保健体育費	228	215	13

「岡谷市教育大綱 教育理念」

☆自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり☆

平成28年度 教育委員会関係主要事業予算

◎子ども総合相談センター事業	16,428 千円
◎特別支援教育推進事業	5,034 千円
◎活力ある学校づくり推進事業	1,600 千円
◎魅力ある学校づくり交付金	3,018 千円
◎学校統合支援事業	8,543 千円
◎南部中学校大規模改修事業	21,612 千円
◎岡谷西部中学校耐震改修事業	943,332 千円
◎岡谷小学校学校施設除却事業	54,000 千円
◎学童クラブ室活用モデル事業	マンパワー事業
◎美術考古館特別企画展等開催事業 (市制施行80周年記念事業)	1,353 千円
◎市営陸上競技場公認更新事業	25 千円
◎かがやけ おかやキッズ体力アッププログラム事業	1,728 千円
◎おかやスケート振興事業	4,058 千円
◎北信越国体バドミントン競技会開催事業	250 千円
◎国体冬季大会アイスホッケー競技会開催事業	15,400 千円
◎通学路交通安全対策事業 (土木費 計上)	11,000 千円

(2) 平成28年度教育委員会費歳出項目別当初予算

(単位 千円)

項 目	予 算 額	比率(%)	項 目	予 算 額	比率(%)
1. 教育総務費	364,635	14.7%	(5) 生涯学習活動センター費	46,479	
(1) 教育委員会費	4,945		(6) 図書館費	58,463	
(2) 事務局費	280,987		(7) 文化財保護費	16,051	
(3) 教員住宅費	45,008		(8) 塩嶺野外活動センター費	5,238	
(4) 幼稚園費	33,695		5. 保健体育費	228,214	9.2%
2. 小学校費	439,167	17.7%	(1) 保健体育総務費	904	
(1) 学校管理費	415,775		(2) 体育施設費	196,382	
(2) 教育振興費	23,392		(3) スポーツ振興費	30,928	
3. 中学校費	1,192,025	48.0%			
(1) 学校管理費	1,171,183				
(2) 教育振興費	20,842				
4. 社会教育費	260,618	10.5%			
(1) 社会教育総務費	5,958				
(2) 放課後子ども健全育成費	58,656				
(3) 公民館費	37,706				
(4) 美術考古館費	32,067				
				2,484,659	100.0%

(3) 教育費の年度別推移

(単位 千円)

年度	当初予算			最終予算		
	一般会計(A)	教育費(B)	比率(B/A)	一般会計(C)	教育費(D)	比率(D/C)
平成元	14,389,000	2,168,603	15.07%	16,366,635	2,203,498	13.46%
平成2	14,453,000	1,898,352	13.13%	17,119,360	1,932,889	11.29%
平成3	16,061,000	2,140,124	13.32%	18,090,724	2,165,157	11.97%
平成4	17,855,000	2,347,761	13.15%	19,745,317	2,364,645	11.98%
平成5	18,576,000	1,906,554	10.26%	21,800,770	1,911,279	8.77%
平成6	20,577,000	1,953,454	9.49%	23,250,264	2,212,756	9.52%
平成7	19,055,000	2,013,162	10.57%	21,180,773	2,090,644	9.87%
平成8	19,195,000	2,296,892	11.97%	23,087,050	2,355,758	10.20%
平成9	24,289,000	2,721,028	11.20%	24,918,813	2,457,550	9.86%
平成10	21,712,000	2,745,935	12.65%	25,381,263	2,853,430	11.24%
平成11	21,534,000	2,183,794	10.14%	24,418,762	2,285,557	9.36%
平成12	21,690,000	2,240,401	10.33%	23,446,224	2,337,230	9.97%
平成13	22,005,000	2,052,788	9.33%	25,089,840	2,128,769	8.48%
平成14	20,820,000	1,983,194	9.53%	25,714,524	2,044,159	7.95%
平成15	23,005,000	2,068,565	8.99%	24,480,365	2,155,178	8.80%
平成16	23,315,000	2,138,048	9.17%	23,944,826	2,279,376	9.52%
平成17	20,935,000	2,167,384	10.35%	22,638,527	2,276,964	10.06%
平成18	19,023,000	1,745,782	9.18%	20,826,798	1,744,625	8.38%
平成19	18,518,000	1,708,261	9.22%	19,489,332	1,715,757	8.80%
平成20	18,655,000	1,614,361	8.65%	20,995,488	1,725,447	8.22%
平成21	18,726,000	1,422,281	7.60%	21,194,892	1,913,727	9.03%
平成22	19,600,000	1,402,813	7.16%	21,615,156	2,098,213	9.71%
平成23	20,240,000	1,641,597	8.11%	22,122,348	2,561,311	11.58%
平成24	20,233,000	1,471,587	7.27%	21,170,830	2,309,364	10.91%
平成25	21,090,000	1,409,364	6.68%	25,480,473	1,948,413	7.65%
平成26	21,352,000	1,487,939	6.97%	24,556,693	1,639,907	6.68%
平成27	20,903,000	2,305,990	11.03%	22,474,002	2,327,267	10.36%
平成28	21,148,000	2,485,000	11.75%			

3. 教育総務課

(1) 学校教育基本方針

■『学校教育スローガン』

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

おかや子育て憲章及び岡谷市教育大綱に掲げた教育理念のもと、少子高齢化、グローバル化が進む現代社会の中で、一人ひとりの個性、人格、人権を尊重しながら、個々の能力、適性に応じた教育を推進し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

更に、知識を基盤としながら、思考力・判断力・表現力などの知識を活かす能力を高め、自ら主体的に学び、たくましく生き抜くことのできる力を養います。



■「学校教育 5つの重点」

1 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進

- ・地域に息づき、根付く学校「岡谷版コミュニティスクール」の導入
- ・魅力と活力に溢れる特色ある学校づくり、チーム学校の実践
- ・地域とつくる学校、地域と共にある学校づくりの推進

2 ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の推進

- ・ものづくりなど、地域資源を活かした普遍的な学習「岡谷スタンダードカリキュラム」の構築
- ・岡谷の『ひと・もの・こと』に誇りと自信を持つ「ふるさと教育」の推進、郷土を愛する心の醸成

3 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

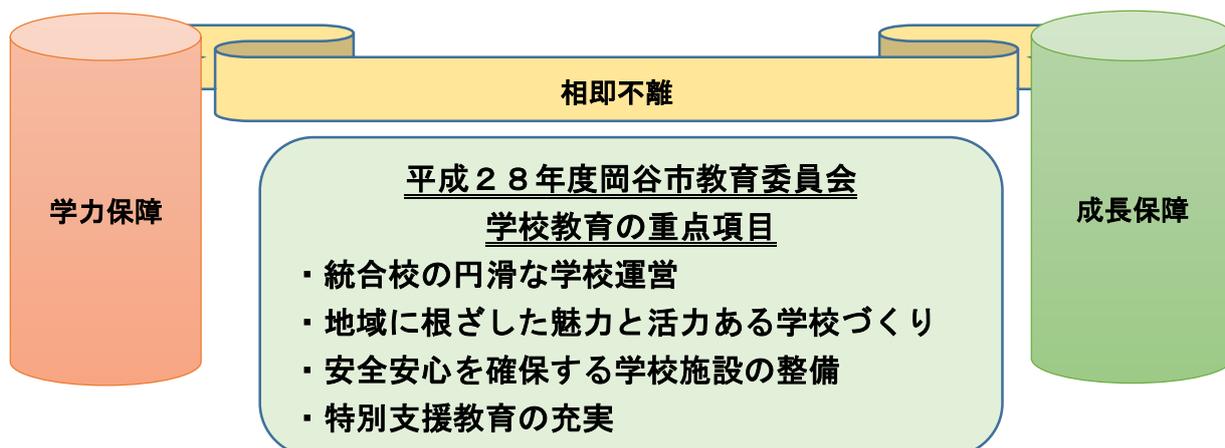
- ・一人ひとりの特性に合わせた学校生活支援、小・中学校と幼稚園・保育園との連携
- ・小・中・高の枠を超えた連続的、横断的な教育支援体制の構築
- ・子どもたちによる「いじめ根絶運動」の取り組みの継続
- ・地域との連携によって、笑顔で安心して学べる、安全・安心の教育環境の提供、防災教育の充実

4 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善

- ・確かな学力保障と成長保障を図る授業改善
- ・ユニバーサルデザイン化を軸に「わかる、できる」授業の実施、家庭学習の工夫を通じた学力向上
- ・全員が力を発揮し、認め合える学級づくり、一人ひとりの子どもに合わせた特別支援教育の推進

5 「自立と共生」につながる教育活動の充実

- ・生き抜く力を育む教育、道徳教育、心の教育の充実
- ・将来の目標と学業を結び付けるキャリア教育の推進
- ・アクティブ・ラーニング、ソーシャルスキルトレーニング(SST)、ピア・サポート・プログラムの実践
- ・自立と共生につながる教育活動の充実、児童生徒会の自治推進



(2) 市内小中学校等

① 市立小中学校

学校名	所在地	電話番号	創立年月日	学校長氏名
川岸小学校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番2号	TEL 22-2663 FAX 22-2653	明7.1.	朝倉克博
神明小学校	〒394-0004 岡谷市神明町一丁目9番40号	TEL 22-2243 FAX 22-2159	昭42.4.1	宮坂 享
小井川小学校	〒394-0023 岡谷市東銀座一丁目1番4号	TEL 22-2234 FAX 22-2641	明6.4.	杉山 清
岡谷田中小学校	〒394-0031 岡谷市田中町三丁目5番17号	TEL 22-2425 FAX 22-2851	昭5.1.20	横内宏行
湊小学校	〒394-0044 岡谷市湊三丁目6番1号	TEL 22-2728 FAX 22-2529	明6.4.	酒井重明
長地小学校	〒394-0086 岡谷市長地源一丁目1番3号	TEL 27-8792 FAX 27-8598	明5.11	横林智子
上の原小学校	〒394-0089 岡谷市長地出早二丁目6番1号	TEL 28-1187 FAX 28-1742	昭48.4.1	小口昭一
岡谷西部中学校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番1号	TEL 22-3461 FAX 22-3409	昭22.4.1	永池 隆
岡谷北部中学校	〒394-0002 岡谷市赤羽二丁目1番24号	TEL 22-3203 FAX 22-3197	昭22.4.1	福澤行雄
岡谷南部中学校	〒394-0044 岡谷市湊二丁目1番8号	TEL 22-3243 FAX 22-3241	昭22.4.1	両角徹生
岡谷東部中学校	〒394-0083 岡谷市長地柴宮一丁目9番13号	TEL 27-8644 FAX 27-8595	昭22.4.8	林 満彦

② 学校教職員数

(平成28年5月1日現在)

区 分	県 費											市 費										合 計	
	校 長	教 頭	教 諭		養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 員	栄 養 職 員	小 計	事 務 員	栄 養 職 員	A L T	給 食 調 理 員	図 書 館 指 導 員	業 務 員	特 別 支 援 教 育 支 援 員	心 の 教 室 相 談 員	中 間 教 室 適 応 指 導 員	小 計		
			男	女																			
小 学 校	川 岸 小	1	1	3	13		1		5	1		25	1	1		4	1	1	3			11	36
	(兼務者)			(1)				(1)			(2)												(2)
	神 明 小	1	1	9	12	1			3	1		28	1	1	1	5	1	1	4			14	42
	(兼務者)			(1)				(3)			(4)												(4)
	小 井 川 小	1	1	7	12	1	1	1	2	1	1	28	1		1	5	1	1	3			12	40
	(兼務者)							(2)			(2)												(2)
	岡 谷 田 中 小	1	1	10	10	1			3	1		27	1	1		5	1	1	1			10	37
	(兼務者)			(1)				(5)			(6)												(6)
	湊 小	1	1	2	5	1	1		2	2		15		1		3	1	1	1			7	22
	(兼務者)							(1)			(1)												(1)
	長 地 小	1	1	11	16	1		1	4	1		36	1			7	1	1	4			14	50
	(兼務者)							(2)			(2)												(2)
	上 の 原 小	1	1	6	8	1	1		2	1		21		1		3	1	1	2			8	29
(兼務者)			(1)							(1)												(1)	
小 計	7	7	48	76	6	4	2	21	8	1	180	5	5	2	32	7	7	18	0	0	76	256	
中 学 校	岡 谷 西 部 中	1	1	9	5	1			6	1	1	25				4	1	1	2	①	1	9	34
	(兼務者)			(1)							(1)												(1)
	岡 谷 北 部 中	1	1	12	6	1	1		2	1		25	1	1	1	5	1	1	2	①	1	13	38
	岡 谷 南 部 中	1	1	6	5	1	1		5	1		21		1		3	1	1	1	①	1	8	29
	岡 谷 東 部 中	1	1	17	11	1			8	1	1	41	1		1	7	1	1	3	①	1	15	56
小 計	4	4	44	27	4	2	0	21	4	2	112	2	2	2	19	4	4	8	④	4	45	157	
合 計	11	11	92	103	10	6	2	42	12	3	292	7	7	4	51	11	11	26	④	4	121	413	

※()は兼務者で上段の本務者には含まれない

※丸数字は委嘱者で外数

③ 児童・生徒数及び学級数

・小学校

(平成28年5月1日現在)

		川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計	1学級当たり児童数
1年	学級数	2	3	2	2	1	3	2	15	26.4
	男	21	37	20	32	10	45	20	185	
	女	26	49	22	29	12	48	25	211	
	計	47	86	42	61	22	93	45	396	
2年	学級数	2	3	2	2	1	4	2	16	27.4
	男	32	30	28	33	9	63	23	218	
	女	29	41	36	32	11	47	24	220	
	計	61	71	64	65	20	110	47	438	
3年	学級数	2	2	2	2	1	4	2	15	27.7
	男	30	25	23	37	11	81	21	228	
	女	24	35	24	32	10	48	15	188	
	計	54	60	47	69	21	129	36	416	
4年	学級数	3	3	2	3	1	4	2	18	25.9
	男	34	41	27	34	12	49	23	220	
	女	38	43	32	43	4	69	17	246	
	計	72	84	59	77	16	118	40	466	
5年	学級数	2	2	2	3	1	3	2	15	28.2
	男	32	34	24	40	7	41	25	203	
	女	32	27	39	36	9	55	22	220	
	計	64	61	63	76	16	96	47	423	
6年	学級数	2	3	2	2	1	4	2	16	27.3
	男	24	39	37	38	13	63	20	234	
	女	42	37	23	26	11	44	19	202	
	計	66	76	60	64	24	107	39	436	
特別支援	学級数	3	3	4	2	1	5	2	20	5.4
	男	12	14	17	8	4	25	4	84	
	女	2	4	6	1	1	5	4	23	
	計	14	18	23	9	5	30	8	107	
合計	学級数	16	19	16	16	7	27	14	115	23.3
	男	185	220	176	222	66	367	136	1,372	
	女	193	236	182	199	58	316	126	1,310	
	計	378	456	358	421	124	683	262	2,682	

・中学校

		西部	北部	南部	東部	計	1学級当たり生徒数
1年	学級数	3	3	2	5	13	29.4
	男	39	47	36	66	188	
	女	35	40	35	84	194	
	計	74	87	71	150	382	
2年	学級数	3	4	3	5	15	31.7
	男	48	68	29	89	234	
	女	40	70	43	88	241	
	計	88	138	72	177	475	
3年	学級数	3	4	2	6	15	30.1
	男	52	62	26	93	233	
	女	35	63	30	91	219	
	計	87	125	56	184	452	
特別支援	学級数	2	2	2	3	9	4.6
	男	6	8	3	13	30	
	女	3	4	0	4	11	
	計	9	12	3	17	41	
合計	学級数	11	13	9	19	52	26.0
	男	145	185	94	261	685	
	女	113	177	108	267	665	
	計	258	362	202	528	1,350	

・小中学校合計

男	2,057	女	1,975	計	4,032
---	-------	---	-------	---	-------

④ 保育園等・幼稚園

・保育園等

<保育園等一覧表>

保 育 園 名	所 在 地	定 員	電 話 番 号
小 口 保 育 園	岡谷市銀座一丁目4-18	110人	22-2489
今 井 保 育 園	岡谷市長地6189番地1	90	22-2935
あ や め 保 育 園	岡谷市湖畔一丁目10-3	120	22-2680
川 岸 保 育 園	岡谷市川岸中二丁目7-14	90	22-3829
夏 明 保 育 園	岡谷市川岸西一丁目18-16	60	22-3861
成 田 保 育 園	岡谷市成田町二丁目10-6	90	22-2464
み な と 保 育 園	岡谷市湊三丁目6-50	90	22-3566
長 地 保 育 園	岡谷市長地鎮一丁目7-29	150	27-4194
若 草 保 育 園	岡谷市加茂町三丁目8-28	90	22-4038
西 堀 保 育 園	岡谷市堀ノ内一丁目6-4	120	22-7670
東 堀 保 育 園	岡谷市長地御所二丁目3-1	150	27-9366
神 明 保 育 園	岡谷市神明町四丁目4-11	120	22-4555
横 川 保 育 園	岡谷市長地出早三丁目4-16	90	28-1180
つ る み ね 保 育 園	岡谷市川岸上三丁目14-13	90	22-2911
聖ヨゼフ保育園岡谷(私立)	岡谷市山下町一丁目1-37	90	24-1477
ひまわり保育園(私立)	岡谷市長地権現町二丁目8-30	60	27-2816
きらり岡谷市民病院園(私立)	岡谷市本町四丁目-11-33撫子寮1階	17	23-6656
計		1,627	

<保育園職員数>

(平成28年4月1日現在)

区 分 保育園名	園長	保育士	臨時 保育士	長時間保 育補助員	栄養士	臨時 調理員	臨時 相談員	合計
小口	1	4	10	4		4		23
今井	1	3	6	3		4		17
あやめ	1	6	18	5	1	5	1	37
川岸	1	4	5	3	1	4	1	19
夏明	1	2	1			2		6
成田	1	6	6	4	1	4		22
みなと	1	6	6	3	1	4	1	22
長地	1	8	11	6	1	5		32
若草	1	2	2			2		7
西堀	1	6	8	4		4		23
東堀	1	4	3	1		3		12
神明	1	4	9	4	1	5		24
横川	1	4	6	3	1	4		19
つるみね	1	3	2	1		2		9
育休、子ども課 付、総務課付		9			1			10
合計	14	71	93	41	8	52	3	282

<保育園入所児童数>

(平成28年4月1日現在)

保育園名	定員	当月初日 入所人員	前月初日 入所人員	当月初日入所人員の年齢別内訳					
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
小口	110	59 (2)	66 (2)		6	10 (1)	9 (1)	18	16
今井	90	56 (1)	61 (2)		6	7 (1)	15	13	15
あやめ	120	123 (2)	120 (2)		10	13	36 (2)	24	40
川岸	90	70 (1)	84 (1)		5	5 (1)	18	14	28
夏明	60	12	13				3	4	5
成田	90	80 (2)	80 (2)		5	13	26	16	20 (2)
みなと	90	64 (1)	74 (1)	1	5	11	10	19 (1)	18
長地	150	114	137 (1)	1	7	11	28	32	35
若草	90	21	25				10	6	5
西堀	120	82 (1)	78		5 (1)	6	28	25	18
東堀	150	67	68				23	25	19
神明	120	110	130		4	11	31	35	29
横川	90	67	81			11	18	21	17
つるみね	90	38 (1)	34				13 (1)	12	13
公立合計	1,460	963 (11)	1,051 (11)	2	53 (1)	98 (3)	268 (4)	264 (1)	278 (2)
(立正)									
聖ヨゼフ	90	91 (1)	107 (6)		15	18	19	19 (1)	20
ひまわり	60	66	71 (1)	1	9	10	14	17	15
私立合計	150	157 (1)	178 (7)	1	24	28	33	36 (1)	35
総計	1,610	1,120 (12)	1,229 (18)	3	77 (1)	126 (3)	301 (4)	300 (2)	313 (2)

<地域型保育入所児童数>

園名	定員	当月初日 入所人員	前月初日 入所人員	当月初日入所人員の年齢別内訳					
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
きらり 岡谷市民病院園	17	2 (2)	—	0	2 (2)	0	—	—	—

※ () 内は、うち市外からの広域入所児童

・幼稚園

<私立幼稚園>

(平成28年5月1日現在)

園名	設置別	学級数	園児数			定員	教職員数	園長名	所在地 (電話番号)
			男	女	計				
ヤコブ幼稚園	私立	4	53	43	96	150	19	水野礼子	岡谷市上ノ原262番地2 (22-2618) (山崎学園24-0134)
聖母幼稚園	私立	4	53	38	111	150	15	水野礼子	岡谷市大栄町二丁目3番26号 (22-5090) (山崎学園24-0134)
瑞穂幼稚園	私立	1	3	7	10	105	2	堀順一	岡谷市中央町一丁目8番13号 (22-3806)

⑤ 30人規模学級（35人学級）導入経過

年度	学年	実施校	備考
14	小1	川岸小 神明小	全額県費負担
15	小1～小3	川岸小 神明小 長地小	
16	小1～小3	川岸小 神明小 小井川小 長地小	県費・市費負担により実施
	小4	長地小	
17	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
	小5	長地小	県費・市費負担により実施
18	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
	小5～小6	川岸小 神明小 長地小	県費・市費負担により実施
19	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
	小5～小6	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	県費・市費負担により実施
20	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
	小5～小6	神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	県費・市費負担により実施
21	小1～小6	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
22	小1～小6	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
23	小1～中1	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小 岡谷南部中	全額県費負担
24	小1～中2	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
25	小1～中3	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
26	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷小 田中小 長地小 上の原小 岡谷東部中	全額県費負担
27	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷小 田中小 長地小 上の原小 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
28	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷田中小 長地小 上の原小 岡谷西部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担

⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み（平成28年5月1日現在）

* 児童生徒数及び学級数に特別支援は含まない。

* 中学校については、現行の通学区域のまま推計

川岸小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	47	2	65	2	40	2	54	2	58	2	55	2	43	2
2学年	61	2	47	2	65	2	40	2	54	2	58	2	55	2
3学年	54	2	61	2	47	2	65	2	40	2	54	2	58	2
4学年	72	3	54	2	61	2	47	2	65	2	40	2	54	2
5学年	64	2	72	3	54	2	61	2	47	2	65	2	40	2
6学年	66	2	64	2	72	3	54	2	61	2	47	2	65	2
計	364	13	363	13	339	13	321	12	325	12	319	12	315	12

神明小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	86	3	61	3	73	3	62	2	53	2	61	2	53	2
2学年	71	3	86	2	61	3	73	3	62	2	53	2	61	2
3学年	60	2	71	2	86	2	61	3	73	3	62	2	53	2
4学年	84	3	60	3	71	2	86	2	61	3	73	3	62	2
5学年	61	2	84	2	60	3	71	2	86	2	61	3	73	3
6学年	76	3	61	2	84	2	60	3	71	2	86	2	61	3
計	438	16	423	14	435	15	413	15	406	14	396	14	363	14

小井川小学校（特別支援学級：4学級（知障1、情障3））

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	42	2	44	2	51	2	63	2	60	2	43	2	43	2
2学年	64	2	42	2	44	2	51	2	63	2	60	2	43	2
3学年	47	2	64	2	42	2	44	2	51	2	63	2	60	2
4学年	59	2	47	2	64	2	42	2	44	2	51	2	63	2
5学年	63	2	59	2	47	2	64	2	42	2	44	2	51	2
6学年	60	2	63	2	59	2	47	2	64	2	42	2	44	2
計	335	12	319	12	307	12	311	12	324	12	303	12	304	12

岡谷田中小学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	61	2	70	2	52	2	64	2	53	2	51	2	48	2
2学年	65	2	61	2	70	2	52	2	64	2	53	2	51	2
3学年	69	2	65	3	61	2	70	2	52	2	64	2	53	2
4学年	77	3	69	3	65	3	61	2	70	2	52	2	64	2
5学年	76	3	77	3	69	3	65	3	61	2	70	2	52	2
6学年	64	2	76	2	77	3	69	3	65	3	61	2	70	2
計	412	14	418	15	394	15	381	14	365	13	351	12	338	12

湊小学校(特別支援学級:1学級(情障))

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	22	1	20	1	17	1	10	1	23	1	21	1	19	1
2学年	20	1	22	1	20	1	17	1	10	1	23	1	21	1
3学年	21	1	20	1	22	1	20	1	17	1	10	1	23	1
4学年	16	1	21	1	20	1	22	1	20	1	17	1	10	1
5学年	16	1	16	1	21	1	20	1	22	1	20	1	17	1
6学年	24	1	16	1	16	1	21	1	20	1	22	1	20	1
計	119	6	115	6	116	6	110	6	112	6	113	6	110	6

長地小学校(特別支援学級:5学級(知障1、情障4))

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	93	3	91	3	91	3	92	3	88	3	95	3	110	4
2学年	110	4	93	3	91	3	91	3	92	3	88	3	95	3
3学年	129	4	110	4	93	3	91	3	91	3	92	3	88	3
4学年	118	4	129	4	110	4	93	3	91	3	91	3	92	3
5学年	96	3	118	4	129	4	110	4	93	3	91	3	91	3
6学年	107	4	96	3	118	4	129	4	110	4	93	3	91	3
計	653	22	637	21	632	21	606	20	565	19	550	18	567	19

上の原小学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	45	2	30	1	36	2	31	1	29	1	19	1	25	1
2学年	47	2	45	2	30	1	36	2	31	1	29	1	19	1
3学年	36	2	47	2	45	2	30	1	36	2	31	1	29	1
4学年	40	2	36	2	47	2	45	2	30	1	36	2	31	1
5学年	47	2	40	2	36	2	47	2	45	2	30	1	36	2
6学年	39	2	47	2	40	2	36	2	47	2	45	2	30	1
計	254	12	245	11	234	11	225	10	218	9	190	8	170	7

7小学校合計(特別支援を含む)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	児童数 (人)	学級数												
川岸小	378	16	363	16	339	16	321	15	325	15	319	15	315	15
神明小	456	19	423	17	435	18	413	18	406	17	396	17	363	17
小井川小	358	16	319	16	307	16	311	16	324	16	303	16	304	16
岡谷田中小	421	16	418	17	394	17	381	16	365	15	351	14	338	14
湊小	124	7	115	7	116	7	110	7	112	7	113	7	110	7
長地小	683	27	637	26	632	26	606	25	565	24	550	23	567	24
上の原小	262	14	245	13	234	13	225	12	218	11	190	10	170	9
計	2,682	115	2,520	112	2,457	113	2,367	109	2,315	105	2,222	102	2,167	102

岡谷西部中学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	74	3	87	3	93	3	104	3	83	3	86	3	74	3
2学年	88	3	74	3	87	3	93	3	104	3	83	3	86	3
3学年	87	3	88	3	74	3	87	3	93	3	104	3	83	3
計	249	9	249	9	254	9	284	9	280	9	273	9	243	9

岡谷北部中学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	87	3	109	4	124	4	137	4	109	4	116	4	127	4
2学年	138	4	87	3	109	4	124	4	137	4	109	4	116	4
3学年	125	4	138	4	87	3	109	4	124	4	137	4	109	4
計	350	11	334	11	320	11	370	12	370	12	362	12	352	12

岡谷南部中学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	71	2	74	3	75	3	69	2	71	3	68	2	60	2
2学年	72	3	71	2	74	3	75	3	69	2	71	3	68	2
3学年	56	2	72	3	71	2	74	3	75	3	69	2	71	3
計	199	7	217	8	220	8	218	8	215	8	208	7	199	7

岡谷東部中学校(特別支援学級:3学級(知障1、情障2))

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	150	5	181	6	157	5	182	6	187	6	188	6	163	5
2学年	177	5	150	5	181	6	157	5	182	6	187	6	188	6
3学年	184	6	177	5	150	5	181	6	157	5	182	6	187	6
計	511	16	508	16	488	16	520	17	526	17	557	18	538	17

4中学校合計(特別支援を含む)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
	生徒数 (人)	学級数												
岡谷西部中	258	11	249	11	254	11	284	11	280	11	273	11	243	11
岡谷北部中	362	13	334	13	320	13	370	14	370	14	362	14	352	14
岡谷南部中	202	9	217	10	220	10	218	10	215	10	208	9	199	9
岡谷東部中	528	19	508	19	488	19	520	20	526	20	557	21	538	20
計	1,350	52	1,308	53	1,282	53	1,392	55	1,391	55	1,400	55	1,332	54

⑦ 人口及び児童生徒数の年比較

(毎年5月1日現在)

年度	人口(A)	増減指数	小 学 校			中 学 校		
			児童数(B)	人口対比(B/A)	増減指数	生徒数(C)	人口対比(C/A)	増減指数
	人	%	人	%	%	人	%	%
40	56,005	100.0	4,612	8.23	100.0	2,679	4.78	100.0
57	61,609	110.0	6,435	10.44	139.5	3,019	4.90	112.7
58	61,326	109.5	6,356	10.36	137.8	3,072	5.01	114.7
59	61,113	109.1	6,171	10.09	133.8	3,075	5.03	114.8
60	61,197	109.3	5,968	9.75	129.4	3,164	5.17	118.1
61	61,501	109.8	5,658	9.20	122.7	3,182	5.17	118.8
62	61,188	109.3	5,248	8.58	113.8	3,192	5.22	119.1
63	60,834	108.6	4,938	8.12	107.1	3,065	5.04	114.4
元	60,282	107.6	4,637	7.69	100.5	2,967	4.92	110.8
2	60,359	107.8	4,351	7.21	94.3	2,768	4.59	103.3
3	59,599	106.4	4,141	6.95	89.8	2,696	4.52	100.6
4	59,456	106.2	3,996	6.72	86.6	2,476	4.16	92.4
5	58,944	105.2	3,841	6.52	83.3	2,344	3.98	87.5
6	58,705	104.8	3,738	6.37	81.0	2,088	3.56	77.9
7	58,367	104.2	3,561	6.10	77.2	2,006	3.44	74.9
8	57,725	103.1	3,458	5.99	75.0	1,878	3.25	70.1
9	57,220	102.2	3,303	5.77	71.6	1,884	3.29	70.3
10	57,070	101.9	3,172	5.56	68.8	1,812	3.18	67.6
11	56,960	101.7	3,144	5.52	68.2	1,808	3.17	67.5
12	56,837	101.5	3,087	5.43	66.9	1,701	2.99	63.5
13	56,290	100.5	3,082	5.48	66.8	1,635	2.90	61.0
14	55,932	99.9	3,084	5.51	66.9	1,557	2.78	58.1
15	55,613	99.3	3,049	5.48	66.1	1,529	2.75	57.1
16	55,424	99.0	3,096	5.59	67.1	1,508	2.72	56.3
17	54,986	98.2	3,097	5.63	67.2	1,516	2.76	56.6
18	54,380	97.1	3,105	5.71	67.3	1,486	2.73	55.5
19	53,877	96.2	3,112	5.78	67.5	1,507	2.80	56.3
20	53,616	95.7	3,093	5.77	67.1	1,495	2.79	55.8
21	53,271	95.1	3,120	5.86	67.6	1,521	2.86	56.8
22	52,772	94.2	2,992	5.67	64.9	1,528	2.90	57.0
23	52,556	93.8	2,898	5.51	62.8	1,555	2.96	58.0
24	52,041	92.9	2,856	5.49	61.9	1,524	2.93	56.9
25	51,376	91.7	2,833	5.51	61.4	1,505	2.93	56.2
26	50,845	90.8	2,760	5.43	59.8	1,441	2.83	53.8
27	50,341	89.9	2,671	5.31	57.9	1,464	2.91	54.6
28	49,824	89.0	2,682	5.38	58.2	1,350	2.71	50.4

⑧ 中学校卒業者の進路状況

(平成28年3月卒業者)

学 校 名	男 女 別	進学者(就職進学者を含む)							教育訓練機関入学者				就 職 者	左 記 以 外 者	卒 業 者 総 数	
		高等学校			高 等 学 校 別 科	高 等 専 門 学 校	盲聾養護 学 校 部		専修学校		各 種 学 校	訓 練 施 設 等				公 共 職 業
		全 日 制	定 時 制	通 信 制			本 科	別 科	高 等 課 程	一 般 課 程						
岡 谷 西 部	男	59													59	
	女	46		2											48	
	計	105	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	
岡 谷 北 部	男	65		1											66	
	女	67	1	1		1									70	
	計	132	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	136	
岡 谷 南 部	男	39	1				3								43	
	女	31	1												32	
	計	70	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	75	
岡 谷 東 部	男	85	2	7			0								94	
	女	87	1	3			1								92	
	計	172	3	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	186	
計	男	248	3	8	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	262	
	女	231	3	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	242	
	計	479	6	14	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	504	

⑨ 小中学校通学区域

学 校 名	通 学 区 域	
小 学 校	川 岸	川岸地区全部
	神 明	今井 1. 4~12 町内、今井 3 町内国道下、間下 1~15 町内、 小井川 12. 13. 15. 16. 17 国道下、18. 22. 23. 24. 26. 27. 28 町内、 間下塩嶺、今井神明台、今井塩嶺、樋沢
	小 井 川	小井川 1~11. 14. 19. 20. 21. 25. 29 町内 小口全部、西堀全部
	岡谷田中	下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、新屋敷全部
	湊	湊地区全部
	長 地	中屋全部、中村 1~6. 8. 9 町内、東堀全部
	上 の 原	横川全部、中村 7 町内、今井 2. 13. 14. 15 町内、今井 3 町内国道上 小井川 17 町内国道上
中 学 校	西 部	川岸地区全部、岡谷全部
	北 部	今井全部、間下全部、小口全部、小井川 3. 4. 10. ~29 町内、樋沢
	南 部	湊地区全部、下浜全部、小尾口全部、上浜全部、新屋敷全部
	東 部	長地地区全部、西堀全部、小井川 1. 2. 5~9 町内

⑩ グランドデザイン

小 学 校

- ・川 岸 小 学 校 P29
- ・神 明 小 学 校 P30
- ・小 井 川 小 学 校 P31
- ・岡 谷 田 中 小 学 校 P32
- ・湊 小 学 校 P33
- ・長 地 小 学 校 P34
- ・上 の 原 小 学 校 P35

中 学 校

- ・岡 谷 西 部 中 学 校 P36
- ・岡 谷 北 部 中 学 校 P37
- ・岡 谷 南 部 中 学 校 P38
- ・岡 谷 東 部 中 学 校 P39

「岡谷市教育大綱」

「おかや子育て憲章」

- わたくしたち岡谷市民は
- 明るく元気で健やかな
 - 命を大切にし、感謝の心と思いやりのある
 - 自ら求め、粘り強くやり抜く
 - 行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる
 - 力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

学校教育の重点（岡谷市教育の重点）

- 1 地域に根ざした特色ある学校
- 2 ふるさとおかやに学ぶ学習
- 3 安心して学べる教育環境
- 4 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善
- 5 自立と共生につながる教育活動

学校教育目標

「たくましい子ども」

- 大切な命を守る子ども（高い安全意識・人権意識）
- 運動や遊びに思い切り取り組む子ども
- 「早寝・早起き・朝ご飯」で登校する子ども
- 「思いやり」のある子ども
- 勇気を出して行動する子ども
- 弱音を吐かず、粘り強く取り組む子ども
- 「あいさつ」「歌声」を響かせる子ども
- 進んで学び、考える子ども
- 故郷に学び、故郷を誇れる子ども

前年度の成果と課題

- 前年度の学校評価より
 - 多くの子どもが意欲的に学んでいる
 - 友だちと思いやりの心で接している
 - ▲どの子どもも進んで大きな声であいさつ
 - ▲相手や場にあわせてふさわしい言葉遣い
- 前年度の学力・体力の成果と課題

【学力】

 - 国語・算数・理科の基礎・基本の力は、ほぼ定着
 - 表現する場の工夫により「話す」「聞く」技能・態度の向上
 - ▲書くことや説明することがやや苦手
 - ▲子習や計画的な家庭学習がやや不足
 - 児童アンケートで学習時間の10%アップ

【体力】

 - 陸上部、元気ワクワクでがんばる子ども
 - ▲高学年の体を動かす時間が低下約60%。
 - 10%アップ
 - ▲「朝食抜き」の子が約10%→0%へ

本年度の3つの重点目標 【願う子どもの姿】

- 体力**：(からだを) しょうぶにする子・・・「体を鍛え、元気に遊ぶ子」
 ・体力アップを目指したげんきワクワクタイムと遊び（活動）の充実
- 心力**：(わたしもあなたも大切に) する子・・・「よく聞き、よく話し、互いの違いを認める子」
 ・学級・学年・校種・世代をこえた交流の場の創出
- 知力**：(き) づき考え、(し) っかり学ぶ子・・・「『できない』『わからない』を克服し、粘り強く考え、学ぶ子」
 ・学び合える学習環境・教師の授業改善

具体的な取組み：学力保障と成長保障の営み

【学力保障】

- 聞く・話す・交流の場の設定
 - ・自己表現する場（集会・発表会等）＝互いを知り、認め合う場の設定（展示、掲示、表彰、発表）
- わかる・できる・学び合う授業の構築・授業改善
 - ・多様な考えに触れる「対話」がある授業作り
 - ・ノート指導を中心にした授業改善（一人複数公開）
 - ・1時間の見通しが持てる板書計画と「記録」の積み重ねによる授業改善・実践研究
 - ・「見える化」による学び合いの充実
 - ・「説明力」が求められる学習場面（活動）の設定
- 基礎・基本の定着と家庭学習の充実
 - ・語彙を豊かにするための辞書・辞典をはじめとする図書の活用（国語の授業での辞書活用、読書会の開催 等）
 - ・どの子どもも分かる授業のユニバーサルデザイン化
 - ・家庭と連携した家庭学習の充実（記録カード、チャレンジ学習、プラス15分の読書、家庭学習コーナーの設置）（学期ごと検証）
- 体力アップを目指した体育の授業・遊びの奨励
 - ・げんきワクワクタイムの充実
 - ・みんなで遊ぶ場の設定
 - ・体育の授業構成の工夫

【成長保障】

- 認め合い、助け合う元気な子どもに
 - ・「あいさつ月間」によるあいさつ、会釈、マナーの定着
 - ・SSTや校内異年齢交流等による人間関係作り
 - ・OEEによる西部中学校や保育園との交流
 - ・「つつじが丘学園」の子どもと共に、だれもが活きる集団づく
 - ・子ども総合相談センター・医療機関・専門機関との連携による個の伸長を図る支援
- 子どもと向き合う職員集団
 - ・特別支援 Co を中心とした特別支援教育理解の推進と実践
 - ・人権教育を中心とした職員研修の開催（年数回）
- 地域に学び、地域と共にある学校
 - ・ともそだちボランティアの協力による総合的な学習の時間の充実
 - ・エコロータリークラブ支援の「自然の玉手箱」による自然体験・地域学習
 - ・放課後子ども教室「とちっこひろば」参加による地域の方との交流
 - ・地域講師による地域の歴史や自然、生き方を学ぶ学習の充実

地域・保護者

学 校

小中連携・幼保小連携

チーム「川岸」による協働

- ・「報・連・相」による校内外の連携（職員・PTA・地域）
- ・幼保小中連携による取り組み（幼保小活動・OEEの実施）
- ・川岸コミュニティースクールの運営（H29年度より運営開始）
- ・保護者・地域とつくる「地域の学校」（より開かれた学校に）
- ・一人一人が活きる「チーム川岸」（子どもも大人も活躍する）

平成28年度 岡谷市立神明小学校グラウンドデザイン

おかや子育て憲章 ~子どもの心の自立を支えるために 市民総参加による 子育てのまちづくり~
 ○明るく元気で健やかな子どもに育てます。
 ○行動に責任を持ち、ひとりだちのできる子どもに育てます。

岡谷市教育大綱 学校教育のストーリーガン《生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かな人づくり》

【学校教育目標】 つむぐ〜「絆」「学び」「夢」〜

〔学校長の願い〕

岡谷小学校と統合して新たな神明小学校がスタートした。岡谷市の教育大綱を礎にして互いの学校のよさや伝統などを融合し、子どもたちが「絆」をつむぎ、「学び」をつむぎ、「夢」をつむいでいくことができる「子どもが主人公」の学校づくりをすすめていく。神明の地にあるこの学校は地域の中にあり、地域の将来を担っている。地域と願いを共有しながら、地域と共にある学校づくりをすすめていきたい。

【願う子ども像】

【絆をつむぐ子ども】

相手の側に立ち、もの・ひと・こととのかかわりを深めていく子ども

【学びをつむぐ子ども】

学んでいく一つ一つがつながり合い、自分を豊かにしていく子ども

【夢をつむぐ子ども】

自分の可能性を信じて、今を精一杯に生き、未来に向かって歩む子ども

子どもが主人公の学校

子どもが主人公…主体的に、協働的に、創造的に学んでいくことができる学校

【本年度の重点目標・具体的方策】

1 ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進

- 1 ふるさと岡谷を心から愛することができること
 ○本物に学ぶつむぎの時間の充実 ○ふるさと教材のキャリア教育の推進

2 子どもと共に創る「わかる」「できる」「味わう」授業

- 2 子どもと共に創る「わかる」「できる」「味わう」授業
 ◇学力向上の柱
 柱1：くらしを創り、学びをつむぐ夢のある学校…子どもが夢や願いを実現するつむぎの時間の実践を基盤に
 柱2：子どもが主人公の学び…子どもが自分ごととの学習問題を解決していく日常の問題解決的な学習
 柱3：一人ひとりが主体的に取り組み家庭学習（タブレットワーク、VS宿題くん等）・読書を楽しむ「家読」…家庭との連携
 ◇研修：学び続ける教師…岡谷市全体講師：松木健一先生、中心講師：奈須正祐先生に学ぶ5回の研修会及び公開研究会を柱にした授業研究
 …「科学が好きな子どもを育てる」ソニー子ども科学教育プログラムへの参加

3 安心・安全な学校づくり

- 3 安心・安全な学校づくり
 ○チーム支援・チームでの対応
 ○「いじめ根絶子ども会議」と連動した年間の取組 ○防災教育の充実

4 インクルーシブ教育システムの構築

- 4 インクルーシブ教育システムの構築
 ○子どもの特性に応じた支援体制の構築（特支4学級を核に）
 ○ピジョントレーニング、ソーシャルスキルトレーニングの取組 ○幼保小中の連続的な支援
 ○ユニバーサルデザインの実現 ○ユニバーサルデザインの充実

5 「自立と共生」につながる教育活動の充実

- 5 思いやりと活気に満ちた学校生活の創造
 ○児童会を中心とした自主的・自律的な活動の充実…統割り活動
 ○子どもにしみ入る道徳の時間と人権教育の積み重ね
 ○歌声と思いがハーモニーを奏でる音楽集会

地域に根ざした特色ある学校創りの推進 「コミュニティスクール（CSC）モデル」を模範



*学校と地域が一体となり、子どもを育てる仕組をもち、地域と共にある学校づくり

【フワープラン…主な活動内容】

- <スマイルサポート>
 - 「神明っ子えがお見守りたい」
 - 教科学習、つむぎの時間、クラブの講師
 - 日常的な学習支援
- <ライブラリーサポート>
 - 読み聞かせボランティア
 - グリーンサポート
 - フラワーロード ○学校環境整備
- <神明っ子 はばたき ラボ>
 - 放課後子どもの居場所づくり事業

平成28年度 小井川小学校のめざす教育 グランドデザイン

岡谷市立小井川小学校

岡谷子育て憲章
 わたくしたちは
 ・明るく元気で健やかな子ども
 ・命を大切にし感謝の心と思いやりのある子ども
 ・自ら求め粘り強くやりぬく子ども
 ・行動に責任をもちひとりだちのできる子ども
 ・力を合わせ人のために尽くし郷土を愛する子ども
 に育てます。

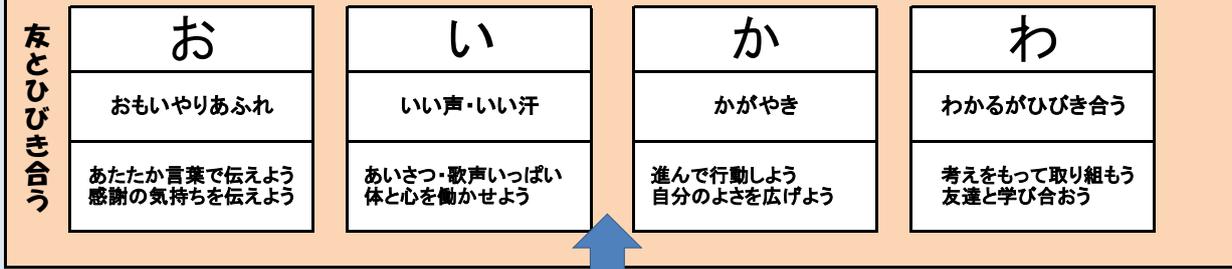
学校教育目標
 自ら求めてうごく子ども
具体目標
 1 進んで学ぶ子ども
 2 思いやりの心を持った子ども
 3 粘り強くやり抜く子ども
 4 健康でたくましい子ども

みりよくある岡谷の学校創り
 5つの重点
 ・地域に根ざした特色ある学校づくりの推進
 ・ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の充実
 ・確かな学力保障と成長保障を図る授業改善
 ・笑顔で安心して学べる教育環境の整備
 ・「自立と共生」につながる教育活動の充実

本校の強みや課題
 ・えがおまもり隊・ラムラム広場に象徴の地域の強い支え
 ・若い活力と豊かな経験のある職員集団
 ・協力的な保護者
 ・課題解決学習日常化し授業力向上を
 ・児童の表現力(書・話・読解)向上を
 ・聞く力の更なる向上
 ・集団になじめない子へ専門的支援必要

重点目標 ひびき合う学校

本校の子どものよさや課題
 ・元気に校庭で遊ぶ健康な子どもたち
 ・明るい挨拶のできる子ども
 ・指示を聞ききちんと行動できる子ども
 ・友に親切に接し良さを認める子ども
 ・表現力・聞く力を更につける子ども
 ・友達仲間との人間関係に悩む子ども
 ・自分の良さに気がつき自己肯定感を高めたい子ども
 ・柔軟な思考を伸ばしたい子ども



◇**人権教育が教育活動の土台**
 ・自他を尊重し合う人権感覚を培う
 ・教師の人権感覚を常に磨く。
 ・差別のない学校・学級・学校作り
 「いじめ根絶宣言」
 ・和顔愛語を合言葉と温かな指導

◇**道徳教育を指導の根幹に**
 ・道徳授業の充実
 ・様々な場面で具体的指導
 ・学校と家庭での読書の推進
 ・「早寝早起きあさごはん」の指導

◇**人間関係力向上への取り組み**
 ・信大高橋先生と連携したSST実践
 ・「遊び」を様々な場面で
 ・なかよしマラソン・なわとび取り組み

◇**異年齢集団で育ちを大切に**
 年間を通して様々な活動
 ・ふれあペア・いグループ活動

◇**地域とつながり生きる子**
 ・地域清掃の実施・車いす寄贈運動
 ・福祉運動会への協力
 ・えがおまもり隊との連携
 ・お年寄りとの交流活動
 ・地域素材を生かした学習活動
 ・交流を通じ心通じあう場に

◇**心の教育の推進**
 「命あるものを大切に美しいものに感動できる素直な子ども」道・玄関前の「ピオトープ」めだか池・あおぎりいちようなどの樹木に囲まれた環境での生活
 ・一人一鉢などの栽培活動
 ・お年寄り・地域との交流
 ・感謝の気持ちを持った挨拶

◇**挨拶がひびき合う学校**
 ・児童会を中心とした挨拶運動
 ・職員の率先垂範
 ・地域でかわす挨拶推進

◇**歌声がひびき合う学校**
 ・学級づくりは歌声づくり
 ・全校音楽集会の充実
 ・歌声のモデルとしての音楽部
 ・学級で歌う曲の充実
 ・豊かな表現力を育てる場
 ・全校で創り上げる「音楽会」

◇**自ら取り組む「いい汗をかこう」**
 ・無言清掃の継続
 ・環境整備作業の重視
 ・「学校一運動」への取り組み
 年間通しての体力向上
 ・全校で創り上げる「わかば運動会」
 ・なかよしマラソン・なわとびの運動
 ・「そろえる」くつ・カバンなど
 家庭での「お手伝い」推進

◇**自主・自立の芽を伸ばす指導**
 ・自信(自尊感情)をつける支援指導
 ・自立(コミュニケーション能力)を大切にした支援指導
 ・安心(他社理解)の推進
 ・行事・学級活動でまかせる場設定
 ・「教えること」と「気づかせること」をはっきりさせた指導
 ・自律を大切にした生徒指導

◇**魅力ある学校・学級づくり**
 ・不登校ゼロをめざす取り組み
 ・どの子も居場所のある学級づくり
 ・学ぶ楽しさのある授業づくり
 ・人間関係づくりを意識した授業
 ・笑顔で登校支援プランの周知

◇**基本的な生活習慣の確立指導**
 ・早寝早起きあさごはん
 ・読書・アウトメディア
 ・自分の体と命を守る安全指導

◇**良き伸長個性発揮の場設定**
 ・自ら挑戦し個と集団の伸びる音楽部・陸上部運営
 ・対外的な場の紹介
 ・様々な機会に発表の場設定

◇**わかる授業**
 ・ノート指導に重点をあてた授業
 ・学習問題の明確化と見届け
 ・めりはりをつけた授業
 ・体験をとり入れた考える授業
 ・基礎力定着のため個人指導
 ◇**基本的な学習習慣の確立**
 ・「はい」の言える子
 ・よい姿勢(腰骨を立てて
 ・「聞く」「書く」ことができる子
 ・進んで家庭学習・自主学習に取り組む
 ◇**つながりひびき合う授業**
 ・少人数による学び合いを大切に
 ・自分の考えをもとに学びふりかえる
 ・支え合い安心して取り組める
 ・子どもが主体で進める話し合い活動
 ◇**共同研究による指導改善**
 全校テーマ
 「自ら課題を持ち、ともに関わり合いながら確かな力を付けていく子ども」
 ・二部会での研究推進
 家庭科 外国語活動
 ・同僚性を生かした研究・研修
 ・授業スキル研修の継続 一人一公開
 ・「表現力育成」を窓口にした学力向上策
 ◇**家庭と共に進める家庭学習**
 ・子どもが自分のために行う家庭学習
 ・「家庭学習のしおり」を元に家庭と連携
 ・目標時間以上取り組み意識と実践化
 ・自主学習の充実
 ・自主学習ノート・クリアチャレンジ問題
 ・家庭学習重点週間の設定
 ・家庭読書の推進

地域とひびき合う

保護者・地域に開かれた学校
 ・学校だより・学校新聞の学区内回らんや配布

地域の方とひびき合う学校
 ◎ 信州型コミュニティスクール実働のための運営委員会を更に充実させる年に!
 ・PTA活動 ・読書ボランティアの募集と活用「どんぐりサークル」
 ・お年寄りとの交流 ・各地区「いきいきデイ」との交流活動
 ・子どもの安全を守りあいさつを広げ伝える「えがおまもり隊」との連携 ・交流
 ・地域の方との交流「ラムラム広場(西堀地区)」への参加協力
 ・放課後居場所作り「おいかわっこ」 ・地域主催事業の紹介や運営協力
 ・小井川小学校児童を育てる会の改革・地区懇談会の充実
 ・学習ボランティアについての吟味・推進



新たな歴史の第1歩
「笑顔と感動
あふれる学校」の創造

おかや子育て憲章
・明るく元気で、暖やかな子ども
・命を大切に、感謝の心と思いやりのある子ども
・自ら求め、粘り強くやりぬく子ども
・行動に責任を持ち、ひとりだちのできる子ども
・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子ども



学校教育目標
「新たな時代を創造する子ども」
友と共に
遊び・学び・鍛える

学校長の願い
○新たな学校づくりのなかで、豊かな心と自立した心を育む
○実物に触れ、本物に出会い、体験的に友と協働的に学び合う学習
○笑顔と感動あふれ

保護者・地域の願い
○活力ある新たな学校の創造
○心身が健康な子ども
○勉強をがんばる子ども
○心のやさしい子ども
○ふるさと岡谷を愛し地域行事に進んで参加する子ども

めざす子どもの姿
気づき 考え 実行する
(創造力・主体性)

探求的思考 豊かな心

本年度の指導の重点

学力・体力の向上

「子どもが主役の学びあいの授業」
○実物・体験を通して学ぶ
○基礎基本の確かな定着
漢字、計算の力の向上
漢字検定、ドリルの時間の充実
○運動したくなる環境づくり
「タイム」(仮)の充実
目標設定と評価
○子どもと共にある授業
子どもの日常の姿を大切にしたい教材研究

仲間づくり

「感動や満足感が味わえる授業・活動」
○学級活動「わくわくタイム」の充実
教師も共にみんなで遊ぶ時間の確保
○学級集団づくり SSTの活用
○児童会による児童同士の交流活動
縦割り班の活動
○学級や学校の枠を越えた交流活動
○歌を通しての仲間作り

ふるさと「岡谷」に学ぶ
・岡谷市スタンダードカリキュラム
・地域の歴史、自然、産業を友と協働しながら主体的に学ぶ
・ふるさとに自信と誇りをもつ学び

心の育ち

「思いやりと活気に満ちた学校生活」
○達成感・満足感を大切にしたい実践
○「みんながってみんないい」の価値観の共有 お互いのよさを認め合える新しい友だちとの関わり
○「岡谷市いじめ根絶子ども会議」・「児童会なかよし旬間」の取組
○道徳教育の充実
授業の充実と日常の実践
○子どもの困り感に寄り添った支援
通級指導教室との連携
特別支援教育重点研究

特別支援教育の充実

○ 特別支援教育の視点に立った、学校経営・学級経営
○ 授業や環境のさらなるユニバーサルデザイン化の推進
○ 支援体制の連携の推進 (チーム支援) ○通級指導教室との連携

安心・安全な学校

<安心>
○開かれた学級づくり
○相談ポスト(児童玄関、保健室、校長室)
○職員の人権感覚の向上(研修)
○道徳・人権教育の日常の実践
<安全>
○危機管理(日常管理と迅速な対応)
○交通安全教育の充実と日常化
○PTA・地域と連携した登下校の見守り

地域・保護者と共に創る学校

○家庭訪問・参観日・各種行事
○PTA 活動・学校評議員の会
○学級・学年・学校便りの発行
○岡谷田中小コミュニティスクール
・見守り隊、
・外部講師の支援、
・放課後の居場所
○保育園・小学校・中学校・高校・養護学校との交流

<家庭・地域との協働>
コミュニティスクール



学校教育目標

岡谷市立湊小学校

やさしい子 かしこい子 たくましい子

岡谷市子育て憲章 (岡谷市のめざす子ども像)

- ・明るく、元気で、健やかな子ども
- ・命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子ども
- ・自ら求め、ねばり強くやり抜く子ども
- ・行動に責任をもち、ひとりだちのできる子ども
- ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子ども

岡谷市教育大綱
【自立し、共生し創造性溢れる『岡谷のひと』づくり】

めざす子どもの姿

誰にでも進んで挨拶し、思いやりをもって人とかかわる子ども よく聴き、考え、判断し、それを表現できる子ども 困難を乗り越え、心身共に健康な粘り強い強い子ども

家庭では (PTA)

- ・あいさつの日常化
- ・おはよう日における家庭間の連携
- ・家庭における全人的教育

- ・家族内の対話UP
- ・学校と連携した家庭学習 (学習の手引きの活用)

- ・早寝、早起き、朝ごはん推進
- ・日々の健康管理
- ・おはよう日における安全指導

重点目標1 【やさしい子】互いの気持ちをわかり合おう！ 湊を好きになろう！

- ①心をつなぐ挨拶
- ②地域を思うふさと学習
- ③思いやりを育む異学年交流
- ④様々な立場を認め合う教育活動

具体目標：100%の子どもが『学校が楽しい』と答える、居心地の良い学校！

- ①児童会を中心にした呼びかけ。児童会企画。
 - ②地域素材を生かした体験的交流活動及び創造的な授業作り。
 - ③縦割り班活動の充実。児童会による企画。
 - ④児童会とタイアップした思い合い週間の充実。わかたけ学級・来入児・中学校交流。道徳教育の充実。外国語活動の充実。
- ※教師の力量を高める研修 … 児童理解。(Q U等) いじめ・不登校についての理解。

重点目標2 【かしこい子】対話により学びあいを深めよう！ 基礎学力を定着させよう！

- ①対話による学びあい
- ②基礎基本の定着をはかるドリル学習
- ③自主的な家庭学習

具体目標：学テ・CRTで全国比(102)の学力が身につく！

- ① 友との対話が生まれる授業の日常化。(話す力・聞く力・考える力) 授業がよくなくなる三観点の意識化。(授業前後の挨拶)
 - 生活科・体育科の研究を切り口に「対話」についての見識を深める。
 - ② チャレンジタイムの活用。日々の家庭学習充実の充実。
 - ③ 学習の手引きの活用。自分の課題を持った自主学習の推進。
- ※個に応じた支援の工夫 … 授業のユニバーサルデザイン化。補充の個別支援。
※教師の力量を高める研修 … 授業改善。(相互授業参観)ドリル学習の共有。家庭学習指導。

重点目標3 【たくましい子】自分の心や体を鍛えよう！ 自分の心や体のことを知ろう！

- ①体力づくり
- ②健康安全の推進
- ③リコーダー活動

具体目標：マラソン大会で前年度記録更新80%！

- ① マラソンカードによる日々の練習の啓発。
- 具体目標：自分の健康に関心をもち、管理のできる！
- ① 保健学習・指導。 ② 自校給食を活かした食育。 ③ 命の大切さを知る学習。
- 具体目標：「技能」「努力」「受け継ぐ心」が育つリコーダー！
- ① 日々の練習。リコーダー講習会。 ② SBCコンクール。 ③ まとめ会の会。

地域では

- ・湊小運営委員会と連携し合ったあいさつの地域拡大
- ・地域ボランティア
- ・地域での異学年交流の推進(あそぼう日)

- ・大人との対話
- ・子ども主体の地域行事
- ・関係団体

- ・体力upプログラム
- ・おはよう日における安全指導

湊コミュニティースクール … 地域で学ぶ良さを実感し、地域を元気にする学校。(貢献しようとするひとづくり)



平成28年度 長地小学校 グランドデザイン

学校長のねがい

行きも帰りも笑顔
○にっこりできる子
○しっかり励む子
○心身の丈夫な子

学校教育目標
自己を見つめよく考え自分の力で生きていく子ども

具体目標

- 一 よく考えやりぬく子ども
- 二 仲よくみんなのためにつくす子ども
- 三 いつも明るくじょうぶな子ども
- 四 美しいものに感動しあこがれをもつ子ども

自
立
し、
岡
谷
の
一
つ
づ
き
を
創
造
し、
溢
れ
る

おかや子育て憲章

- ・明るく元気で、健やかな子ども
- ・命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子ども
- ・自ら求め、粘り強くやりぬく子ども
- ・行動に責任を持ち、ひとりだちのできる子ども
- ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子ども

【職員の研鑽】

表現する子どもの育成をめざして

- ・話す・聞く・話し合う
- ・コミュニケーション力の育成について目標を設定し指導の充実を図る

きめ細やかな支援と評価を行う

- ・コミュニケーション力育成のための指導を具体化し、継続的指導と見直しを行う
- ・学年会で教科学習を深め、授業改善に努める
- ・手づくり単元学習の魅力的な展開と実践化を図る(アクティブ・ラーニング)

自分に自信がもてる子どもの育成をめざして

- ・個に寄り添った支援を行う
- ・自ら動ける場を作り、自尊感情を高める
- ・発達障害の研修を行い、連携を図る
- ・授業のユニバーサルデザイン化を図る

本年度の課題

学力向上とコミュニケーション力の育成

本年度の重点目標
＜合い言葉＞
けんこうで あいさつ・おしごと・おべんきょう

教育指導の重点・基本

◇基本的な生活習慣の確立

- ①自分から挨拶、呼ばれたら返事
- ②健康な体づくり
 - ・早寝 早起き 朝ご飯
 - ・よくかんで・歯みがき(「歯みがきカレンダー」)
 - ・歩いて登下校
- ③はき物をそろえる
- ④うち読でエコ読 第3日曜日(うち読でエコ読の日)
 - ・家庭で親子で読書をする。
- ◇基本的な学習習慣の確立(「家庭学習の手引き」)
- ⑤決めた時刻に自分から始める
- ⑥必要なものを準備し片付ける
- ⑦丁寧に、きちんと行う
- ◇家族でのコミュニケーションの充実
- ⑧親子の会話を密にする
- ⑨丁寧な言葉遣い

【家庭教育】

子どもの姿	進んでからだ心をきたえる子	にこやかなあいさつ・返事・言葉	しっかりおしごとする子	しっかりおべんきょうする子
	自分の体を知る 健康に必要な知識や習慣を理解 自分の健康を自分で守る	友達に地域に来客に先生に 場に応じた 言葉遣い話し方聴き方	学級の係や当番の仕事 児童会・行事での仕事 みんなのために自分のできることを行う	基礎学力がついて 生活科・手づくり単元学習に熱中 言葉や文章で表現できる
教師の指導	<p>★食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心身の健康への関心を高める ○食事の重要性を理解させる ○食品を選択する力をつけさせる ○マナーや社会性を身につけさせる ○食文化を継承させる <p>★保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○そしゃくと歯みがきの習慣を身につけさせる ○視力低下や肥満の防止 ○よい姿勢を意識させる ○望ましい生活習慣の知識と実践力を身につけさせる <p>★けが・病気の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危険予測・回避能力を身につけさせる ○インフルエンザ、ノロウイルス等の知識と予防法を身につけさせる <p>★体力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体を動かした外遊びを奨励する ○歩きによる登下校 <p>★困難を乗り越える心</p> <ul style="list-style-type: none"> ○達成感のある目標の持たせ方と解決の方法を工夫させる ○励ましと称賛 	<p>★挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師が笑顔での挨拶をさきがける ○「自分から」の意識を高める ・いつでも ・どこでも ・誰にでも ○その場にあった挨拶を身につける <p>★返事・聞き方・話し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聞く姿勢づくりを行う <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、視線 ・相手意識(心) ○呼ばれたら[はい]の返事を徹底する ○自発的な挙手への支援をする ○日常的に「伝える」ことを意識して話をさせる ○適切な対人行動を指導する <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング(SST) ・ピア・サポートプログラム(PSP) <p>★言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的な言葉遣いの継続的指導を行う(ふわふわ(あつたか)言葉) ○温かく明るい言葉の意識付けと継続的指導を行う ○友達を「○○さん」で呼ぶ指導をする 	<p>★教室で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達のために働く心地よさを体感させる ○「いっしょけんめい」の心地よさを体感させる ○行為の価値付けをし、称賛し広める <p>★児童会・行事で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちのために働くよさを体感させる ○児童会活動を充実させ、発表の場を意識して設ける ○ペアでの活動＝確実な相手意識 ○他者との協調・協働の活動を仕組み <p>★清掃で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無言清掃 ○気づき清掃 ○時間いっぱい清掃 	<p>★基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日々の授業の充実を努める ○県の3視点を意識した授業を行い、きちんと見返す <ul style="list-style-type: none"> ・ねらい ・めりはり ・見とどけ ○朝読書の充実 ○基礎基本の定着を図る学年統一したグングンタイムの活用 <p>★生活科・手づくり学習の充実・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統の版画を大切に ○地域素材の教材化に努める ○人、こと、ものとの出会いを大切に <p>★言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体などで表現させる ○自分が話す習慣づくりをする <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え ・自分の言葉 ○「伝える」ことを意識させる <ul style="list-style-type: none"> ・言葉や表情・声量・相手 ○「聴く力」をつける <p>★開かれた学級づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行きも帰りも笑顔 ○豊かな人間関係の構築
研究	<p>体育科部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仲間と共に練習し、運動の楽しさや喜びが共感できること ○多くの児童が授業で自己効力感を感じられること ○上記のための教材づくり、評価の在り方、指導方法の工夫 	<p>健康教育部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に自らの生活を見直し目標を自己決定できる授業 ○系統的・継続的な指導を行うためのカリキュラムづくり ○意識の継続を図ることのできる日常生活を通じた健康教育 ○家庭・地域と連携した健康教育 	<p>学力向上部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学びを実感できる授業研究(過程・振り返り) ○CRT結果を活かした、授業力向上・家庭学習の工夫 ○授業のユニバーサルデザイン 	<p>特別支援教育部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの子にもわかる授業づくり ○授業のユニバーサルデザイン ○教材・教具の工夫 ○チーム支援の充実

・子どもの評価・家庭の評価・学校評議員・地域の評価 → 学校評価
 ねらいと方策(内容や重点・評価する場面)を連絡し、それについて評価 学校教育活動全般を評価
 ・幼保小連携 小中連携(岡谷東部中「未来を拓き、共に自立する生徒」…未来を拓く生徒 共に育つ生徒 自立する生徒)
 ・スクールセクハラ対策(相談窓口＝保健室)



学校目標

共有意識を持ち、教育を推進する。

- ・子ども一人ひとりに誇りを感じる
- ・子ども一人ひとりの力を引き出す
- ・子どもと共に学びを創り出す
- ・一人ひとりの個性へのチーム支援

誠なる子 明なる子 健なる子
～郷土を愛し、心豊かたはほしい子ども～

学校をふるさとに 感じるさとを学校に

自立し、共生し、創造性溢れる「岡谷のひと」づくり
生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かな人づくり

みんなをかよ
君、さんをつけて互いの名前を呼ぼう
・明るく元気な挨拶、やそそう
・挨拶を交わそう
・学年、学年をこえて仲良くなろう。

しっかり勉強
まことの考えを大事に
・理科実験を大々活用して
・本を活用しての調べ学習の充実
・地域を知り学ぶ活動の充実

心も体もすこやかに
歌声の響く、クラス、学校をつくらう
・朝読書に取り組み、基礎体力を向上させよう。
・よく遊び、真剣に清掃に取り組みよう。

互いを守り合い育て合うかけがえのない「命」と捉え 自分を他者(ひと)を輝かせて生きる
自ら考え・求め続け・実え含む子どもたちの育成

子ども理解を深め、一人ひとりの子どもたちの成長を信じ、自尊感情を高め、より良く生きようとする意欲を育むように指導・支援する

具体的支援

- ① 子どもの心に寄り添い、共感し、一人ひとりが目標達成に意欲を燃やせるよう関わる。教師
・子ども一人ひとりの生活の中での会話や日記など、子ども一人ひとりの見方、感じ方、考え方を、行動の仕方などについて理解を深める
- ② 教師の姿を認める教師生活で温かい学校・学年・学級づくりをすすめる。自ら学校生活、道徳教育、人権教育の充実から、子どもの生き生きとした姿を共有し、誠実で他者への思いやりを温かく育む。言葉の増やす
・生活や学習のルールを共有し高め合う学級集団づくり
・Uを活かした学級集団づくり
・温かい人間関係を結ばれた仲間づくり
・児童会活動、姉妹学級の交流、学年活動の充実
・情報モラル教育の徹底

教師の資質向上

- ① 子どもも主体的に授業をめざし、基礎力を身につけることと、言葉活動の充実を図る(読解力の向上)
・授業を振り返り、1時間の授業
・子ども一人ひとりの見方、感じ方、考え方を、行動の仕方などについて理解を深める
- ② 「うえのほらばーや」の「実践・検証を往々に授業改善を進める」
・「うえのほらばーや」の場を確保し、授業の振り返り、友達の意見を聴いた場面での自分の意見を伝える
・家庭学習の充実(定着状況調査、結果を踏まえての取組を継続し推進する。
・地域の取組、地域の教育力や環境から学活への取り組み、地域の充実を図り、(周平の時間) 子どもの思いを描き表現できる

- ① 望ましい生活リズムづくり(起床・就寝時刻を核として)を家庭と連携して進めます。
・起床時刻、就寝時刻を大切にし、目的をもって活動を通じ、運動好きな児童の育成や体力づくりを取り組む。
- ② 日常的な外遊びの励行(担任とともに)遊びを通じた体力推進
・全国体力・運動能力テストを実施して、児童の美態を把握するとともに、結果を考察し、授業や日常生活に活かす。
- ③ 落ち着いた生活のなかから、朝読書、命を感ずること、花・農作物等の栽培、生物飼育、地域を知り、愛着を高める活動、ふれあいの生活態度の向上、山里の会との交流を促す。
- ④ 心を育てる活動に取組み、
・放課後居場所づくり「うえのはらばーや」との連携・協力

家庭の協力・地域からの支援

平成28年度 岡谷西部中学校グランドデザイン

学校長の願い

一人一人が「明日もまた学校へ来たい」と思える学校

目指す学校像

- ・生徒の能力を引き出し、伸ばせる学校
- ・保護者地域から信頼される学校
- ・安心・安全への配慮を怠らない学校
- ・教師の力量が高められる学校

学校教育目標

自立を育み **共生**に生きる

自立

自己を確立し、自らの考えに基づいて判断し、自身の力で生きる姿をめざす

共生

他者の「自立」を尊重し、「自立」した個人が相互に理解し、支え合う姿をめざす

岡谷子育て憲章

- ・明るく元気で、健やかな子ども
- ・命を大切に、感謝の心と思いやりのある子
- ・自ら求め、粘り強くやり抜く子
- ・行動に責任をもち、ひとりだちのできる子
- ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子

重点

- ①学力の向上 ②人権意識の向上 ③自主性の向上

①授業のユニバーサルデザイン化

- ・場の構造化…整理整頓 目印 視覚的なお手本
- ・刺激量の調整…注意散漫の原因因子をおさえる配慮 掲示物 席順や座席の位置

②学力向上推進プラン

- (1)授業改善や学力向上を目指した重点的取組
- ・授業規律の徹底…落ち着いて授業に臨む習慣づくり
 - ・家庭学習の充実…Let's challenge(家庭学習の基本スタイル確立と実施時間調査)、質の改善と量の改善
- (2)授業改善や学力向上を評価する検証方法
- ・NRT検査、全国学調などからPDCA
 - ・補充学習の充実…授業と関連付けたドリル内容とその評価の蓄積
- (3)教職員の指導力向上のための研修
- ・各教科における授業改善…授業を見合って授業改善
 - ・小中連携による「Q・U分析」「学級づくり」等の研修会

①安心して学べる集団づくり

- ・お互いの違いを認め、やる気のできる集団づくり
- ・落ち着いて学習できる環境作り
- ・一人一人が活躍できる場作り
- ・肯定的な評価
- ・間違いを肯定的にとらえる。
- ・学力向上の第一歩は、心地よい学級づくり
- ・「隠れたカリキュラム」を大切に

②心を育む道德の授業

- ・多様な価値観を認め合いながら自尊感情を高め、自分も他も尊敬し大切に

③人権感覚を磨く活動

- ・自分の心と向き合うことを土台にして、様々な人権課題を学ぶことによって人権感覚を磨き、身近な問題を解決する力をつける。

④いじめ根絶子ども会議への参加

①自立を育む学友会活動

平成28年度スローガン…「一笑献命」
 「一」～心を1つによりよい西中へ～
 メリハリをつけよう 凡事を徹底しよう
 「笑」～笑顔があふれる西中へ～
 温かい雰囲気を作ろう
 「献」～地域・周囲に貢献する西中へ～
 地域や周囲の役に立つ活動を積極的に行おう
 「命」～命を大切にする西中へ～
 反射タスキ・命を大切にする活動を大事にしよう

②アクティブラーニング

- ・発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等、生徒の能動的な学習への参加を取り入れる。
- ・授業において、グループディスカッション、ディベート、グループワーク等を積極的に取り入れる。

③総合的な学習の時間

- ・ふるさと「岡谷」の人・こと・ものから学び、岡谷の「誇り」を実感する取り組み

これをささえる

連携

小学校との連携

- ・川岸小学校との合同職員会
- ・互いの授業を見合う研修
- ・家庭学習のあり方、学習習慣の形成のあり方の連携
- ・作品等の交流 体験授業
- ・児童生徒の交流

地域との連携

- ・地域にある組織との連携
区長会 民生児童委員
各種ボランティア
- ・地域にある素材を利用し積極的に教材化を図る

家庭との連携

- ・たよりを通して
- ・PTA活動の充実

外部機関との連携

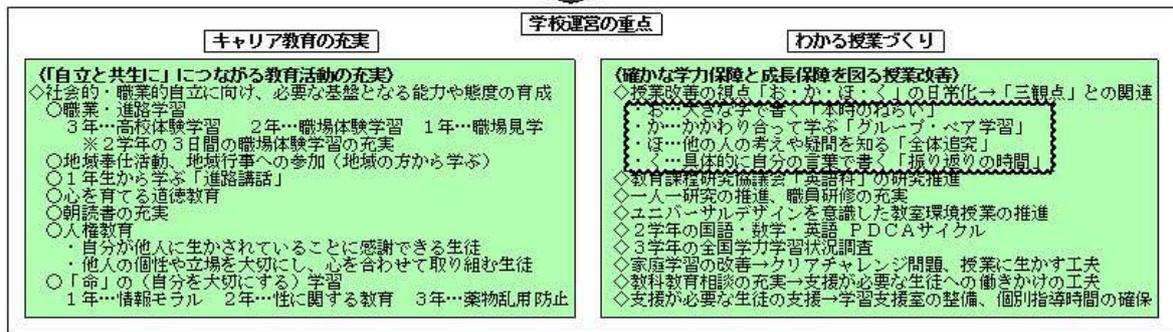
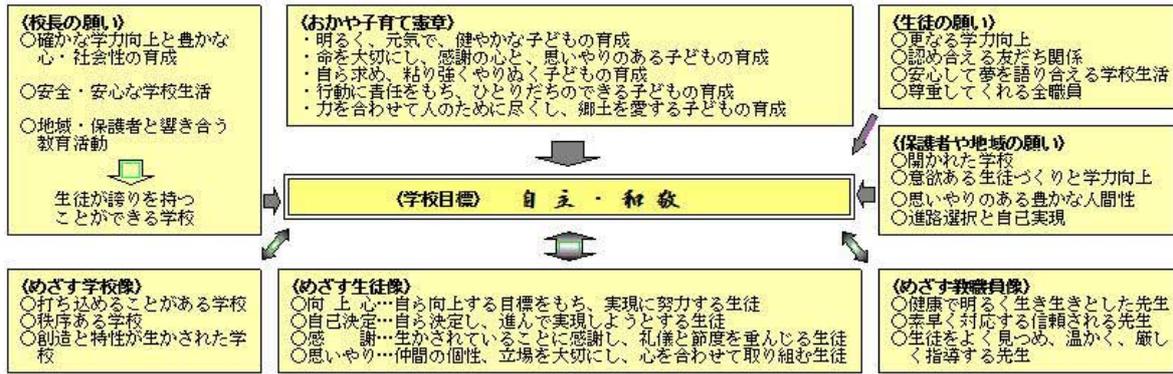
- ・市子ども総合相談センター
- ・医療機関 ・SSW 等

学校評価

- ・職員による評価
- ・生徒による評価
- ・学校関係者評価
- ・学校評議員会

次年度へ

平成28年度 岡谷市立岡谷北部中学校グランドデザイン



北中3本柱 (学校目標達成のための具体的活動)

気持ちのよい挨拶

挨拶という英語の花

心を込めて磨き上げる清掃

清掃という感謝の花

大きく響きのある歌声

歌声という感動の花

(生徒会スローガン) 百花 ~ 咲き誇れ 一人一人の可能性 ~

各種教育活動の指導及び推進の重点

◇学力向上策

- 重点
生徒が主体的・協働的に学ぶ授業を工夫することを通して、学習内容の確かな定着を図る。
- 到達目標
P調査・C調査・全国学力学習状況調査において、県平均以上を目指す。
学校自己評価アンケートの「授業がわかる・楽しい」項目を80%に近づける。
- 検証方法
各種テスト・調査結果の分析より検証する。
- 対策
授業改善の視点「おかほく」の日常化
特に「か」グループ学習の充実
「く」振り返り時間の確保を重視
教科教育相談を充実させる
向上心を育む家庭学習の工夫→家庭学習内容を小テストで確認
クリアチャレンジ問題の活用
一公開授業をビデオ・写真で撮り学年会で研修
職員研修
生徒の授業評価アンケートにより自分の授業を振り返る
「学習ガード」についての研修を行う

◇人権教育

- 自尊感情(自己肯定感)と他者理解力の育成
- 人権教育旬間の設定
- 保護者・地域への授業公開
- 生徒集会の設定
- いじめ根絶会議の重視

◇特別支援教育

- 個別支援教育計画の活用
- 校内就学指導相談の充実
- 発達障害研修と実践化
- 教科担任者会の定例化

◇適応指導(登校支援)

- 未然に防ぐための早めの対応
- チェックシートの活用
- 不登校支援シート作成と活用
- 外部機関との連携
- 機能的なチーム支援
- 岡谷市中間教室との連携

◇環境美化教育

- 勤労奉仕の心を磨く自主的清掃
- 「黙想」で始まる完全無言清掃
- 校地及び周辺緑化整備と樹木の保護育成
- 環境問題への危機意識を高揚と省エネルギー社会を支える意見の育成

◇生徒指導・教育相談

- 「報告・連絡・相談」の実践
- チームによる問題解決
- 開発的生徒指導の充実
- 全教職員が共通理解にたった迅速適切な指導
- 定期的な生徒理解の場の設定
- 他機関・他中学校との連携
- 保護者との連携
- 適宜放課後に職員連絡会を開き情報共有・指導の迅速化を図る

◇進路指導

- 人間関係形成・社会形成能力の育成
- 自己理解・自己管理能力の育成
- 課題対応能力の育成
- キャリアプランニング能力の育成

- 1学年…進路探索を始めよう(職場見学)
- 2学年…進路計画を立てよう(職業体験学習)
- 3学年…進路選択をしよう(高校体験入学・進路説明会・進路相談・ハローワーク訪問)

◇家庭・地域との連携

- 保護者・地域・学校評議員の学校評価を取り入れた学校運営
- 「学校だより」「学年だより」「学級だより」などによる情報の発信
- 参観日及び各種学校行事の地域公開と交流

(参観日)

- 第1回 4月23日(土)
- 第2回 5月25日(水)
- 第3回 6月17日(金)
- 第4回 10月20日(木)
- 第5回 2月23日(木)

(北斗祭) 9月16日(金)
～9月17日(土)
(音楽会) 10月26日(木)

◇コミュニティスクールの発足

「健康でさわやかな北中生を育てる地域の会」との連携
◇ふるさと岡谷北へ学ぶ学習(地域ふれあい講座)
7月14日(木)
11月4日(金)

- 地域の方々の様々な学校支援(地域ボランティア)
- 地域奉仕活動での地域との交流

◇笑顔で安心して学べる教育環境

- 安全教育
- 実効性ある安全指導と安全学習(安全教室・避難訓練)

平成28年度 岡谷南部中学校グランドデザイン

第4次岡谷市総合計画 後期重点プロジェクト

輝く子どもの育成

学校を取り巻く環境
 ・諏訪湖に隣接し、四季の自然景観に恵まれた環境にある。
 ・子どもの教育に関心の高い保護者が多い。
 ・地域は、学校とのつながり（挨拶、地区行事）を期待している。
 ・学校は、生徒の安全確保や健全育成のために、地域の教育力を必要としている。
 （岡谷版CSの構想を固め実践化へ）

学校教育目標 ひとりひとりが誠実を貫く

日常生活の合言葉

- 1 道を淨め： 最後までやり抜く心・工夫する心
 - 2 時を守り： 自分も友も全ての人を大事にする心
 - 3 礼を正す： 心に潤いと豊かさのある生徒
- ◇◇清掃・挨拶・歌声◇◇

本校生徒の様子
 ○指示されたことが誠実にできる。
 ○自己主張できる生徒もいる。
 ○明るく素直が多い。
 ◇◇学校長の願い◇◇
 ・「あっ！私 役立っている」と実感できる南部中生
 ・「いっちょやるか」と一歩踏み出す南部中生
 ・「私のふるさは岡谷」と胸を張って語れる南部中生

生徒が「よし、いっちょやるぞ！」と動き出す授業作り
 （アクティブラーニングへの挑戦）
 —確かな学力保障と成長保障—

- 「今、何を学んでいるか」「何をすべきか」が明確な授業
- 「今日 学んだ事はこれだ」と振り返りの場（5～10分間）がある授業
- ・授業のユニバーサルデザイン化
- 「宿題は、役立つぞ！」と生徒が感じ実践する家庭学習（+15分）
- ショートスパンで学びを確認し学習に自信を持つ南部中生
- ・C調査で県平均を下回る生徒数をP調査よりも減らす
- 授業の腕を磨く南中教職員集団
- ・「板書写真」を持ち寄ってのミニ研修会の実施
- ・「生徒による授業評価」の実施
- 学級通信や風板メッセージ等で熱い想いを発信し続ける教職員

生徒が動く授業

今年度めざす生徒像 誰かのために、何かが出来る人になる

多くの人と協働的に人生を歩み出そうとする心の基礎作り
 —自立と共生力のUP—

- 「困った生徒」はいない「どうしていいかわからずに困っている生徒」がいる。横に寄り添い、一歩ずつ指導支援をくり返す南中
- ソーシャルスキルトレーニング(SST)を活用し、人間関係対応力を育てる南中
- 「俺も役立っているな。まんざらじゃないな」の自己肯定感を育む南中
- 生徒会・地区生徒会の願いを支援する南中
- 生徒会「こころの会」を支援し、傍観者がいじめは許せないと動き出す南中
- 「生徒会の時間」でワクワクできる南中

楽しい学校



地域に出る南部中生 & 地域力を取り込む南中
 —ふるさと「岡谷」を学ぶ南中—

- 地域に積極的に出る南中 総合的な学習の時間
- 1 学年＝地域を知る活動
- 2 学年＝地域に学ぶ活動
- 3 学年＝地域に貢献する活動
- 「地域のことに積極的に参加したいと願い」行動する南部中生
- ・湖畔清掃と地区防災訓練 等
- 地域の力をお借りする南中
- ・保護者や地域の方の協力を得ながら実施する南中強歩大会
- ・「読み聞かせ」「親父の会」への協力お願い

地域と共に歩む

学校自己評価の重点

評価の観点

学習

- ・「よし、いっちょやるか」と意欲的に取り組める。
- ・学習内容の定着。
- ・家庭学習の充実。
- ・家で本が読める。

日常生活

- ・無言清掃
- ・整理整頓
- ・時間を守って行動できる。
- ・挨拶・歌声・清掃
- ・場にあった服装

楽しい学校

- ・弱い者いじめをせず皆の幸せを願い生活できる。
- ・役立つことを進んで実行できる。
- ・いじめ等の問題に対して毅然とした態度で臨める。

地域と共に歩む

- ・地域の人と一緒に活動できる。（防災訓練等）
- ・地域の人と積極的に関わられる。（地域の方に挨拶等）
- ・地域の文化や人と関わられる（ふるさと岡谷を学ぶ）

自己の生き方

- ・人の話を最後まで聴ける。
- ・自分のことを相手に分かるように伝えられる。
- ・様々な活動を通し自分のことをみつめ成長できる。

学校教育目標

未来を拓き、共に自立する生徒

未来を拓く生徒

生きとし生けるもの全てにとって、住みよい地球環境、社会の実現を未来に拓く生徒

共に育つ生徒

自分も相手も、互いに怨(思いやりの心)を实践し、「阿留辺幾夜宇和(あるべきようわ)」の探求を通し、共に育つ生徒

自立する生徒

正しい判断力のもと自らの自覚と責任において行動し、自立できる生徒

めざす生徒の姿

- ◇ 自分の将来像を思い描き、その実現のために今何をすべきか考えられる。
- ◇ 清掃・整頓・美化に心がけ、自分の家・学校・地域の環境を整えられる。
- ◇ 地域の行事・活動等に進んで参加し、自分の能力に応じて役に立とうとする。

- ◇ 家庭・学校・地域で、明るく挨拶ができる。
- ◇ 他の人の話・発表・忠告を顔をあげて黙って聞ける。
- ◇ 相手の思いや考えを正しく受け止め、自分からも正しく伝えようと努力できる。

- ◇ 学習や諸活動の成果が上がるよう、先達に倣ったり自分で工夫したりできる。
- ◇ 言葉や行動の前に、立ち止まって、時・場・相手にふさわしいか考えられる。
- ◇ 宿題や提出物、係・役割等、自分の責任や義務を最後まで全うしようとする。

教育活動の評価規準として教師・生徒・保護者・地域で共通理解

学力向上を目指す教科指導
指導力向上を目指す「新星の会」充実
生徒一人ひとりと学習面談の実施
・自分の考えを記述するようにテスト問題を工夫
・繰り返し練習する時間の授業への取り入れ
・コメントを記入したり授業の復習ができたりする宿題の工夫

小学校との連携による中1ギャップ軽減
欠席傾向等の記録と情報共有
SC・心の相談員・関係諸機関との連携強化
「学習室」の継承充実
不登校生徒の対応記録の蓄積
保護者・本人との連絡・相談の継続

児童相談所・警察・保健所等関係諸機関との連携強化
保護者との情報交換・相談の緊密化
事象への迅速な対応と報告・連絡・相談の確実な実施

生徒自身に自分の在り方を考えさせる機会の設定
各活動の意義や意味付けの再確認
活動の振り返りによる自己肯定感の育成

地域とつながったキャリア教育の展開
地域の題材・人材を活用した総合的な学習の実施
地域とともに進める防災訓練

生徒の活動の成果の地域への発信

人権尊重委員会に対する支援・助言、地域の参加推進

人間関係力を高める人権教育・道徳の充実

問題傾向・不応生徒の個別指導体制(個に応じた相談室・学習室・SC・中間教室等の活用)

「スポーツ文化活動運営委員会」を中心に地域力を活用した部活動の推進

重点10項目の励行による、学校生活の素地づくり

- ① 清掃 ② 挨拶 ③ 合唱 ④ 黙想 ⑤ 時間厳守 ⑥ 読書 ⑦ 下駄箱昇降口整頓
⑧ 服装・身なり ⑨ 無言入退場 ⑩ 資源回収・ゴミ拾い

【学校長の願い】 温かい人間関係でつながり、未来を見据える力を育む学校

学力の向上 不登校・不応生 問題行動への適切 生徒会活動・部活 保護者・地域に関
徒への自立支援 な対応 動の更なる充実 かれた学校

生徒のよさと課題

学力

○表現する喜び・教科固有の楽しさに気づく生徒の増加
※考える力・工夫する力の向上

不登校・不応生

○気持ちを素直に表現する生徒
※閉じた人間関係・孤立化の傾向

反社会的行動

○突出した非行、非社会的問題行動を起こす生徒の減少
※潜在化していくいじめ

生徒会・部活動

○主体的に考え、活動する生徒 意欲的な運動部活動
※「やらされる」意識に留まる側面

地域での姿

○地域で活躍する文化系部活動
※地域で起こす迷惑行為

⑪ 学校給食実施状況

(平成28年5月1日現在)

	給食人員		給食施設 (㎡)						計	給食設備										給食開始年月日	備考
	児童・生徒数	職員数	調理室	倉庫	戸棚	控室	パン・牛乳置場	通路その他		消毒保管庫	食器洗浄機	野菜裁断機	球根皮剥機	高速ミキサー	冷蔵庫	冷凍庫	牛乳保冷庫	給湯設備	ガス回転釜		
小川	378	36	414	150.0	16.0	19.0	12.0	15.0	127.0	339	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.4~	
神明	456	42	498	105.9	8.5	16.5	11.4	7.1	67.6	217	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.42.4~	
小井川	358	40	398	72.6	7.8	3.8	9.4	4.0	49.4	147	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.4~	
岡谷中	421	37	458	95.6	8.0	7.5	12.0	6.4	72.5	202	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.2~	
湊	124	22	146	60.8	8.1	6.5	4.9	1.7	11.0	93	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.4~	
長地	683	50	733	155.2	15.4	20.0	11.8	18.3	63.3	284	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.11~	
上の原	262	29	291	88.8	11.5	7.1	13.8	3.8	55.0	180	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.48.4~	
西部	258	34	292	139.4	9.4	10.2	16.1	5.4	149.5	330	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.33.7~	
北部	362	38	400	116.1	13.0	15.3	14.8	11.2	85.6	256	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.22.12~	
南部	202	29	231	119.4	11.7	7.5	18.6	3.4	79.4	240	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.36.4~	
東部	528	56	584	115.2	12.9	18.1	18.7	2.0	55.1	222	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.11~	
計	4,032	413	4,445	1219.0	122.3	131.5	143.5	78.3	815.4	2,510											

◎給食費 () は一食分の単価

※給食日数が各校違うため、平均値を掲載

	H17	H18	H19	H20	H21	H22
小学校 (完全給食)	月額4,377.5円 (255)	月額4,398.8円 (255)	月額4,398.8円 (255)	月額4,390.8円 (255)	月額4,356.3円 (255)	月額4,754.1円 (280)
中学校 (完全給食)	月額4,881.7円 (290)	月額4,978.3円 (290)	月額4,966.2円 (290)	月額4,930.0円 (290)	月額4,899.8円 (290)	月額5,366.8円 (320)
	H23	H24	H25	H26	H27	H28
小学校 (完全給食)	月額4,757.1円 (280)	月額4,760.0円 (280)	月額4,774.6円 (280)	月額4,768.8円 (280)	月額4,869.6円 (290)	月額4,888.6円 (290)
中学校 (完全給食)	月額5,420.0円 (320)	月額5,453.3円 (320)	月額5,493.3円 (320)	月額5,473.3円 (320)	月額5,561.9円 (330)	月額5,500.0円 (330)

◎米飯給食

S5.2.4.1.1~週1回開始	S5.5.1.0.1~週2回開始	H3.4.1~週2.5回開始	H1.4.4.1~週2.75回開始
H2.4.4.1~週3回開始			

⑫ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

平成28年4月1日現在

	総合管理医・保健管理医 (内科医)	内 科・外 科	耳鼻咽喉科	眼 科	歯 科		薬剤師
川岸小	薩摩林恭子	木下真理子	梅垣 油里	春山 洋	大滝 祐吉	百瀬 恵治	高市 成子
神明小	今井 清泰	今村 均	梅垣 油里	春山 洋	笠原 恒久	三井 義久	林 力廣
小井川小	小野 博正	朱 尚孝	小口 直彦	林 秀行	名和 孝行	笠原 初雄	小口 裕史
岡谷田中小	向山 茂雄	今井 智彦	梅垣 油里	林 秀行	前川 雅美	林 三雄	高橋 克典
湊小	花岡 宏		小口 直彦	林 秀行	藤岡 泰正		岡村 淳也
長地小	林 晋一郎	山田 雄三	梅垣 油里	林 秀行	太田 宅哉	牛山 尚也	御子柴美智子
上の原小	牛山 千冬	米山 大	小口 直彦	林 秀行	早出 啓子	林 潤太郎	池波 寛
西部中	酒井 宏	米山 大	小口 直彦	春山 洋	藤森 恒美	浦野 順	横内 功晴
北部中	稲村いづみ	片倉 智	小口 直彦	林 秀行	小口 久雄	小口 順司	花岡 孝次
南部中	笠原 忠夫	平林 直人	梅垣 油里	林 秀行	宮坂 伸	山田 元彦	丸田 哲
東部中	山崎 正彦	濱 弘毅	小口 直彦	林 秀行	太田 宅哉	林 隆広	井上 君子

○ 岡谷市医師会

岡谷市中央町2-5-22

22-3870

○ 岡谷下諏訪歯科医師会

岡谷市幸町4-10

23-8320

(3) 学校施設

① 学校建物保有面積

(平成28年5月1日現在)

区分 学校名		建物保有面積								
		一般校舎					屋内運動場			
		W	S・W	R	計	一人当り面積	第1	第2	計	一人当り面積
小学校		m ²								
	川岸	15	177	7,906	8,098	21.4	905	328	1,233	3.3
	神明	138	896	4,611	5,645	12.4	774	324	1,098	2.4
	岡谷		127	6,240	6,367	-	744	461	1,205	-
	小井川	162	137	5,730	6,029	16.8	298	846	1,144	3.2
	岡谷田中		129	5,856	5,985	14.2	363	1,180	1,543	3.7
	湊	70	26	3,160	3,256	26.3	877		877	7.1
	長地	318	933	6,641	7,892	11.6	1,076	294	1,370	2.0
	上の原		10	6,075	6,085	23.2	729		729	2.8
計	703	2,435	46,219	49,357	18.4	5,766	3,433	9,199	3.4	
中学校	西部	70		7,256	7,326	28.4	1,881	819	2,700	10.5
	北部	53	218	7,238	7,509	20.7	2,227		2,227	6.2
	南部		851	4,342	5,193	25.7	2,089		2,089	10.3
	東部	660	167	5,864	6,691	12.7	897	522	1,419	2.7
	計	783	1,236	24,700	26,719	19.8	7,094	1,341	8,435	6.2

(給食室、プール専用附属室、武道場は除く)

② 学校敷地保有面積

(平成28年5月1日現在)

		校地総面積	校地内訳			左のうち借用地	校地の一人当り面積
			校舎敷地	屋外運動場	その他実験実習地		
		m ²					
小学校	川岸	19,035	12,285	6,750			50.4
	神明	22,161	11,080	10,481	600		48.6
	岡谷	45,382	10,080	6,330	28,972	22,331	-
	小井川	15,589	7,318	7,360	911	245	43.5
	岡谷田中	18,905	9,019	9,200	686	498	44.9
	湊	19,490	10,901	8,589			157.2
	長地	25,026	13,111	11,325	590		36.6
	上の原	24,925	15,735	9,190			95.1
	計	190,513	89,529	69,225	31,759	23,074	71.0
中学校	西部	20,636	11,525	9,111			80.0
	北部	27,866	17,422	10,248	196		77.0
	南部	20,999	9,185	11,814			104.0
	東部	29,414	15,308	13,521	585		55.7
	計	98,915	53,440	44,694	781		73.3

③ 学校建物棟別保有面積(主要棟)

学校名	校舎名	建築年	構造階	保有面積㎡	備考	
小学校	川岸小学校	管理教室棟	S54	R3	2,000	H21耐震改修
		特別教室棟	S56	R2	1,903	
		教室棟中	S55	R3	2,252	H18耐震改修
		教室棟西	S55	R2	1,704	H20耐震改修
		第一体育館	S56	S1	905	H18耐震改修
		第二体育館	S44	S1	328	H18耐震改修
	神明小学校	1棟教室棟	S42	S1	821	H12大規模改修
		2棟教室棟	S42	R2	2,073	H13大規模改修
		3棟教室棟東	S41	R3	1,962	H24耐震・大規模改修
		3棟教室棟西	S51	R3	534	H24大規模改修
		第一体育館	S43	S1	744	H18耐震改修
		第二体育館	S42	W1	324	
		給食室	S42	S1	217	S53増築H12大規模改修
	岡谷小学校	北校舎	S34	R3	1,922	
		中校舎	S51	R3	2,723	
		南校舎	S43	R2	1,595	
		北体育館	S51	S1	461	
		南体育館	S41	S1	744	H18耐震改修
		給食室	S52	S1	191	
	小井川小学校	教室棟	S45	R4	3,903	H16耐震改修
		管理教室棟	S46	R2	1,827	H16耐震改修
		西体育館	S37	S1	846	H17耐震改修
		東体育館	S7	W1	298	
		特別教室棟	S54	R3	1,920	H24耐震改修
	岡谷田中小学校	普通教室棟南	S60	R3	1,727	H24大規模改修H27増改築
		普通教室棟北	S59	R3	2,148	H24大規模改修
		大体育館	S62	R2	1,180	
		小体育館	S60	R1	363	
		給食室	S50	S1	202	H24大規模改修
		学童クラブ棟	H27	W1	91	
		普通教室棟	S48	R2	1,822	
	湊小学校	特別教室棟	S48	R2	937	
		昇降口棟	S48	R1	253	H21耐震改修
		体育館	S48	S1	877	
		管理教室棟	S58	R2	1,937	H23大規模改修
	長地小学校	教室棟南	S57	R2	1,590	H23大規模改修
		教室棟中東	S55	R3	1,825	H23大規模改修
		教室棟中西	S46	R3	1,240	H23耐震改修
		特別教室棟	S42	S2	513	H17耐震改修
		小体育館	S57	S1	294	
		大体育館	S58	R2	1,076	
		給食室	S55	R1	284	
普通教室棟南		S48	R2	966		
上の原小学校	普通教室棟中	S48	R1	473	H18災害復旧改修	
	普通教室棟北	S51	R3	1,571	H18災害復旧改修	
	特別教室棟南	S48	R1	257		
	特別教室棟中	S48	R1	261		
	特別教室棟北	S49	R2	599		
	昇降口棟	S48	R1	493		
	大体育館	S48	S1	729	H18災害復旧改修	
	給食室昇降口棟	S48	R1	659		
	管理教室棟	S33	R3	2,585		
	昇降口棟	H3	R3	1,984		
中学校	西部中学校	特別教室棟	S62	R3	2,687	
		第一体育館	S63	R3	1,881	
		第二体育館	S32	S1	819	
		1棟普通教室棟	H17	R2	1,649	
		2棟特別教室棟	S60	R1	495	
	北部中学校	2棟普通教室棟	S57	R3	1,806	
		3棟特別教室棟	S60	R3	1,171	
		管理教室棟	S59	R3	1,923	
		体育館	S61	R2	2,390	武道場を含む
		給食室	S57	R1	256	
	南部中学校	管理教室棟	H1	R4	4,002	
		特別給食室棟	S63	R2	580	
		北校舎	H19	S2	798	H19耐震改築
		体育館	H5	R2	2,362	武道場を含む
東部中学校	1棟普通教室棟東	S39	R3	2,015		
	1棟普通教室棟西	S50	R3	917		
	2棟普通特別教室棟	S58	R3	2,932		
	特別教室棟	H22	W1	427	H22耐震改築	
	昇降口棟	S50	S1	80		
	第一体育館	S40	S1	897	H16耐震改修	
	第二体育館	S47	S1	522	H18耐震改修	
	給食室	S58	R1	222		
中間教室	H22	S1	37	H22新設		

④ 学校水泳プール

学 校 名	建 設 年 月 (改修年月)	水 槽	浄 化 槽 (改修年月)	附 属 設 備
小 学 校	川 岸	44.7 (H16.7) 25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H17.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H25.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	神 明	42.6 (H16.7) 25m×10m×1.0 m 6 コース 1.2 (H16.7) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H16.7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	小井川	44.7 (S63.6) 25m×10m×1.0 m 5 コース (H18.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H23.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	岡 谷 田 中	43.6 (S63.6) 25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H19.6) 10m×7.5m×0.7m	砂ろ過式 (H5.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽
	湊	43.6 (H元.6) 25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H18.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H6.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	長 地	42.7 (S61.6) 25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H16.7) 15m×5m×0.7m (H16.7)	砂ろ過式 (H4.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽
	上の原	48.7 (H元.6) 25m×10m×1.0 m 5 コース 1.2 (H19.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H19.3)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽

学 校 名		建 設 年 月 (改修年月)	水 槽	浄 化 槽 (改修年月)	附 属 設 備
中 学 校	西 部	設置工事中			
	北 部	38.7 (H4.5)	25m × 13.6m × 1.2 m 1.2 7 コース	砂ろ過式 (H14.5)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽
	南 部	38.7 (H13.7)	25m × 13.6m × 1.2 m 1.2 6 コース	砂ろ過式 (H25.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台
	東 部	42.6 (H9.12)	25m × 13.6m × 1.0 m 1.2 7 コース	砂ろ過式 (H9.7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗顔台、消毒槽

⑤ 小中学校施設等主要整備状況 (平成20年度～平成27年度)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27
小学校	川岸	管理教室棟等耐震 改修工事	給食堂排気フード 改修工事	第一体育館改修	給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置、小 型風力発電設置、 ガス配管改修	F F 暖房設備設置 工事 高架水槽改修工事	プールろ過機改修 工事	体育館非構造部材 脱落防止工事
神明				給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置、小 型風力発電設置	北校舎耐震・大規 模改修			体育館非構造部材 脱落防止工事、埋 設ガス管改修工事
小井川	アスベスト飛散防 止工事			給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置、プ ールろ過機改修	給食堂換気設備改 修工事			体育館非構造部材 脱落防止工事、埋 設ガス管改修工事
岡田			アスベスト除去工 事	給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置、小 型風力発電設置	耐震・大規模改修 (実施設計)	耐震・大規模改修 工事、複合遊具改 修工事	小体育館非構造部 材脱落防止工事	
湊		昇降口棟耐震改修工 事		給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置 小型風力発電設置	F F 暖房設備設置 工事 高圧受電設備改修工事		職員玄関改修工事	体育館非構造部材 脱落防止工事
長地	中学校舎暖房設備 改修、水道管赤水 対策工事	体育館他屋根塗装 等工事		中・南校舎耐震大規 模改修、給水設備改 修、中空アブ補強、 給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置、小 型風力発電設置		階段手摺修繕工 事、受水槽取替え 工事		体育館非構造部材 脱落防止工事、給 食堂低圧ボイラー 圧入替工事、埋 設ガス管改修工事
上の原	アスベスト飛散防 止工事	給食堂床排水ピツ ト改修工事	屋内消火栓ポンプ 取替	給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置、小 型風力発電設置	高圧受電設備改修工事		体育館非構造部材 脱落防止工事	埋設ガス管改修工 事
西部	プールろ過機改修	高圧受電設備改修 工事		給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置、誘 導灯取替				体育館非構造部材 脱落防止工事
北部		グラウンド防球ネッ ト増設工事		給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置	屋根防水改修工事 高圧受電設備改修工事		小体育館非構造部材 脱落防止工事、 給食堂ボイラー取替 工事	体育館非構造部材 脱落防止工事、埋 設ガス管改修工事
南部		グラウンド防球ネッ ト増設工事	高圧受変電設備改 修	給食堂・保健室エアコン 設置、誘導灯取替、 特別支援学級・家庭 科室整備		プールろ過機改修 工事		体育館非構造部材 脱落防止工事
東部	水道管赤水対策 工事		特別教室棟耐震改 築、太陽光発電シ ステム設置、中間 教室設置、二棟防 水改修、調理室換 気設備設置	給食堂・コヒューグ室・ 保健室エアコン設置	給食堂給湯管改修 工事 高圧受電設備改修工事	ガス管改修工事		体育館非構造部材 脱落防止工事
中学校								

⑥ 小中学校コンピュータ整備状況

(平成28年4月1日)

学校名	設置場所	台数	用途	機種	メーカー	整備年度	整備方法
川 岸	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	26	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
神 明	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	25	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
小井川	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	25	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
岡谷田中	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	20	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
湊	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	30	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	14	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
長 地	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	38	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
上の原	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H26	リース
	コンピュータ室	34	児童機	ブック			
	図書室	3	検索	ブック			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	22	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			

学校名	設置場所	台数	用途	機種	メーカー	整備年度	整備方法
西 部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H25	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理用	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	28	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	1	事務	デスクトップ			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
北 部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H25	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理用	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	35	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務	デスクトップ・ノート			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
南 部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H25	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理用	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	26	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	1	事務	デスクトップ			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
東 部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	EPSON	H25	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理用	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	44	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務	デスクトップ・ノート			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			

(4) 専門委員会等

① 岡谷市就学支援委員会

1 内容

岡谷市教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 就学教育相談及び支援に関すること。
- (2) 就学先及び就学義務猶予等の判断に関すること。
- (3) 就学後の教育支援に関すること。

また、前項に規定するもののほか、児童生徒等の就学及び教育支援に関する事項について、教育委員会に対し、意見を述べることができる。

② 岡谷市子ども教育支援チーム

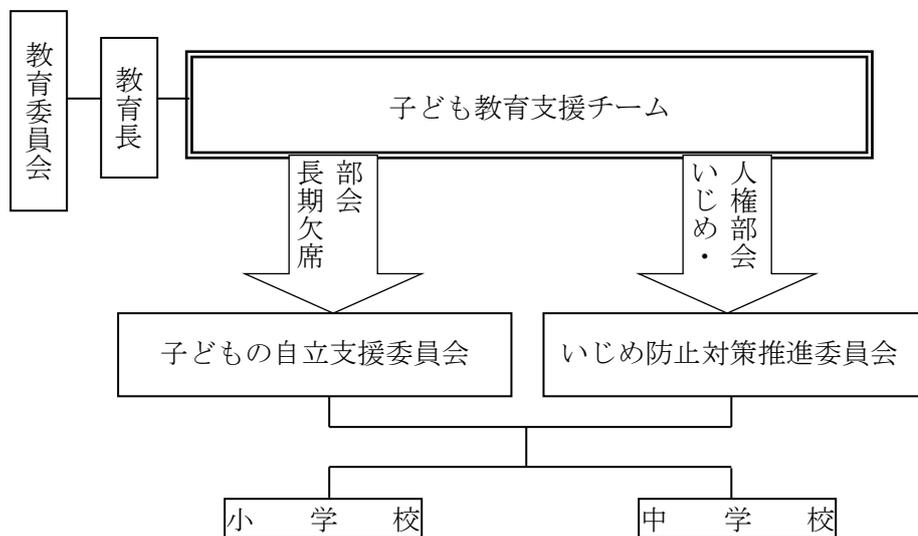
1 目的

「いじめ防止対策推進法」で国の示す組織として位置づけ、地域からも積極的に参画をいただき、長期欠席及びいじめ人権問題を含む児童生徒の教育課題に、社会全体で取り組む。

2 内容

- (1) 長期欠席児童生徒の支援に関すること
- (2) いじめ問題への対応に関すること
- (3) 学校諸問題への対応に関すること
- (4) その他児童生徒の教育課題に対する調査研究及び支援に関すること

3 組織図



「子どもたちによるいじめ根絶運動」
4中学校でいじめ根絶に向け、生徒会を中心に生徒自らの手で取り組んでいる活動。小学校に拡大し、H25からは小中合同で「いじめ根絶子ども会議」を開催。
※H28 中心校 岡谷東部中学校

③ 岡谷市小中学校子どもの自立支援委員会

1 内容

- (1) 各校における委員会計画や活動状況の把握
- (2) 学校現場の視点からの教育課題の検証、研修
- (3) 子ども教育支援チームとの連携、実践
- (4) その他、長期欠席児童生徒に係る課題、人間関係力や自己肯定感の高揚等、子どもの自立支援に関すること（Q-U、ソーシャルスキルトレーニング、ピアサポートプログラムなど）

④ 岡谷市いじめ防止対策推進委員会

1 委員会の趣旨

小中連携の『いじめ根絶子ども会議』を中核とし、市内の全ての学校で児童生徒活動を継続的に行い、「いじめ根絶」に向けての意識を高める。

また、岡谷市子ども教育支援チームのいじめ・人権部会との連携のもと、本市における基本方針を受け、学校現場の視点から検証し、各校における実践に繋げる。

⑤ 岡谷市小中学校生徒指導推進委員会

1 目的

岡谷市の小学校、中学校、高等学校、家庭、地域社会が密接な連携を取りながら、相互に協力し合い、生徒指導等についての対策の充実と徹底を図り、児童生徒の健全育成に資する。

2 活動内容

- (1) 各学校の生徒指導の実態や課題に即した対応と推進、連絡調整、情報交換
- (2) 長期休業中（夏休み・冬休み・春休み）における生徒指導の申し合わせ事項の検討及びきまりの作成と実践
- (3) 「豊かな心を育てるために」の実践的な活用についての啓発
- (4) 校外指導活動（地域活動）の推進
- (5) 生徒指導研修に関する活動（年1回）
- (6) 児童生徒の健全育成に関する支援と協力
- (7) 生徒指導関係機関や関係諸団体（警察、民生児童委員、保護司等）、PTA、校長会、高等学校との連携

3 委員会開催予定数（年10回）

⑥ 岡谷市小中学校情報教育委員会

1 内容

- ・児童生徒及び教職員の、情報処理・加工能力を高め情報発信する能力を養うため、情報教育機器の有効な活用のあり方を研究する
- ・情報モラルの育成と小中を見通した市内情報教育年間指導計画を作成する
- ・各校の情報機器利用における問題点を究明し、改善策を提言する

⑦ 岡谷市保健体育推進委員会

1 内容

- ・岡谷市の学校体育・スポーツ振興の推進
- ・岡谷市小学校のスケート教室等の計画・調整・活用

⑧ 岡谷市学校図書館教育推進委員会

1 内容

読書センターとして、また、学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりに積極的に取り組むことにより、学校及び家庭における児童生徒の読書活動の充実を図り「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成に資する。

- ・児童生徒の読書活動の幅を広げ、読書体験を深めるための活動
- ・読書・学習・情報センターとしての学校図書館づくり
- ・学校図書館でのコンピューター活用にかかわる課題等の検討
- ・読書指導及び学校図書館運営に関する研修・情報交換
- ・岡谷市子ども読書活動推進会議など読書活動に係わる各種団体との連携

⑨ 岡谷市学力向上推進委員会

1 内容

- ・知識や技能の活用という分野を中心に、学力向上に向けた各学校の取組状況を把握し、教育課題や学習指導の課題を明確化し改善する
- ・分析結果等を基に本年度の学力向上・授業改善の具体的な取組計画を作成する
- ・調査結果に基づいた各校の分析結果から、市全体の分析及び改善の視点を探る

⑩ 岡谷市外国語活動推進委員会

1 内容

- ・平成23年度より完全実施された小学校外国語活動の授業が各学校で円滑に推進できるよう、支援活動を行う。

⑪ 岡谷市道徳教育推進委員会

1 内容

- ・各学校において、道徳教育の方針を持ち、道徳教育推進教師を中心に、学校として組織的に道徳教育が推進できるよう、道徳教育改善に向けた取り組みを行う。
- ・道徳の教科化を視野に入れながら、今後の道徳教育の内容等を研究する。

⑫ 岡谷市学校保健会

1 目的

学校保健の普及進展を図り以って児童生徒及び幼児の成長と発達に寄与することを目的とする。

2 内容

- ・学校保健に関する調査研究
- ・学校保健思想の普及並びに啓発
- ・学校保健資材の斡施
- ・その他学校保健の目的を達成するために必要な事業

(5) 学校評議員

1 内容

評議員は、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協し一体となって子どもの健やかな成長を図る観点から、校長の求めに応じて学校運営に関し意見を述べ、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進に資する。

- ・保護者や地域住民等の意向を把握・反映すること
- ・保護者や地域住民等の協力を得ること
- ・学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていくこと

(6) 岡谷市通学路安全対策会議

1 会議について

市内小中学校の通学路の安全確保に向け、安全対策に係る一連の取り組みを定めた「岡谷市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携し、継続的な推進を図ることを目的としている。

2 会議の任務

会議は、岡谷市通学路交通安全プログラムの実現に向け、市内小中学校の通学路の安全対策の総合的な検討、協議及び調整を行う。

<具体的な内容>

- ・危険箇所の抽出、合同点検の実施
- ・安全対策の検討
- ・安全対策の実施
- ・PDCAによる改善、充実

3 会議の組織

会議は、教育総務課長を会長に委員25名以内で組織し、教育委員会が任命又は委嘱する。

<メンバー>

【会長】教育総務課長

【副会長】委員から互選（校長会長）

【委員】岡谷市小中学校長会会長

岡谷市小中学校教頭会長

岡谷市小中学校生徒指導推進委員会会長

保護者代表（PTA会長）

地域住民代表（関係区長）

道路管理者（国道事務所、県建設事務所、市土木課）

岡谷警察署

その他市及び市教育委員会の職員

【事務局】教育総務課

(7) 岡谷市活力ある学校づくり推進会議

1 会議について

文部科学省委託事業「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」の実施に伴い、岡谷市立岡谷田中小学校及び岡谷市立神明小学校それぞれの統合を契機とした魅力と活力ある学校づくりの推進を図る。

2 会議の任務

会議では、統合校2校の活力ある学校づくりの推進に向けた事業の研究や協議、評価及び報告等を行う。

<研究内容>

- ・統合を契機に各校が持つ優れた特色を核に、さらに学校の力を高めながら新たな学校づくり。
- ・地域固有の資源を活用し、岡谷ならではの「ひと・もの・こと」教育の構築を図るほか、学校運営における地域コミュニティとの連携、伝統校の教育力の継承と再構築に向けた取り組み。
- ・これらの取り組みにより、魅力と活力ある学校づくりを推進する。

【活力ある学校づくりを推進するための具体的な取り組み内容】

- ・学校統合後の新グランドデザインによる円滑な学校運営について
- ・統合後の児童ケアのための児童交流、保護者交流事業等の計画、実行について
- ・ものづくり岡谷を次代につなぐ「ものづくり教育」の推進について
- ・シルク、製糸、製造業との連携による「岡谷スタンダードカリキュラム」の実践について
- ・オール岡谷で取り組む「岡谷版コミュニティスクール」の導入、実践について など

3 会議の組織

会議は、教育部長を会長に委員15名以内で組織し、教育委員会が任命又は委嘱する。

<メンバー>

- 【会 長】教育部長
- 【副 会 長】委員から互選（校長会長）
- 【委 員】岡谷市小中学校長会会長及び副会長
統合2校の学校長及び教頭
統合2校の保護者代表（PTA会長）
統合2校の地域住民代表（関係区長）
統合企画教員
その他教育委員会の職員(教育担当参事)
- 【事 務 局】教育総務課

岡谷市子ども総合相談センター

※全9名体制

センター長 兼 教育支援主事 丸山 和夫 (嘱託)

主幹 (正規) 森下 知佳

本庁内 教育総務課勤務5名
+ 専門カウンセラー

統括教育支援主事 兼 子ども教育支援相談員 花岡 ひさ江 (嘱託)

子ども課
家庭相談員
兼 子ども教育支援相談員 (嘱託)
小池 みちよ

子ども課
育成支援コーディネーター
兼 子ども教育支援相談員 (嘱託)
福田 敬子

教育支援主事 兼 (嘱託)
子ども教育支援相談員 林 秀昭

(正規) 主査
小垣外 寿幸

分室・フロンティア教室 (ハツ)

子ども教育支援相談員 兼
中間教室適応指導員 (嘱託)
森川 一成

教育支援主事 兼
子ども教育支援相談員 (嘱託)
伊東 基安

家庭 (一般)

保育園・幼稚園

小学校 (児童・保護者・職員)

中学校 (生徒・保護者・職員)

西部中学校中間教室適応指導員 (臨時) 原 なる江

北部中学校中間教室適応指導員 (臨時) 伊藤 雄次

南部中学校中間教室適応指導員 (臨時) 渡邊 さやか

東部中学校中間教室適応指導員 (臨時) 宇治 宏明

心の教室相談員

- ・ 児童生徒、親の悩み相談、話し相手
- ・ 不登校生及び家庭への対応

四名 (報償費) 各中学校配置

西部中: 中島るみ子 北部中: 宮坂 和枝
南部中: 名取 美和 東部中: 田畑 文香

専門カウンセラー (報償費)

- ・ 発達障害等の個別支援 山崎、高城、島山
- ・ 専門的な発達検査、心理的ケア
- ※合理的配慮協力員 山崎

スクールソーシャルワーカー

- ・ 学校への対応助言 (報償費) 弓田 香織
- ・ 長期欠席生への継続的な家庭訪問
- ・ 中学校卒業後のフォロー支援

スクールカウンセラー

- ・ 児童・生徒や保護者へのカウンセリング (報償費) <県費>

山崎 寿子 拠点校: 岡谷北部中
対象校: 神明小、上の原小、小井川小
高城 早苗 拠点校: 岡谷東部中 対象校: 長地小
島山奈緒美 拠点校: 岡谷西部中
対象校: 岡谷南部中、川岸小、岡谷田中小

※湊小 は専門カウンセラーがカバー

子どもの自立支援委員会
いじめ防止対策推進委員会
生徒指導推進委員会

子ども教育支援チーム

2部会設置 (長期欠席・いじめ人権)

おかや子育て憲章

① 子ども総合相談センター

子どもが自ら成長しようとする“子どもの育ち”全般に関する相談を総合的に受け付け、各機関と連携し個々の状況に応じた助言や指導を行う。

センター業務の一環として、分室（教育相談室）、フレンドリー教室や各中学校に設置されている中間教室があるほか、カウンセリング体制の充実を図り、連携支援に努める。

(1) 場 所 岡谷市役所 2階 教育総務課内

(2) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 8:30～17:00

(3) 業務内容

- ・教育支援主事及び子ども教育支援相談員の統括に関すること
- ・就学支援に関する総合調整に関すること
- ・学校、家庭及び関係機関との連携に関すること
- ・学校諸問題に関する総合的な教育支援及び相談支援に関すること
- ・岡谷市子ども教育支援チームに関すること

(4) 年度別の相談件数

	25年度	26年度	27年度
相談実数	439	478	466
相談延べ件数	1,527	1,521	1,511

(5) 平成27年度の相談状況（延べ件数）

相談対象者	乳幼児 園児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
27年度	160	635	649	61	6	1,511
26年度(参考)	183	600	669	48	21	1,521

内容別	就学相談	身体障害	発達障害等	虐待	育児・教育
27年度	347	22	178	21	38
26年度(参考)	338	13	266	24	65
	長期欠席	問題行動	家庭環境	その他	合計
27年度	633	68	176	28	1,511
26年度(参考)	494	70	192	59	1,521

② 分室（教育相談室）

幼児及び児童・生徒の不適応行動は近年ますます複雑化、多様化してきている。教職員や保護者、子どもが抱えている悩みや心配ごとに対して幅広く積極的に相談を受け、ともに考え助言・指導を行う。

子ども総合相談センターの分室として、本庁と連携した相談支援体制を心がける。

(1) 場 所 岡谷市長地権現町 4-11-50 おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)内

(2) 業務内容

- ・通常相談業務 土・日・祝祭日を除いた 8:30～16:30

- ・ 保育園・幼稚園・学校への訪問、連携支援
- ・ いじめ、不登校、生徒指導等の問題に関する調査研究、資料収集
- ・ 専門カウンセラー教育相談（臨床心理士 山崎 寿子）
毎月 2 回 一人あたり 50 分（予約制）

③ フレンドリー教室・中学校中間教室

学校と家庭を結ぶ中間的な教室で、専任の適応指導員により、心理的または情緒的理由から登校できない状態にある児童生徒の自立心を養い、学校・学級復帰の援助をする。

- (1) 対象者 岡谷市の中学校に在籍し、適応指導を必要とする不登校生（小学生も相談に応じる）
- (2) 場 所 フレンドリー教室
…岡谷市長地権現町 4-11-50 おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)内
中学校中間教室…市内 4 中学校
- (3) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 9:00～15:00（各学校と相談）
- (4) 年間開設日数 中学校の登校日に準ずる
- (5) 通室生の状況（フレンドリー教室、中学校中間教室の総計）

平成 27 年度 通室生徒数

学年 男女		小学生	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	合 計
		男	岡谷市		3	
	下諏訪町等					
女	岡谷市	1		7	4	
	下諏訪町等					

※平成 27 年度の復帰生徒数 0 名だったが、中学 3 年生にあつては中間教室を利用しながら、高校進学等を果たすことができた。

④ 心の教室相談員

生徒が悩み等を気軽に話し、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る相談員を中学校全校に配置し、生徒の悩み相談や自主的生活の支援を行う。スクールソーシャルワーカーと連携した家庭訪問事業についても、積極的に展開する。

⑤ スクールカウンセラー（専門カウンセラー）

臨床心理に関して、高度で専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーを学校に派遣し、児童・生徒や保護者へのカウンセリングや教職員への相談と助言を行い、いじめや不登校等の問題の解決と予防にあたる。

なお、県費スクールカウンセラー事業の仕組みを生かし、特別支援教育の観点から、市内小・中学校で活動している臨床心理士等、全 3 名に対し、市の専門カウンセラーの兼務を委嘱。域内ネットワークの一層の強化を図り、より多くの視点や関わりを得て合理的配慮の提供につなげ、インクルーシブ教育システム構築に資する。

⑥ スクールソーシャルワーカー

長期欠席児童生徒対策の一環として、家庭環境や対人関係等で複層的な悩みを抱えるケースに対し、粘り強くきめ細かな支援を継続するために、ソーシャルワークの手法を取り入れ、家庭訪問によるアプローチや学校への対応助言を行う。また、スーパーバイザー的な役割に立ち、支援者の連携によるチーム支援を推進する。

(9) 高等学校・専修学校・専門学校等

① 高等学校

1 所在地

学校名	所在地 (電話番号)	創立年月日	学校長氏名
岡谷南高等学校	岡谷市湖畔三丁目3番30号 (23-2355)	昭 15.10.30	宮坂 栄治
岡谷東高等学校	岡谷市南宮二丁目1番17号 (23-3161)	大 2. 4. 1	北野 亨
岡谷工業高等学校	岡谷市神明町二丁目10番3号 (22-2847)	明 45. 4.11	羽毛田 哲朗

2 高等学校生徒数及び学級数 (平成28年5月1日現在)

		岡谷南 高等学校	岡谷東 高等学校	岡谷工業 高等学校	計
1年	学級数	5	4	5	14
	男	111	57	186	354
	女	95	103	13	211
	計	206	160	199	565
2年	学級数	5	4	5	14
	男	98	58	153	309
	女	103	97	9	209
	計	201	155	162	518
3年	学級数	6	4	5	15
	男	132	49	184	365
	女	105	108	5	218
	計	237	157	189	583
合計	学級数	16	12	15	43
	男	341	164	523	1,028
	女	303	308	27	638
	計	644	472	550	1,666

② 専修学校・専門学校

学校名	所在地	校長名	科目	生徒数	教職員数
上條経理専修学校	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上條 重信	商業実務 一般	0	3
岡谷音楽専門学校	岡谷市東銀座一丁目11番2号	林 かずえ	器 楽	4	3
岡谷市看護専門学校	岡谷市2413-1	百瀬 芳隆	看 護	57	8

③ 各種学校

学校名	所在地	校長名	科目	生徒数	教職員数
岡谷市医師会附属 准看護学院	岡谷市中央町二丁目5番22号	山田 雄三	准看護師 養成	45	5
上條珠算簿記学園	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上條 重信	経理事務	90	4

(10) 教員住宅

① 公立学校共済組合分(間下教員住宅)

(平成28年4月1日現在)

住宅番号	建設年度	戸数	所在地	構造	1戸当面積 (㎡)
211～237	平成8	1棟21戸	山下町二丁目	鉄筋コンクリート三階建	49.99
111～136	平成9	1棟17戸	山下町二丁目	鉄筋コンクリート三階建	単身用 49.99 世帯用 69.12

② 市営分

住宅番号	建設年度	戸数	所在地	構造	1戸当面積 (㎡)
37～38	昭和47	2戸	小井川小南側	ブロック造平家建	55.75
39	昭和47	1戸	上の原小東側	ブロック造平家建	55.75
40～41	昭和48	2戸	中山団地	ブロック造平家建	52.14
42～45	昭和49	4戸	中山団地	ブロック造平家建	49.67
52～53	昭和51	1棟2戸	川岸能登舟南	ブロック造平家建	49.67
54～55	昭和51	1棟2戸	川岸新倉	ブロック造平家建	49.67
58～59	昭和52	1棟2戸	湊垣外	ブロック造平家建	49.67
60～61	昭和53	1棟2戸	長地富士見ヶ丘	木造二階建	55.48
62	昭和54	1戸	今井二本松	木造平家建	52.17
68～69	昭和55	1棟2戸	旧湊小跡地	木造二階建	55.48
70	昭和55	1戸	旧湊小跡地	木造平家建	52.17
71	昭和55	1戸	上の原小東側	木造平家建	54.65
72～73	昭和56	1棟2戸	学ヶ丘	木造二階建	55.48
75	昭和56	1戸	上の原小東側	木造二階建	58.78
76～77	昭和57	1棟2戸	湊垣外東側	木造二階建	56.51
79	昭和57	1戸	南部中南側	木造平家建	52.32
80～83	昭和58	2棟4戸	湊小坂	木造二階建	55.48
84～85	昭和59	2戸	湊小坂	木造二階建	59.61
86	昭和59	1戸	川岸保育園南	木造二階建	59.61
87～88	昭和59	1棟2戸	川岸保育園南	木造二階建	55.48
124	昭和40	1戸	小井川小西	木造平家建	78.98

③ 総計戸数

公立学校共済組合分38戸、市営分38戸、総計76戸

(11) 奨学金制度

① 岡谷市育英基金

◎基金の総額 379,522,555円(平成28年3月31日)

◎貸付対象及び要件

- ア. 岡谷市に生活の本拠を有し、引き続き1年以上居住している者又はしていた者であること。
- イ. 成績が優秀で身体が健康であること。
- ウ. 経済的理由により就学が困難と認められること。
- エ. 独立行政法人日本学生支援機構その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと。

◎貸付方法及び金額(平成23年度以降)

ア. 貸付方法 奨学金年4回(4月・7月・10月・1月)に分けて貸付 入学準備金は初回のみ貸付

イ. 貸付金額(奨学金)

高等学校生・高等専門学校生	月額30,000円以内
大学・短期大学生	月額52,000円以内
専修学校生(高等課程)	月額30,000円以内
専修学校生(専門課程)	月額49,000円以内
大学(医学部)	月額200,000円以内
(入学準備金)	
大学	200,000円以内
大学(医学部)	1,200,000円以内

ウ. 償還免除(大学等)

- ・学校を卒業後、岡谷市に居住し償還期間中引き続き居住したときは一部の償還を免除する。
(医学部)
- ・下記期間市内の医療機関において、医師として業務に従事したときは、貸付金額の全額を免除する。
 - ①入学準備金及び奨学金の貸付を受けた者が、臨床研修を受けた後、直ちに医師として業務に従事したとき 6年6月以上
 - ②奨学金の貸付を受けた者が、臨床研修を受けた後、直ちに医師として業務に従事したとき 6年以上

◎返済方法

卒業後6ヵ月後から次の期間内に返済

(奨学金) 高等学校生	120ヶ月	高等専門学校生	180ヶ月
大学校生	180ヶ月	短期大学校生	96ヶ月
専修学校生(高等課程)	120ヶ月	専修学校生(専門課程)	168ヶ月
大学(医学部)	270ヶ月		
(入学準備金) 大学	48ヶ月	大学(医学部)	72ヶ月

◎制度の変遷

- ・昭和41年度から昭和46年度までの奨学生：年18,000円(月1,500円)/人
- ・昭和47年度から昭和49年度までの奨学生：年36,000円(月3,000円)/人
- ・昭和50年度から昭和57年度までの奨学生(大学生は除く)：年60,000円(月5,000円)/人
- ・昭和51年度から昭和57年度までの大学へ入学する奨学生：年120,000円(月10,000円)/人
- ・昭和58年度からの奨学生(高校生)：年72,000円(月6,000円)/人
(大学生)：年180,000円(月15,000円)/人
- ・平成2年度からの奨学生(高校生)：年120,000円(月10,000円)/人
(大学生)：年240,000円(月20,000円)/人
- ・平成11年度からの奨学生(高校生)：年180,000円(月15,000円)/人
(大学生)：年300,000円(月25,000円)/人
- ・平成14年度からの奨学生(高校生等)：年360,000円以内(月30,000円以内)/人
(大学生等)：年624,000円以内(月52,000円以内)/人

◎貸付状況

(平成28年5月1日現在)

年度	貸付人員			貸付(見込)額	償還済人員	償還中人員	猶予中人員	貸付中人員	備考(28年度から償還開始)
	高校	大学等	合計						
41~49	96		96	7,326,000	96				
50	13		13	2,370,000	13				
51	8	7	15	4,080,000	15				
52	3	14	17	6,180,000	17				
53	10	8	18	5,520,000	18				
54	8	8	16	5,160,000	16				
55	1	6	7	3,420,000	7				
56	4	5	9	3,372,000	9				
57	14	5	19	5,256,000	19				
58	5	7	12	5,668,000	12				
59	4	9	13	6,444,000	13				
60	4	12	16	7,884,000	16				
61	8	11	19	8,064,000	19				
62	3	4	7	2,808,000	7				
63	1	7	8	5,076,000	8				
元	1	4	5	1,512,000	5				
2	3	11	14	8,520,000	14				
3	2	15	17	10,800,000	17				
4	3	21	24	18,720,000	23	1			
5	1	22	23	16,680,000	23				
6		9	9	6,240,000	9				
7	1	7	8	5,880,000	8				
8		13	13	9,360,000	13				
9		11	11	7,920,000	11				
10	1	3	4	6,360,000	4				
11	1	8	9	6,540,000	9				
12		10	10	7,560,000	10				
13		11	11	8,820,000	11				
14	2	48	50	34,859,000	40	10			
15	5	27	32	45,372,000	16	16			
16		26	26	48,072,000	15	11			
17	1	22	23	51,312,000	14	9			
18	2	12	14	45,036,000	4	10			
19		15	15	37,470,000	5	10			
20		15	15	33,132,000	3	12			
21		21	21	32,412,000	3	17			1
22	1	26	27	40,935,000	7	18	1		1
23		16(1)	16	44,176,000	1	12	2	1(1)	
24	1	15(1)	16	45,888,000	1	6	1	1(1)	7
25		16	16	43,780,000		3	1	11	1
26		20(2)	20	44,698,000				14(2)	6
27	1	18(2)	19	44,960,000				18(2)	1
28		14(1)	14	45,204,000				14(1)	
計	208	559	767	830,846,000	551	135	5	59	17

()は大学(医学部)

② 公益信託 山田徳郎奨学基金

- 目的 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する生徒に対して、奨学助成を行い、青少年の健全育成と社会有用の人材を育成する。(昭和63年から給付開始)
- 奨学生の資格
 - 岡谷市に居住し、長野県の高等学校に在学する者
 - 学業、人物ともに優秀な者
 - 経済的理由により就学困難な者
- 給付方法及び金額

給付方法	年4回(6月・9月・12月・3月)に分けて給付
給付金額	月額15,000円
給付状況	平成26年度 3人 平成27年度 6人 平成28年度 2人 合計 11人
受託者	山田徳郎
受託者	みずほ信託銀行株式会社(東京都中央区八重洲1-2-1)

4. 生涯学習課

(1) 生涯学習課基本方針

■ 『生涯学習スローガン』（基本方針）

歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

おかや子育て憲章と岡谷市教育大綱及び第5次岡谷市生涯学習推進計画に掲げた教育理念のもと、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

「岡谷のひとづくり」を推進するため、生涯学習分野におけるめざすひとづくりの姿「人間像」を、『歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり』とし、次の4つのポイントに重点的に取り組みます。



■ 「生涯学習 4つの重点ポイント」

1 「地域に学び貢献する」生涯学習

- ・ 地域独自の文化を継承し、地域に学び貢献する意識の醸成を図ります。
- ・ 学習グループや公民館活動を推進し、「学びの輪」と「学びの循環」を育みます。
- ・ 地域住民の放課後子どもの居場所づくり事業への参画を促進します。

2 「ふるさとを誇りに思う」生涯学習

- ・ 郷土の地域資源に親しみ学び、ふるさとに愛着と誇りを持つ心を醸成します。
- ・ シルクの歴史や童画の文化などを学び、世代間の連携により地域力を高めます。
- ・ 郷土に根ざした考古、芸術、文化の振興を図り、潤いのある心豊かな人を育みます。

3 「未来を担う青少年を育む」生涯学習

- ・ 地域で子どもを育む「岡谷版コミュニティスクール」の導入を促進します。
- ・ 安心して安全な学童クラブの運営に努め、子育て支援の充実を図ります。
- ・ 「子どもが子どもを育てる」岡谷市リーダーズ倶楽部の活動を支援します。
- ・ 図書館、学校、公民館が連携して、子ども読書活動の推進を図ります。

4 「親力、家庭力を向上する」生涯学習

- ・ 子どもと保護者の関わり方や家庭で学ぶ力など、家庭教育の充実を図ります。
- ・ 子育て支援学級や学級懇談会、地区懇談会など親同士の交流の場づくりを促進します。
- ・ 地域子（己）育てサポーターの組織と活動の活性化を図ります。

■ 第5次岡谷市生涯学習推進計画に基づく平成28年度の重点項目



平成28年度岡谷市教育委員会生涯学習の重点項目

- ・ 放課後子どもの居場所づくり事業の充実
- ・ カルチャーセンターと公民館の連携促進
- ・ 岡谷版コミュニティスクールの推進
- ・ 地域子（己）育てサポーターの活性化

(2) 社会教育

① 重点目標

- 1 学童クラブの安全・安心な運営と施設の有効活用
- 2 放課後子どもの居場所づくり事業の更なる充実とコミュニティスクールへの住民参加

② 平成28年度重点施策

- 1 学童クラブの運営とクラブ室活用モデル事業
- 2 放課後子どもの居場所づくり事業への地域住民の参加促進
- 3 岡谷市社会教育委員の会議による調査・研究
- 4 岡谷市成人式の開催
- 5 人権教育の見直しと充実

③ 岡谷市社会教育委員の会議

岡谷市社会教育委員の会議は、岡谷市教育委員会が行う社会教育行政に関する諮問機関として、広く各方面の見識と経験を反映させるため、社会教育法第15条、及び岡谷市社会教育委員設置条例に基づき、平成9年4月に発足した。

※社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに一般公募の中から10人を教育委員会が委嘱し、任期は1期2年としている。社会教育委員の職務として、社会教育に関し教育長を通じ教育委員会に助言をするための社会教育に関する諸計画の立案や、会議を開いて教育委員会の諮問に応じて意見を述べること、さらにそのために必要な研究調査を行う。また、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることもできる。

岡 谷 市 社 会 教 育 委 員

(平成28年4月1日現在)

氏 名	法第15条2に基づく区分	所属団体等	備 考
新 村 邦 武	学識経験者	元区長	平成23年度～
堀 向 弘 右	学識経験者	元岡谷市職員	平成23年度～
◎濱 道 夫	社会教育	壮年会役員等	平成23年度～
○星 野 直 美	家庭教育	子ども会育成会役員	平成23年度～
今 井 誠	家庭教育	元小学校PTA役員	平成25年度～
間 宮 洋 子	家庭教育	子ども会育成会役員等	平成27年度～
佐々木るり子	社会教育	ガールスカウト役員	平成27年度～
山 田 和 男	社会教育	卓球連盟役員等	平成27年度～
林 邦 子	家庭教育	放課後子どもの居場所づくり事業運営委員	平成27年度～
酒 井 重 明	学校教育	校長会（湊小学校）	平成27年度～

(◎=会長、○=副会長)

1期任期2年：平成27年4月1日～平成29年3月31日 ※校長会代表：任期1年)

④ おかや子育て憲章理念の普及

おかや子育て憲章具現化への取り組みとして、子育てのポイントを年齢期毎にまとめたパンフレット「成長樹（期）子育て実践ポイント」を作成しているが、子育てにかかわる多くの市民が身近に置き、子育ての不安や悩みの解消のための参考にしていただけるよう年齢期毎に分冊化すると共に、胎児期を加えいつでも必要なときに見られるよう母子手帳交付時の一連の資料の袋に収まるサイズに変更するなど見直しを行い、効果的な実践に向けて普及啓発及び活用を促進する。

⑤ 岡谷市成人式

岡谷市で心身を育んだ男女青年が「人生の節目」として成人を迎えたことを祝い励ます行事である。

1 平成27年度（平成28年1月10日）成人式参加者数

	平成27年度			平成26年度		
	男	女	計	男	女	計
対象者数	268人	293人	561人	284人	284人	568人
参加者数	193人	195人	388人	202人	214人	416人
参加率	72.0%	66.5%	69.1%	71.1%	75.3%	73.2%

2 平成28年度 成人式の開催予定日

(1) 開催日時 平成29年1月8日（日）（*成人の日の前日、日曜日）

(2) 会場 岡谷市文化会館（カノラホール）

(3) 対象 平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人で本人又は親等が市内に在住する人

⑥ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）

市民の生涯学習活動をより一層推進するため、市職員が担当する業務を直接地域に出向いて説明しながら、市民との交流と市政への理解を深めるとともに、まちづくり全般にわたる推進と市職員の研修・資質向上の機会ともしている。平成28年度は7部門88講座を登録し、メニュー表にない講座については「リクエスト講座」として対応する体制をとっている。

⑦ 生涯学習人材バンク「おかやマナビスタッフ」活用事業

専門的な知識や技術、技能等を持つ市民に、講師又はボランティアとして登録・名簿管理し、講師等を依頼したい人と登録者を仲介する。

また、ボランティア登録をした方については、活動する際に、「学びのおかやサポート事業」の一環として、ボランティア保険に加入し、サポートを行っている。

⑧ 人権教育

1 人権の尊重

人権は、生命、自由、平等、幸福追求などについて、すべての人間がその尊厳に基づいて持っている、侵すことのできない固有の権利です。人権が尊重されるためには、権利についての理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、お互いの人権を認め合いながら生活し、人権が共存する社会づくりを進めることが重要です。

岡谷市は、平成8年3月、岡谷市民憲章の理念に基づき「人権尊重都市宣言」を掲げました。人権の世紀である21世紀を迎え、この「人権尊重都市宣言」を岡谷市の基本理念とし、市民一人ひとりがさらなる人権意識の高揚とかけがえのない存在として尊重される差別のない社会づくりのため、基本目標に沿った人権教育を推進します。

2 啓発の推進

(1) あらゆる場における人権教育の推進

ア 学校人権教育

- ・ 偏見や差別を正しく見抜く力を持つことができる教育を行う。
- ・ 児童・生徒の身近な偏見や差別をなくすために、開かれた学級やともに生きる仲間づくりに努める。
- ・ 人権にかかわる授業研究、教職員研修の充実を図る。
- ・ 人権担当教諭の指導者としての資質の向上を図る。
- ・ 社会科教材として、副読本「あけぼの」の配本助成を行う。

イ 社会人権教育（幼稚園・保育園、学校、地域、企業）

- ・ 幼稚園、保育園における保護者を対象とした人権にかかわる家庭教育学級を実施する。
- ・ 小中学校のPTAを対象とした人権にかかわる家庭教育学級、講演会を実施する。
- ・ カルチャーセンター等における各種学級の機会を捉えた人権教育講座を開催する。
- ・ 地域リーダー養成のための人権教育指導者研修会を開催する。
- ・ 地域における人権にかかわる自主学習活動への支援・奨励を行う。
- ・ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）を活用する。
- ・ 企業担当者に対する人権学習支援・奨励、学習資料の提供を行う。
- ・ 企業担当者に対し人権教育指導者研修会への参加を奨励する。
- ・ 市職員研修における人権問題啓発用DVDの活用を促す。
- ・ 市新任職員に対する人権教育を実施する。

(2) 人権意識の啓発と教育活動の推進

- ・ 「広報おかや」の活用
- ・ 人権問題啓発映画・DVDの貸出し及びガイドブックの活用
- ・ 地域子（己）育てミニ集会における啓発活動
- ・ 人権啓発リーフレットの活用

⑨ 放課後子どもの居場所づくり事業

放課後や週末等に学校施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の人々の参画を得て、学習又はスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行う事業を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育む環境づくりを推進する。

- 1 実施主体 岡谷市教育委員会
- 2 運営委員会の設置

各小学校区に地域住民、学校、行政からなる運営委員会を設置し、企画運営等を行う。
運営委員会にて運営形態を選択することができる。

- 3 対象とする子どもの範囲 市内小学校に在籍するすべての小学生
- 4 活動状況

(平成 28 年 5 月 31 日現在)

小学校名	呼称	運営形態	開設年月日	年間開催予定回数
川岸小学校	とちっ子ひろば	直営型	平成 21 年 (※モデル校)	21 回
湊小学校	あそぼう日	直営型	平成 21 年 (※モデル校)	18 回
岡谷田中小学校	あやめ基地	直営型	平成 21 年 (※モデル校)	13 回
長地小学校	おさっちあ	委託型	平成 23. 5. 18	12 回
上の原小学校	うえのはらっぱ	直営型	平成 23. 6. 29	17 回
小井川小学校	おいかわっこ	委託型	平成 23. 7. 20	11 回
神明小学校	神明っ子はばたきラボ	直営型	平成 23. 9. 14	16 回

⑩ 学童クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童及び生徒に対し、適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的としている。学童クラブは、児童福祉法第 6 条の 3 第 2 項に規定する「放課後児童健全育成事業」であり、運営は同法第 3 4 条の 8 に基づいている。平成 1 8 年 4 月から、岡谷市学童クラブ条例を施行し、学校登校日の利用についても有料化を図った。また、平成 2 7 年度から対象学年を 6 年生まで拡大するとともに、開設時間の延長を行った。

- 1 入所できる児童及び生徒
 - (1) 市内小学校の 1 年生から 6 年生までの児童
 - (2) 長野県諏訪養護学校の小学部の児童及び中学部の生徒
 - (3) 市長が特に入所の必要を認めた児童及び生徒

2 利用できる保護者の要件

学童クラブを利用できる者は、父母等の保護者や 6 5 歳未満の同居親族が下記のいずれかに該当し、昼間家庭で児童等を養育できない場合とする。従って、父母が下記に該当しても、6 4 歳以下の祖父母が働いていない場合は、学童クラブを利用することができない。

- (1) 外勤労働に従事し日中不在のとき
- (2) 自営労働に専従しているとき

(3) その他（特例として認める場合がある）

- ・病気・身体障害等するとき
- ・家族の介護、看護をしているとき
- ・妊娠、出産するとき
- ・就学しているとき
- ・求職中とき
- ・その他

3 開設日・開設時間

	学校の登校日	学校の休業日	
開設日	放課後	夏休み・年末年始休み・春休み・ 学校振替休業日、計画休業日 (日、祝日、8/13～16、12/29～ 1/3を除く)	土曜日 (祝日、8/13～16、12/29～1/3 を除く)
開設時間	下校時から 午後6時45分まで	午前7時45分から午後6時45分まで	

※土曜日は岡谷田中小学童クラブで開設

4 使用料

階層	区 分	学校の登校日 (月額)	学校の休業日 (日額)
第1	生活保護世帯（単給世帯を含む。）	0円	0円
第2	前年度分の市町村民税非課税世帯	900円	600円
第3	前年度分の市町村民税非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	0円	0円
第4	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯	2,300円	600円
第5	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	2,000円	600円
第6	前年度分の市町村民税所得割課税世帯	3,500円	600円

※同一世帯で2人の児童が同時に入所し利用した場合、2人目以降の使用料は半額となる。

※同一世帯で3人以上の児童が同時に入所し利用した場合、3人目以降の使用料は4分の3減免となる。

5 施設概要

(平成 28 年 5 月 31 日現在)

学童クラブ名	開設年月日	施設 (㎡)	登録 児童数	指導員数		備考
				嘱託	臨時	
岡谷田中小学校第1学童クラブ	S40.10.24	69.00	44	1	2	H28 独立施設
岡谷田中小学校第2学童クラブ	H28.4.1	66.40	30	1	2	
神明小学校第1学童クラブ	S41.12.26	91.09	45	1	2	S45 独立施設
神明小学校第2学童クラブ	H27.4.1	62.40	55	1	2	余裕教室利用
川岸小学校学童クラブ	S43.10.1	124.65	62	1	3	余裕教室利用
長地小学校第1学童クラブ	S44.10.1	267.30	47	1	3	H23 独立施設
長地小学校第2学童クラブ	H23.8.19		52	1	3	
小井川小学校第1学童クラブ	S51.9.1	114.07	34	1	1	S51 独立施設
小井川小学校第2学童クラブ	H27.4.1	92.48	25	1	2	余裕教室利用
上の原小学校学童クラブ	S52.9.6	85.00	55	1	3	余裕教室利用
湊小学校学童クラブ	H9.7.28	80.65	21	1	1	H12 併用施設
ひかりクラブ	H14.4.5	72.38	7	1	4	H28 独立施設
合 計			607	12	28	
土曜学童クラブ	H14.4.6	69.00	52	2	1~6	岡谷田中小第 1学童利用
ひかりクラブ(土曜)	H19.4.7		3			

※土曜学童の登録児童数及び指導員数は各学童クラブと重複している。

※登録児童数は登校日学童クラブの登録数を記載している。

⑪ 放課後子どもプラン推進事業

放課後子どもの居場所づくり事業と学童クラブ事業の連携により岡谷市としての総合的な放課後対策を推進する。

(3) 文化財

① 重点目標

- 1 国・長野県・岡谷市から指定された文化財の保護と活用
- 2 旧林家住宅、旧山一林組製糸事務所、旧市役所庁舎等製糸関連文化財の活用方針の検討

② 平成28年度重点施策

- 1 市内指定文化財の調査・保護事業
- 2 旧林家住宅及び旧渡辺家住宅の管理事業
- 3 個人住宅等小規模開発事業に先立つ遺跡の試掘、発掘調査による埋蔵文化財の保護と保存

③ 岡谷市文化財保護審議会委員

会 長 宮坂 正博 職務代理 小口 敏高

(平成28年4月1日)

氏 名	就任年月日	任 期
宮坂 正博	平成 28. 4. 1	平成 30. 3. 31
小口 敏高	平成 28. 4. 1	平成 30. 3. 31
小口 圭一	平成 28. 4. 1	平成 30. 3. 31
熊澤 祥吉	平成 28. 4. 1	平成 30. 3. 31
武居 薫	平成 28. 4. 1	平成 30. 3. 31
宮坂 春夫	平成 28. 4. 1	平成 30. 3. 31

④ 施設

名 称	所 在 地	開 館 年 月 日
旧 渡 辺 家 住 宅	岡谷市長地柴宮三丁目 8-40	平成 3. 9. 8

- 1 休館日 月・木・金曜日、11月4日から翌年の3月19日まで
- 2 入館料
 - ・一般高校生以上 310 円、小中学生 150 円、団体（10人以上）と高校生以上 210 円
小中学生 100 円ただし、諏訪 6 市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料。
 - ・共通入館券（旧渡辺家住宅、旧林家住宅、岡谷美術考古館、岡谷蚕糸博物館、イルフ童画館）
 - 5 館入館券 一般 1,100 円、高校生 900 円、中学生 600 円、小学生 400 円
 - 3 館入館券 一般 900 円、高校生 700 円、中学生 500 円、小学生 350 円
 - 2 館入館券 一般 650 円、高校生 600 円、中学生 300 円、小学生 300 円

名 称	所 在 地	開 館 年 月 日
旧 林 家 住 宅	岡谷市御倉町 2-20	平成 6. 4. 21

- 1 休館日 水曜日、国民の祝日の翌日（ただし、この日が休日にあたる時は開館する）、年末年始(12月29日～1月3日)
- 2 入館料
 - ・一般高校生以上 570 円、小中学生 260 円、団体（10人以上）高校生以上 360 円
小中学生 100 円ただし、諏訪 6 市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料。
 - ・共通入館券（旧渡辺家住宅に同じ）

⑤ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財

1 指定・登録文化財数

	有形文化財								無民俗 民文化 財	有民俗 民文化 財	史跡	天 然 記 念 物	計
	仏 像	木 喰 作 品	石 造 物	絵 画	建 造 物	古 文 書 類	工 芸	考 古 資 料					
国指定文化財					1			1			1		3
国登録有形文化財					23								23
県指定文化財	2				1				1	442			446
市指定文化財	25	34	5	1	13	2	3	10			11	18	122

2 国指定文化財

No.	名 称	所有者 管理者	所在地・遺構及び形式	指定年月日
1	国指定史跡 梨久保遺跡	岡谷市教育委員会	長地梨久保二丁目 縄文時代	昭和 59. 1. 11
2	国指定重要文化財 顔面把手付深鉢形土器	市立岡谷美術考古館	中央町一丁目 9-8 縄文時代	平成 元. 6. 12
3	国指定重要文化財 旧林家住宅 主屋	岡谷市教育委員会	御倉町 2-20 明治時代 木造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 219.03 m ²	平成 14. 12. 26
	国指定重要文化財 旧林家住宅 離れ	〃	御倉町 2-20 明治時代 木造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 74.45 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 洋館	〃	御倉町 2-20 明治時代 木造、鉄板葺 建築面積 84.46 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 内蔵穀蔵及び味噌蔵	〃	御倉町 2-20 明治時代 土蔵造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 81.14 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 外蔵	〃	御倉町 2-20 明治時代 土蔵造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 129.62 m ²	〃
	附・板絵図 2 枚 平面図(明治 41 年 5 月調製) 1 枚	〃	御倉町 2-20	〃

3 国登録有形文化財

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	構造及び形式	登録告示年月日
1	中央印刷社屋 (旧片倉組事務所)	川岸上一丁目 1-20	中央印刷 株式会社	木造 2 階建、銅板葺建築面 積 335 m ²	平成 8. 12. 26
2	片倉家住宅主屋	川岸上一丁目 21-6	片倉工業 株式会社	木造平屋建、茅葺 建築面積 215 m ²	平成 11. 7. 21

3	片倉家住宅西の蔵	〃	〃	土蔵造 2 階建、鉄平石葺、 建築面積 25 m ²	〃
4	片倉家住宅味噌蔵	〃	〃	土蔵造 2 階建、鉄平石葺、 建築面積 19 m ²	〃
5	片倉家住宅南の蔵	〃	〃	土蔵造 2 階建、鉄平石葺、 建築面積 29 m ²	〃
6	片倉家住宅文庫蔵	〃	〃	土蔵造 3 階建、鉄板葺、建 築面積 65 m ²	〃
7	今井家住宅主屋 ^{おもや}	今井 1832	個人	木造平屋建、鉄板（板葺） 建築面積 449.98 m ²	平成 11.10.28
8	今井家住宅文庫蔵	〃	〃	木造土蔵造 2 階建、石葺 建築面積 33.05 m ²	〃
9	今井家住宅米蔵	〃	〃	木造土蔵造 2 階建、石葺 建築面積 33.05 m ²	〃
10	今井家住宅木蔵 ^{きぐら}	〃	〃	木造土蔵造 2 階建、鉄板葺 建築面積 46.28 m ²	〃
11	今井家住宅板蔵	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺建築面 積 64.46 m ²	〃
12	今井家住宅水車小屋	〃	〃	木造平屋建、 建築面積 7.30 m ²	〃
13	今井家住宅表門	〃	〃	木造、銅板葺間口 5.10m、 奥行 0.8m	〃
14	今井家住宅中門	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺（土塀 付）間口 2.05m、奥行 0.8 m	〃
15	今井家住宅木小屋	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺建築面 積 39.95 m ²	〃
16	今井家住宅井戸	〃	〃	石積深さ 6m、木造上屋鉄 板葺、 建築面積 0.74 m ²	〃
17	今井家住宅屋敷神 ^{やしきがみ}	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺社殿建 築面積 1.13 m ²	〃
18	旧岡谷上水道集水溝 ^{しゅうすいこう}	山 手 町 3-4071-口	(宗)十五社	石造り幅 4.0m、高さ 3.0 m、奥行 19.0m	平成 15.4.8
19	旧山一林組製糸事務所	中 央 町 1-13-17	岡谷市教 育委員会	木造 2 階建、瓦葺 建築面積 316 m ²	平成 17.2.28
20	旧山一林組製糸守衛所	〃	〃	木造平屋建、亜鉛メッキ鋼 板葺 建築面積 14 m ²	〃
21	旧岡谷市役所庁舎	幸町 8-1	岡 谷 市	鉄筋コンクリート造 2 階 建瓦葺 建築面積 792 m ²	〃
22	小口家別邸 「雀龍庵」主屋 ^{かくりゅうあん おもや}	銀座 2-4-3	個人	木造 2 階建切妻瓦葺建築面 積 231 m ²	平成 23.10.28
23	小口家別邸 「雀龍庵」土蔵 ^{かくりゅうあん}	〃	〃	木造 2 階建切妻瓦葺建築面 積 66.10 m ²	〃

4 長野県指定長野県宝

No.	名称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	旧渡辺家住宅	長地柴宮三丁目 8-40	岡谷市教育委員会	平成 5. 8. 12
2	木造阿弥陀如来坐像	長地柴宮三丁目 3-22	平福寺	平成 8. 9. 9
3	木造大日如来坐像 (胎蔵界)	本町二丁目 6-43	照光寺	平成 17. 9. 26

5 長野県指定有形民俗文化財 (蚕糸資料コレクション昭和 41 年 3 月 17 日県宝指定)

種類	種	点	種類	種	点	種類	種	点	種類	種	点
繰糸器械類	18	21	生糸検査 用器具	27	27	その他 の器具	27	27	印・版木類	3	66
揚返器具	7	8	計量器類	22	53	鑑札類	13	13			
繰糸器具部品	54	204	荷造器具	7	8	標本類	14	15	計	192	442

市立岡谷蚕糸博物館所蔵

6 長野県指定無形民俗文化財

No.	名称	所在地	保存団体の住所及び名称	指定年月日
1	諏訪大社の 御柱祭り	岡谷市、諏訪市、 茅野市、下諏訪 町、富士見町、 原村	諏訪市大字中洲宮山 1 諏訪大社上社内 諏訪郡下諏訪町 5828 諏訪大社下社内 諏訪大社式年造営御柱大祭保存会	平成 6. 8. 15

7 岡谷市指定有形文化財

(1) 仏像

No.	名称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	木造大日如来坐像 (金剛界)	正徳 3 年 (1713 年)	本町二丁目 6-43	照光寺	昭和 51. 3. 15
2	厨子入木造千手観音・不動明王・多聞天立像	不 明	〃	〃	〃
3	木造弘法大師坐像	〃	〃	〃	〃
4	木造仁王立像 (阿・吽)	〃	〃	〃	〃
5	木造聖観音立像	〃	川岸西二丁目 6	新倉区	〃
6	木造毘沙門天立像	室町時代	川岸西二丁目 7	〃	〃
7	木造十一面観音坐像	永正 3 年 (1506 年)	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
8	木造大日如来坐像 (金剛界)	不 明	長地小萩一丁 目 19-9	真秀寺	〃
9	木造不動明王坐像	〃	〃	〃	〃
10	木造大日如来坐像 (金剛界)	〃	長地柴宮三丁 目 3-22	平福寺	〃
11	木造十一面観音立像	〃	〃	〃	〃

12	木造聖観音坐像	江戸初期	今井上の原 38-1	今井観音堂	昭和 60. 6. 4
13	木造興教大師坐像	室町時代	本町二丁目 6-43	照光寺	〃
14	木造大日如来坐像	〃	東銀座一丁目 14-2	小井川区	〃
15	木造阿弥陀如来立像	江戸初期	堀ノ内二丁目 7-22	広円寺	〃
16	木造賓頭盧尊者坐像	室町時代	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
17	木造阿弥陀如来坐像	〃	川岸上二丁目 6-6	真福寺	〃
18	木造十一面観音坐像	江戸初期	川岸東四丁目 16-5	昌福寺	〃
19	木造日光菩薩立像	室町時代	長地柴宮三丁目 3-22	平福寺	〃
20	木造月光菩薩立像	〃	〃	〃	〃
21	木造清涼大師坐像	江戸前期	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	〃
22	石造佉羅陀山地蔵菩薩坐像	文政 10 年 (1827 年)	本町二丁目 6-43	照光寺	昭和 61. 9. 4
23	石造釈迦三尊仏	慶応 4 年 (1868 年)	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	平成元. 6. 22
24	石造西国三十三所観音	慶応 4 年 (1868 年)	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	平成元. 6. 22
25	木造馬鳴菩薩坐像 附 馬鳴大菩薩尊像板下画料 領収書 1 枚	昭和 9 年 (1934 年)	本町二丁目 6-43	照光寺	平成 23. 5. 9

(2) 木喰作品

No.	名称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	木造吉祥天女坐像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	昭和 43. 4. 1
2	木造大黒天坐像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	昭和 43. 4. 1
3	木造阿弥陀如来坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	—	個人	〃
4	木造西宮大神宮惠比須坐像	〃	—	個人	〃
5	木造地蔵菩薩立像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	〃
6	木造南無大師遍照金剛坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	—	個人	〃
7	木造文珠菩薩坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	中央町一丁目 9-8	個人 市立岡谷美術考古館	〃
8	木造南無大師遍照金剛坐像	享和 2 年(1802 年)	—	個人	〃
9	米寿の軸	文化 2 年(1805 年)	—	個人	〃

10	まるしんの軸	文化3年頃 (1806年)	—	個人	〃
11	ねんとくの軸	文化2年(1805年)	—	個人	〃
12	ごかいこくちゅうおんやどひかえちよう 御廻国中御宿控帳	文政年間	—	個人	〃
13	はいたきふどうみようおう 木造拝滝不動明王坐像	文化3年頃 (1806年)	長地鎮二丁目 19-18	中屋区	〃
14	はいたきふどうそん 木造拝滝不動尊坐像	享和2年(1802年)	本町二丁目 6-43	照光寺	〃
15	木造薬師如来坐像	文化3年(1806年)	中央町二丁目 13-8	上浜区	〃
16	大日如来軸	文化4年(1807年)	本町二丁目 6-43	照光寺	昭和51.3.15
17	木造大日如来坐像	文化3年(1806年)	—	個人	〃
18	みょうごう 名号軸	文化3年(1806年)	中央町一丁目 9-8	市立 岡谷美術考古館	昭和51.3.15
19	ねんとくの軸	文化4年(1807年)	中央町一丁目 9-8	市立 岡谷美術考古館	〃
20	おおみねさんしゃだいがんげん 大峯三社大権現軸	享和2年(1802年)	—	個人	〃
21	くじのほうごう 九字の宝号軸	文化4年(1807年)	—	個人	〃
22	しよぶつ 諸仏の軸	〃	—	個人	〃
23	おんたけざおうだいがんげん 御嶽座王大権現軸	享和2年(1802年)	—	個人	〃
24	ふどうそんくうでんかんげちよう 不動明王付属文書不動尊供殿勸化帳	天保2年 (1831年)	—	個人	〃
25	ごちによらい 五智如来軸	文化4年(1807年)	—	個人	〃
26	さんしゃだいがんげん 三社大権現軸	文化4年(1807年)	—	個人	〃
27	みょうごう 名号軸	文化4年(1807年)	—	個人	〃
28	つうりきじざいふどうみようおうせきひ 通力自在不動明王石碑	享和元年(1801年)	山下町二丁目 11	間下区	〃
29	つうりきじざいふどうみようおうせきひ 通力自在不動明王石碑 付属文書 つうりきじざいふどうみようおうせきひ 通力自在不動明王石碑 こんりゅうひかえ 建立扣	〃	—	個人	〃
30	さんてんぐそくあじ 三点具足阿字軸	文化4年(1807年)	中央町一丁目 9-8	市立 岡谷美術考古館	〃
31	しよしん 諸神の軸	〃	—	個人	〃
32	びんずるそんじゃ 木造賓頭盧尊者像	〃	長地梨久保二 丁目8-32	中村区	〃
33	びんずるそんじゃ 賓頭盧尊者像付属文書 びんずるそんじゃこんりゅうひかえ 賓頭盧尊者建立入用帳	〃	〃	〃	〃

34	五 点 阿 字 軸	〃	本町二丁目 6-43	照 光 寺	〃
----	-----------	---	---------------	-------	---

(3) 石造物

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	宗平寺跡の板碑	不明	加茂町四丁目	小井川区	昭和42.3.6
2	永田徳本の藍塔	不明	—	個人	昭和42.3.6
3	沢の石幢	承応4年(1655年)	川岸西一丁目 (新倉・沢)	新倉区	平成元.6.22
4	尼堂墓地の石幢	寛文4年(1664年)	長地柴宮一丁目19	東堀区	〃
5	花岡公園の石灯籠	元治元年(1864年)	湊一丁目	花岡区	平成元.7.13

(4) 絵画

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	十六善神図幅	室町時代	長地小萩一丁目19-9	真秀寺	昭和55.5.9

(5) 建造物

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	駒沢諏訪社本殿	川岸東四丁目15-22	駒沢区神社委員会	平成3.12.3
2	小口薬師堂本堂	銀座二丁目15-1	小口区	〃
3	広円寺本堂	堀ノ内二丁目7	広円寺	平成14.2.25
4	今井十五社本殿	神明町四丁目2-1	今井区	平成15.2.21
5	今井十五社舞屋	〃	〃	〃
6	今井十五社境内社津島社本殿	〃	〃	〃
7	小井川賀茂神社本殿	加茂町三丁目6-8	小井川賀茂神社	〃
8	照光寺本堂	本町二丁目6-43	照光寺	〃
9	東堀正八幡宮本殿	長地柴宮一丁目4-13	東堀正八幡宮	〃
10	東堀正八幡宮拝殿	〃	〃	〃
11	東堀正八幡宮舞屋	〃	〃	〃
12	小坂観音院観音堂 附棟札・ 華鬘・厨子・格天井	湊四丁目15-22	龍光山観音院	平成16.3.30

13	照光寺蚕霊供養塔 附 棟札1枚 蚕霊供養塔関 係資料 41点	本町二丁目 6-43	照 光 寺	平成 23. 5. 9
----	--------------------------------------	------------	-------	-------------

(6) 古文書類

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	昌福寺の武田勝頼安堵状	川岸東四丁目 16-5	昌 福 寺	平成 5. 2. 25
2	高島藩 寛文五年宗門御改帳・ 宗門五人組帳・人別帳	—	個人	平成 10. 5. 1

(7) 工芸

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	お 田 井 の 鉦 鼓	文化 4 年(1807 年)	湊三丁目 6-9	湊第五町内会	平成 7. 3. 15
2	新倉薬師堂の鉦鼓	寛延 2 年(1749 年)	川岸中二丁目 3332	新 倉 区	〃
3	小坂観音院観音堂の鯛口	明応 5 年(1496 年)	湊 四 丁 目 15-22	龍光山観音院	平成 16. 3. 30

(8) 史跡

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	コ ウ モ リ 塚 古 墳	長地鎮 6444-2	個人	昭和 42. 3. 6
2	三 沢 一 里 塚	川岸上三丁目	三 沢 区	〃
3	花 岡 城 跡	湊一丁目 5	岡 谷 市	〃
4	高 尾 城 跡	川岸三沢(高尾山)	三 沢 区	〃
5	ス ク モ 塚 古 墳	長地源二丁目 3	個人	昭和 46. 4. 15
6	広 畑 遺 跡	川岸上四丁目 9～ 10(高尾山麓)	岡 谷 市	昭和 49. 2. 9
7	岡 屋 遺 跡	岡谷区 4 7 4 0 - イ - 4	(宗) 十 五 社	昭和 53. 10. 6
8	唐 櫃 石 古 墳	長地横川字丸山 5811-1	個人	昭和 54. 7. 6
9	姥 ヶ 懐 古 墳	長地横川字丸山 5448-1	個人	昭和 55. 5. 9
10	横川山の割り石と泣き石伝説	横川山 10016-1 番地	東堀区と旧平野 村の 10ヶ区	平成 14. 5. 2
11	川岸天竜河畔 諏訪明神入諏伝説の地	川岸上一丁目 113-1	三 沢 区	平成 16. 3. 30

(9) 天然記念物

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	小坂観音院 <small>びやくしん</small> の <small>たいじゆ</small> 大樹	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	昭和 42. 3. 6
2	神 <small>かみ</small> の <small>き</small> 木	長地御所二丁目 5	東 堀 区	〃
3	昌福寺の <small>しだれざくら</small> 枝垂 <small>たいじゆ</small> 桜の大樹	川岸東四丁目 16-5	昌 福 寺	〃
4	出早雄小萩神社の <small>しゃそう</small> 社 <small>そ</small> 叢	長地出早二丁目 2-22	中屋・中村・横川区	昭 和 49. 10. 18
5	小口賀茂神社の <small>アオナシ</small>	銀座一丁目 5	小 口 区	昭和 59. 12. 6
6	今井家の <small>カツラ</small>	今井 1832	個人	〃
7	毘沙門堂 <small>びしゃもんどう</small> の <small>スギ</small>	川岸西二丁目 7	新 倉 区	〃
8	駒沢諏訪社の <small>サワラ</small>	川岸東四丁目 15-22	駒 沢 区	〃
9	小坂観音院 <small>じそう</small> 寺 <small>そ</small> 叢	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
10	小坂観音院ブッポウソウ <small>ほんしよくち</small> 繁殖地	湊四丁目 15-22	〃	〃
11	小坂中村地籍の <small>シダレザクラ</small>	湊四丁目 11	小坂・有賀・花岡・藤森 の姓代表	平成 2. 4. 10
12	船魂社 <small>ふなたましや</small> の <small>シダレザクラ</small>	湊三丁目 3	湊 第 五 町 内 会	〃
13	鎮社 <small>しづめしや</small> の <small>サワラ</small>	長地鎮二丁目 19-18	中 屋 区	〃
14	駒沢諏訪社の <small>ケンポナシ</small>	川岸東四丁目 15-22	駒 沢 区	平成 5. 2. 25
15	小井川賀茂神社の <small>ハリギリ</small>	加茂町三丁目 6-8	小井川賀茂神社	〃
16	育恩堂 <small>いくおんどう</small> の <small>シダレザクラ</small>	山手町一丁目 3-7	育 恩 堂 教 会	平成 8. 2. 26
17	今井家の <small>カキノキ</small>	今井 1250	個人	平成 17. 2. 24
18	岡谷唐櫃石古墳 <small>かろうといし</small> ヒカリゴケ	長地横川字丸山 5811-1	個人	平成 20. 10. 3

(10) 考古資料

No.	名 称	点数	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	岡谷丸山遺跡出土 矢柄研磨器	2	中央町一丁目 9-8	市立岡谷美術考 古館	平成 16. 3. 30
2	榎垣外遺跡出土 顔面把手付深鉢形土器	1	〃	〃	〃
3	目切遺跡出土 顔面把手付深鉢形土器	1	〃	〃	〃
4	目切遺跡出土 壺を持つ妊婦土偶	1	〃	〃	〃

5	ひろはた 広畑遺跡出土 土偶	1	〃	〃	〃
6	かじょうじ 花上寺遺跡出土 土偶	1	〃	〃	〃
7	なしくぼ 梨久保遺跡出土 コハク・ヒスイ製装身具	8	〃	〃	〃
8	はしばら 橋原遺跡出土 炭化種子類	一括	〃	〃	〃
9	えのきがいと 榎垣外遺跡片間町地区 12号住居址出土品	64	〃	〃	平成 20. 10. 3
10	なしくぼ 梨久保遺跡 3・4号住居址 出土土器	28	〃	〃	平成 21. 3. 2

8 経済産業省認定近代化産業遺産群

No.	名称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	旧 林 家 住 宅	御倉町 2-20	岡谷市教育委員会	平成 19. 11. 30
2	旧 片 倉 組 事 務 所	川岸上一丁目 1-20	中央印刷株式会社	〃
3	きゅうやまいち 旧山一林組製糸事務所・ 守衛所	中央町一丁目 13-17	岡谷市教育委員会	〃
4	旧 岡 谷 市 役 所 庁 舎	幸町 8-1	岡 谷 市	〃
No.	名称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
5	きゅうやまじょう 旧山上宮坂製糸所事務 所・工場棟・再繰工場棟・居 宅	加茂町三丁目 2-41	個人	平成 19. 11. 30
6	まる やま 丸 山 タ ン ク	中央町 1-10	岡 谷 郷	〃
7	株式会社 金上 繭 倉 庫	本町二丁目 5-8	株式会社 金上	〃
8	旧 岡 谷 上 水 道 集 水 溝	山手町 3-4071 ロ	(宗) 十 五 社	〃
9	さん れい 蚕 霊 供 養 塔	本町二丁目 6-43	照 光 寺	〃
10	つる みね 鶴 峯 公 園	川岸上 3-13	岡 谷 市	〃
11	なり た 成 田 公 園	成田町 1-7	岡 谷 市	〃
12	丸 中 宮 坂 製 糸 所 繭 倉 庫	東銀座二丁目 13-23	株式会社宮坂製糸所	〃
13	市立岡谷蚕糸博物館 所蔵資料	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	〃
14	旧蚕糸試験場所蔵機械等	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	〃
15	新 増 沢 工 業 株 式 会 社 所蔵機械 (横フライス盤)	加茂町一丁目 2-5	新增沢工業株式会社	〃

9 一般社団法人日本機械学会認定 機械遺産 岡谷蚕糸博物館の繰糸機群

No.	機械名称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	フランス式繰糸機	郷田一丁目4-8	市立岡谷蚕糸博物館	平成23.8.7
2	諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
3	^{よんじょうぐ} 4条繰り諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
4	^{ろくじょうぐ} 6条繰り諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
5	イタリア式多条繰糸機	〃	〃	〃
6	^{みのりかわ} 御法川式多条繰糸機	〃	〃	〃
7	織田式多条繰糸機	〃	〃	〃
8	増澤式多条繰糸機	〃	〃	〃

10 世界遺産暫定一覧表候補の文化資産

名称	所在地	提案者	区分
旧林家住宅外4件	御倉町2-20 外	長野県・岡谷市	カテゴリーⅡ 平成20.9.26

(4) 図書館

① 重点目標

- 1 図書及び視聴覚資料の充実、整備と提供
- 2 「第2次岡谷市子ども読書活動推進計画」の推進
- 3 諏訪地域図書館との情報ネットワークシステム広域利用の推進
- 4 市民読書の普及と推進
- 5 調査、研究に対する情報提供サービスの向上
- 6 ボランティアの育成、読書関係団体の育成と連携、協力

② 平成28年度重点施策

- 1 第2次岡谷市子ども読書活動推進計画の推進
 - ・「うち読でエコ読」の推進
 - ・「子ども読書会議」の実施
 - ・ブックリストの活用促進
 - ・「おはなしの森」「ちいさなおはなしの森」「としょかん子ども読書まつり」の充実等
- 2 図書館活用の促進
 - ・図書館を身近にし、読書普及につながる事業の推進による底辺の拡大
まちかど図書館、おやこルーム、図書館 de 講座、リサイクル本配布事業等
 - ・配架の工夫やテーマブックコーナーの充実
 - ・図書館の広報充実(ホームページ、シルキーチャンネル、図書館メールマガジン、げんきっずお
かや等)
 - ・インターネット対応型学習室の検討
 - ・デジタルアーカイブの検討
- 3 郷土資料及び視聴覚資料の充実
- 4 一般業務ボランティアの参加拡大、読み聞かせボランティア連絡会の立上げ
- 5 職員研修の充実

③ 施設

- 1 名称 市立岡谷図書館
- 2 所在地 岡谷市本町四丁目1番39号
- 3 開設 昭和20年4月1日(昭和54年9月8日現在地で開館)
- 4 建物 鉄筋コンクリート2階建一部地階
 - 敷地面積 3,843.51㎡
 - 建築面積 1,199.04㎡ 延床面積 1,942.71㎡

④ 利用案内

- 1 休館日
 - (1) 月曜日。ただし、この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときを除く。

- (2) 休日の翌日。ただし、この日が休日、土曜日又は日曜日に当たるときを除く。
 (3) 年末、年始（12月28日から翌年1月3日まで）
 (4) 特別整理期間（9月1日から10月31日までのうち10日間）
 (5) 資料整理日（毎月最後の金曜日。ただし、この日が休日に当たるときは、その前日）

- 2 開館時間 午前10時～午後7時
 3 館内閲覧 開架式（自由選択）
 4 館外閲覧 図書（録音資料も含む）は10点以内、映像資料3点以内 貸出期間2週間

⑤ 蔵書冊数等

総蔵書冊数 229,950冊

分類別蔵書数、受入及び除籍冊数 (平成28年3月31日現在)

分類	蔵書冊数		27年度受入冊数		除籍冊数
	冊	構成比 %	冊	構成比 %	
0 総記	4,767	2.9	106	2.3	11
1 哲学	5,464	3.3	109	2.4	28
2 歴史	13,573	8.3	346	7.6	257
3 社会科学	18,451	11.3	414	9.0	315
4 自然科学	6,746	4.1	295	6.4	126
5 技術	7,056	4.3	305	6.7	309
6 産業	4,103	2.5	99	2.2	75
7 芸術	14,643	8.9	340	7.4	206
8 言語	1,680	1.0	54	1.2	15
9 文学	42,893	26.1	1,010	22.0	193
児童	44,849	27.3	1,501	32.8	2,262
小計	164,225	100.0	4,579	100.0	3,797
団体貸出用	6,943		178		837
地区公民館図書室	22,963		692		597
紙芝居	1,383		8		11
保育園・幼稚園 親子文庫	34,436		839		2,127
合計	229,950		6,296		7,369
再掲 (内書)	区分	蔵書冊数	27年度受入冊数		除籍冊数
	郷土	15,789冊	266冊		1冊
	点字	620冊	24冊		0冊
	洋書	1,631冊	0冊		0冊
	地区公民館図書室	蔵書冊数	27年度受入冊数		除籍冊数
	湊公民館	6,950冊	214冊		134冊

	川岸公民館	8,063 冊	248 冊	282 冊
	長地公民館	7,950 冊	230 冊	181 冊
	合 計	22,963 冊	692 冊	597 冊

⑥ 利用状況(平成27年度)

1 館外貸出利用状況

区 分	貸 出 冊 数		利用者別貸出冊数		登録者数	
		内児童図書	中学生以上	児 童		内児童
本 館 計	冊 234,660	冊 87,733	冊 185,687	冊 48,973	人 27,560	人 2,074
個人貸出	223,584	85,885	174,611	48,973		
団体貸出	3,271	713	3,271			
相互貸借	7,805	1,135	7,805			
湊 公民館	7,101	6,912	3,612	3,489	485	109
川岸公民館	6,104	5,974	3,149	2,955	705	143
長地公民館	6,775	6,427	2,434	4,341	673	116
保育園幼稚 園親子文庫	51,698	51,698	10,494	41,204	—	—
合 計	306,338	158,744	205,376	100,962	29,423	2,442

※ 個人貸出の内、視聴覚資料利用数 9,982 点

(内訳：ビデオ 138 点、DVD 6,828 点、カセット 194 点、CD 2,822 点)

※ 保育園・幼稚園親子文庫は、保育園・幼稚園における読書環境を整え、親と子が読書を通して、ふれあいを深め心の絆を結び合い、明るい家庭づくりと子どもの健全育成に資することを願って、昭和59年に開設された。市内全保育園・幼稚園の親子文庫へ絵本を配本し、園児と保護者の利用に供している。

2 団体貸出利用状況(本館)

区 分	回 数	貸出冊数	区 分	回 数	貸出冊数
学校・学級文庫	—	510 冊	美術考古館	4 回	8 冊
P T A 図書委員会	—	2,394 冊	川岸公民館	2 回	7 冊
保育園(3園)	12 回	111 冊	湖畔病院	6 回	51 冊
学童クラブ(1校)	3 回	45 冊	ふれあいセンター よもぎ	3 回	10 冊
読み聞かせボランティア 団体(4団体)	13 回	28 冊	つつじが丘学園	5 回	68 冊
イルフ童画館	9 回	26 冊	乳幼児サークル (3団体)	4 回	6 冊
蚕糸博物館	5 回	7 冊	合 計		3,271 冊

学校・学級文庫内訳

<小学校>

学 校 名	貸 出 内 訳
神明小学校	図書室 16 冊
岡谷小学校	図書室 109 冊、2 年生 1 学級 1 冊
小井川小学校	図書室 13 冊、6 年生・あおぎり学級 2 学級 13 冊
湊小学校	図書室 12 冊
長地小学校	図書室 8 冊
上の原小学校	図書室 15 冊、6 年生 1 学級 2 冊
田中小学校	図書室 47 冊、1 年生 1 学級 11 冊
川岸小学校	図書室 32 冊
小学校 計	279 冊

<中学校・高等学校>

学 校 名	貸 出 内 訳	学 校 名	貸 出 内 訳
岡谷北部中学校	47 冊	岡谷工業高等学校	8 冊
岡谷南部中学校	6 冊	岡谷南高等学校	78 冊
岡谷西部中学校	67 冊	岡谷東高等学校	25 冊
中学校 計	120 冊	高等学校 計	111 冊

貸 出 合 計
510 冊

※学級文庫は、身近なところに本のある環境づくりと、市立図書館の活用を目指して、平成2年度より希望の学校・学級を単位としてスタートした。

3 相互貸借内訳

貸 出 先	冊 数	貸 出 先	冊 数
諏訪市図書館	2,469 冊	富士見町図書館	970 冊
信州風樹文庫	291 冊	原村図書館	685 冊
茅野市図書館	2,180 冊	県内図書館	80 冊
下諏訪町立図書館	1,126 冊	県外図書館	4 冊
		合 計	7,805 冊

⑦ 平成28年度事業概要 (一般貸出業務以外のもの)

事業・行事名	期間または回数	内 容
おはなしの森	毎週土曜日	語り、絵本の読み聞かせ、紙芝居等
ちいさなおはなしの森	毎月第3火曜日	乳幼児向け
日曜日のちいさなおはなしの森	5/29 7/3 8/28 12/11 2/5	絵本の読み聞かせ、パネルシアター、手遊び等
夏休み特集おはなしの森	8/2~8/7	戦争の絵本の読み聞かせ、諏訪地方の伝説民話
クリスマス特集おはなしの森	12/17	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
こわ〜いおはなしの森	8/6	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
ぬいぐるみのおとまり会	11/19	お気に入りのぬいぐるみを図書館にお泊りさせ、

		おはなし会、図書館探検	
としょかん子ども読書まつり	10/29 10/30	図書館関係団体（約11団体）と協力 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、人形劇 本の紹介等	
子ども工作教室	7/30 1/28	夏休み、冬休みの工作教室	
としょかんキッズ （1日図書館職員体験）	7/26～7/28 3/28～3/30	小学校4年生～高校生による図書館職員体験	
ファーストブックプレゼント 事業	毎月	市内0歳児の3・4ヶ月児健診時に、絵本のプレ ゼント	
親子ルーム設置事業	通年（会議室未使 用時開放）	図書館2階の会議室を親子ルームとして開放し 親子で絵本を介してふれあう環境の整備を図る。	
うち読でエコ読	通年	毎月第3日曜日（家庭の日）を「うち読でエコ読 の日」として家庭でテレビ等を消して読書の時間 をつくり、読書を通じて家族のコミュニケーション を図る取り組みの提唱	
子ども読書会議	8/4	子どもたちの目線で子どもの読書活動に関する 意見や提言を取り上げ、子どもたちが積極的に意 見交換する会議	
まちかど図書館	通年	市民から受けた寄贈本や、図書館のリサイクル図書 を市内公共施設等に置き、いつでもどこでも本が身 近にある読書によるまちづくりを推進する。	
図書館 de 講座	6/23～ 7月	郷土の歴史講座 男女共同参画週間コーナー設置（企画課との協 働）等 岡谷市防災の日 テーマブックスコーナーの設 置（危機管理室との協働）	
おかぼんポイント付与	通年	貸出で5ポイント付与（商業観光課との協働）	
職員派遣に よる普及活 動	地区グループ、関 係機関等の依頼 による読み聞か せ	随時	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
	絵本と出会う親 子ふれあい体験 事業	毎月（12回）	10ヶ月児健診時に親子を対象に、本の読み聞か せ、手遊び等実施
関係団体事業	（読書サークル協議会）		
	リサイクル本配 布事業	10/2	リサイクル本を市民に提供
	漱石読書会	月1回	漱石の世界
	日曜日の読書会	月1回	百人一首

(おはなしだいすきポポーの木)		
読み聞かせ講座	7/9	「絵本の中に込められた作者の思い」と伝えたいこと 講師 まるやま あやこ
	9/3	「いろんな紙芝居の演じ方」 講師 塚原 成幸
	12/3	「大型紙芝居と人形劇」 講師 「でんでんむし」
(その他)		
おとなのための朗読会	7/24 2/12	朗読の会まどかによるおとなのための朗読会
読書運動の推進	通年	幼稚園保育園親子文庫委員、小学校PTA図書委員会の協力により実施

(5) 美術考古館

① 重点目標

- 1 美術作品及び考古資料等の展示及び案内の充実
- 2 ワークショップの開催等による学習活動の推進
- 3 学校との連携・利用促進
- 4 市民ギャラリー・交流ひろば等の利用促進
- 5 資料の収集・整理・保存・調査研究・活用
- 6 施設の適切な維持と管理
- 7 周辺文化施設や商店街等との連携

② 平成28年度重点施策

- 1 開館三周年記念 特別企画展「姉妹都市アーティスト展」の開催（2回）
- 2 開館三周年記念 特別企画展「根岸芳郎展」の開催
- 3 収蔵美術作品の公開展示
- 4 「岡谷市内小学校児童版画展」など学校と連携した企画展の開催
- 5 魅力あるワークショップの開催
- 6 市内遺跡出土品の公開展示
- 7 岡谷まち歩き古本市、おかやフェスタ等の周辺文化施設や商店街と連携したイベントへの参加

③ 施設

市立岡谷美術考古館

所在地	岡谷市中央町一丁目9-8
開館年月日	昭和45年11月3日
建物	鉄筋コンクリート3階建 1,238.85 m ²
備考	昭和47年12月1日 登録博物館として県教育委員会登録 平成25年11月3日 現在地に移転・開館

④ 利用案内

- 1 休館日 水曜日、国民の祝日の翌日（ただし、この日が休日にあたるときは開館する）
年末年始（12月29日～1月3日）
- 2 開館時間 午前10時～午後7時
- 3 入館料 一般おとな（高校生以上） 350円 こども（小中学生）150円
団体（10名以上）おとな 250円 団体こども 100円
ただし、特別企画展開催中は特別料金
共通入館料（美術考古館、イルフ童画館、蚕糸博物館、旧林家住宅、旧渡辺家住宅）
5館入館券 一般1,100円 高校生900円 中学生600円 小学生400円
3館入館券 一般900円 高校生700円 中学生500円 小学生350円
2館入館券 一般650円 高校生600円 中学生300円 小学生300円
年間券（おとな） 1,000円
ただし、諏訪6市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料

⑤ 資料(平成28年4月1日現在)

1 美術関係資料

作家名	石膏	セメント	大理石	ブロンズ	木彫	テラコッタ	デッサン	日本画	油彩画	水彩画	水墨画	中国画	工芸	書	版画	複製画	造形資料	刀剣	計
武井直也	50	1	6	58		1	1		3										120
武井 斌	12		1	12	1		1												27
小口節三	7			9	1	1													18
清水多嘉示				8			1												9
大和作内				2															2
北村西望				1															1
洞沢今朝夫					1														1
高橋貞一郎							1		16										17
高橋靖夫							3		32										35
山田郁夫							3		17										20
宮原麗子							4		24										28
宮原むつ美									6										6
杉原元人								1											1
伝狩野芳崖								1											1
宮坂巴堂								1											1
岸竹堂								1											1
安藤耕斎								1											1
川崎春彦								1											1
野村千春									125										125
田中隆夫									22										22
織田昇									45										45
志村一男									6										6
篠原昭登									1										1
中村一郎									2										2
西岡瑞穂									1										1
堀内唯生									7										7
松井 緑									1										1
辰野登恵子							1		3						10				14
宮坂昭吉									4										4
小平 鼎									12										12
東郷青児									1										1
早出守雄										30									30
林 勇										1									1

根 岸 芳 郎										8										8
中 川 紀 元										2										2
花 岡 哲 象								13												13
児 玉 三 鈴										1										1
天 竜 道 人										1										1
葛 新 民											1									1
小 口 正 二												1								1
浜 達 也												1								1
小 泉 親 人												1								1
小 口 稔												1								1
和 泉 湧 三													2							2
和 泉 湧 清													2							2
八 幡 郊 処														4						4
八 幡 竹 邨														1						1
津 金 雀 仙														20						20
上 條 信 山														1						1
高 浜 虚 子														1						1
三 井 親 和														1						1
下 条 康 磨 呂														1						1
太 田 谷 山														3						3
木 喰 上 人														3						3
武 井 吉 太 郎															9					9
小 口 作 太 郎															8					8
増 沢 莊 一 郎															38					38
張 懷 江															8					8
張 遠 帆															1					1
赤 壁 画 他																12				12
小 口 太 郎 エ ス キ ー ス																	1			1
作 者 不 詳																			8	8
計	69	1	7	90	3	2	15	19	311	56	4	1	8	35	74	12	1	8		716

2 考古関係資料

種 類	縄文時代	弥生時代	古墳時代以降	計
	点	点	点	点
土 器	1,706	759	2,543	5,008
土 製 品	1,136	95	579	1,810
石 器	16,043	465	33	16,541
金 属 器	0	9	853	862
レ プ リ カ	2	0	0	2
計	18,887	1,328	4,008	24,223

・八幡一郎関係資料

種 類	点 数	種 類	点 数	種 類	点 数
著 書	96	歴 史 一 般	92	美 術	26
考 古	121	遺 跡 地 図	48	雑 誌 類	132
民 族	154	辞 典 類	119	そ の 他	120
民 俗	60	報 告 書	56	計	1,024

3 民俗関係資料

種 類	点 数	種 類	点 数
衣 ・ 食 ・ 住	920	民 俗 知 識	88
生 産 生 業	381	民 俗 ・ 芸 能 ・ 娯 楽 ・ 遊 戯	87
交 通 ・ 運 輸 ・ 通 信	59	人 の 一 生 (通 過 儀 礼)	18
交 易	78	年 中 行 事	10
社 会 生 活	48	そ の 他	45
信 仰	12	計	1,746

⑥ 利用状況 (平成27年度)

1 全入館者数 (開館日数 299日) ※平成27年4月1日～平成28年3月31日

個 人		団 体		年間券 (販売数)	共通券	減 免 割 引 入 館 者	小中学生 等 無 料 入 館 者	入館者 合 計	入館料 合 計
高校生 以 上	小中学生	高校生以 上	小中学生						
人	人	人	人	人	人	人	人	人	円
1,777	19	72	0	430 (11)	339 (189)	1,693	6,086	10,416	1,012,300

⑦ 平成28年度 主要事業

事業名	事業概要	実施月日等
美術考古館 管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・美術考古館の管理運営 ・美術考古関係発刊図書の販売・ミュージアムグッズの販売 ・おみやミュージアムニュースの発刊 	年間
展示事業	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展示 <ul style="list-style-type: none"> 収蔵作品展Ⅰ「早出守雄展」 収蔵作品展Ⅱ 収蔵作品展Ⅲ ・交流ひろば展示 ・考古展示 <ul style="list-style-type: none"> 縄文時代から平安時代までの通史展示 国重要文化財顔面把手付深鉢形土器・岡谷市指定文化財壺を持つ妊婦土偶など 企画展示 顔のついた土器 	5月12日～7月11日 11月～12月 1月～2月 年間 6月～
企画展等開催 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「姉妹都市アーティスト展」 内尾和正展・伊東美和展 大竹夏紀展・つるし雛飾り ・特別企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「根岸芳郎展」 ・企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「岡谷市内小学校児童版画展」 	7月16日～9月11日 2月～3月 9月17日～11月6日 2月～3月
学習事業	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習スペースでの考古体験 ・美術・考古に気軽に触れるワークショップの開催 ・授業での展示室見学の際の展示解説などの学習支援 ・彫刻クリーニング及び講習会 	年間 7月2日
芸術品等 収集事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地元出身作家等の作品の収集 	年間
資料保存 活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・美術・考古資料の整理・保存・調査研究・活用 	年間

(6) ふれあい学習・公民館

① 重点目標

- 1 第5次岡谷市生涯学習推進計画に沿って活動を推進する。
- 2 地域課題や教育課題を明確にするとともに、市民の学習要望を察知し、学習内容や運営についてアイデアに富んだ催し・学級・講座・講演会等を開催する。
- 3 社会環境の変化に対応し、市民ニーズに応えうる学習情報・子育て情報の提供や相談事業を推進する。
- 4 学習グループの活動を支援し、学習成果を発表する機会や場の提供をするとともに、学んだ力の活かせるボランティア活動を支援する。
- 5 市民等の誰もが集いやすく「学（まなび）・芸（わざ）・和（なごみ）」の要素をもつ、安らぎと活気を感じる館を目指す。

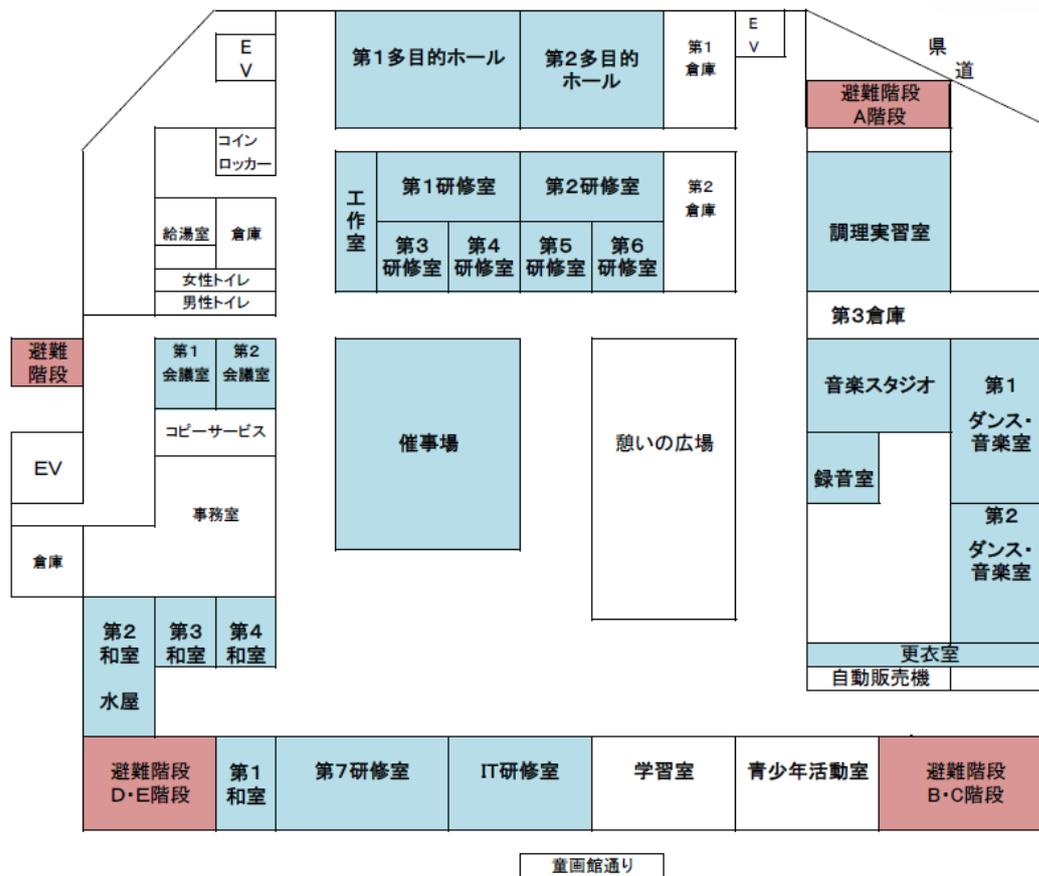
② 平成28年度重点施策

- 1 生涯学習館の管理・運営
- 2 生涯学習館での学級・講座の開催
- 3 公民館の管理・運営
- 4 公民館での学級・講座の開催

③ 施設

名 称	所在地 ・ 建物	開館年月日等
生涯学習館 (イルフプラザカルチャーセンター)	岡谷市中央町一丁目11番1号 イルフプラザ3階 3,705.76 m ²	平成15年3月21日開館
岡谷市湊公民館	岡谷市湊三丁目8番6号 鉄筋コンクリート2階建 585.77 m ²	昭和24年12月1日 湊村役場内にて開館 昭和55年1月4日 現在地にて開館
岡谷市川岸公民館	岡谷市川岸中三丁目1番29号 鉄筋コンクリート2階建 733.60 m ²	昭和23年4月11日 村の家として使用してきたものを公民館として開館 昭和53年4月1日現在地にて開館
岡谷市長地公民館	岡谷市長地柴宮二丁目15番26号 鉄筋コンクリート2階建 812.91 m ²	昭和24年12月 長地村役場内にて開館 昭和56年4月1日 現在地にて開館

生涯学習館(イルプラザカルチャーセンター)案内図



④ 利用案内

1 生涯学習館

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時30分
- (2) 休館日 毎月第2火曜日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
- (3) 使用料

使用区分		午前9時から午後9時30分まで1時間につき	
		非営利	営利
生涯学習館	第1研修室 第2研修室	円 150	円 450
	第3研修室 第4研修室	円 100	円 300
	第5研修室 第6研修室		
	第7研修室	円 260	円 780
	第1多目的ホール	円 410	円 1,230
	第2多目的ホール	円 260	円 780
	調理実習室	円 510	円 1,530
	第1和室	円 260	円 780
	第2和室	円 210	円 630
	第3和室 第4和室	円 150	円 450
	第1ダンス・音楽室	円 620	円 1,860

	第2ダンス・音楽室		
	音楽スタジオ	210	630
	工作室	150	450
	第1会議室 第2会議室	100	300
	IT研修室	260	780
	催事場	870	2,610
備考	<p>1 冷房及び暖房の設備並びに調理実習室において各テーブルの電気、ガス及び水道を使用した場合は、上記使用料のほか実費相当額を徴収する。</p> <p>2 催事場の半面を使用するときの使用料は、その使用料の2分の1の額とする。</p> <p>3 営利とは、使用者が入場料若しくは受講料金を徴収する場合又は営利目的で使用する場合をいい、非営利とは、営利以外の使用をいう。</p> <p>4 使用料の還付は以下のとおりとする。</p> <p>(1)使用者の責めによらない理由で使用できなくなったとき。100分の100。</p> <p>(2)使用期日20日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の100。</p> <p>(3)使用期日10日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の50。</p> <p>(4)上記のほか、特別な理由があるとき。市長がその都度定める額。</p>		

2 公民館

(1) 開館時間 午前8時30分～午後9時30分（土・日は午前8時30分～午後5時）

(2) 休館日 国民の祝日に関する法律に規定する休日、
年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

(3) 使用料

	午前8時30分から午後9時30分まで1時間につき (円)
岡谷市湊公民館	実習室 150 会議室 260 学習室 310 和室 100 講堂 620
岡谷市川岸公民館	講義室 150 実習室 210 第一会議室 210 第二会議室 150 学習室 310 和室 100 講堂 820
岡谷市長地公民館	講義室 210 実習室 260 第一会議室 260 第二会議室 310 学習室 410 和室 150 講堂 870
備考	<p>1 暖房の燃料を使用し、及び実習室を使用して料理のため電気、ガス又は水道を使用した場合は、上記使用料のほか実費相当額を徴収する。</p> <p>2 使用料の還付は以下のとおりとする。</p> <p>(1)使用者の責めによらない理由で使用できなくなったとき。100分の100。</p> <p>(2)使用期日20日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の100。</p> <p>(3)使用期日10日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の50。</p> <p>(4)上記のほか、特別な理由があるとき。市長がその都度定める額。</p>

⑤ 利用状況（平成27年度）

1 生涯学習館

	生涯学習館主催	学習団体	市役所関係	営利団体	非営利団体	その他	合計
件数	635	3,054	278	2,009	2,721	889	9,586
人数	10,454	30,233	4,383	20,220	27,378	14,419	107,087

2 湊公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	114	350	109	30	60	663
人数	3,266	2,575	3,083	1,309	872	11,105

3 川岸公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	178	504	98	82	88	950
人数	4,697	4,383	1,459	3,733	1,538	15,810

4 長地公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	129	1,361	143	27	480	2,140
人数	7,148	16,031	3,333	673	6,769	33,954

⑥ 生涯学習館・公民館の事業（平成28年度）

	事業名	事業内容	期間	備考
乳幼児の育成	輝く子育て支援学級	乳幼児を持つ父母・祖父母等が子育てについて学び、仲間づくりを行う。	5月～12月	各館16回
	保育園・幼稚園家庭教育学級	保育園・幼稚園児を持つ父母・祖父母等が子どもの健全育成について学ぶ。	4月～3月	各園で2回以上
児童の健全育成	小学校家庭教育学級	小学生を持つ父母・祖父母等が子どもの健全育成について学ぶ。	4月～3月	各校で2回以上
	子ども学級	小中学生が自然体験、地域体験等を行うなかで、学び、仲間づくりを行う。	5月～2月	各館2～6回

	おとうさん講座	育児世代の父親の、楽しく、肩肘張らない育児参加を促進する。	8月	1回 生涯学習館
	世代間交流講座	異なった世代を対象に、文化の伝承等を通じて世代間の交流を図る。	5月～3月	各館1～2回
成人の学習	季節の教養講座	幅広い年齢層に、時宜に応じた魅力ある講座への参加を促すことにより、自発的な生涯学習活動の進展に資する。	5月～3月	年4期 生涯学習館
	青年層向け講座 (ヤングカレッジ)	概ね18歳～40歳の方が、仕事に活かせる知識・技術の習得、または生活に役立つ趣味・特技の充実を図る。	9月～3月	2回 生涯学習館
	おかや知っ得 スクール	主に岡谷市への転入者が、市勢・市内各施設等を知って転入後の生活に役立てるとともに、仲間づくりを行う。	7月～8月	4回 生涯学習館
	生活講座等	生活に密着した知識や技術を学習し快適な生活づくりに役立てる。	随時	1～3回 公民館
	市民大学 ともまなび講座	各回の講座を通じてひとつのテーマを設け、参加者がともに学びあい、知識を深めていく場とする。	6月～11月	5回 生涯学習館
	生涯学習大学	大学の先生や専門家等を招き、関心の高いテーマに対して、やや高度なレベルの内容について学ぶ。	2, 3月	2回 生涯学習館
高齢者の学習	いちい学級	社会生活における高齢者の在り方、熟年を迎えての生きがいについて学習するとともに新たな時代感覚を磨き健康で好ましい人間関係を醸成する。	5月～11月	各館16回
読書活動	読書活動の推進	市立図書館から遠い地区の児童等が公民館図書室を利用することで読書の推進を図る。	通年	公民館
人権教育	人権学習等	人権感覚を磨くとともにあらゆる差別をなくす実践力を培う。	通年	各学級に取り入れる
共催事業	共催事業	学習グループや活動団体等と共催事業を行うことにより市民参画の場と機会をつくり、学びの広場を広げる。	通年	各館

学習成果の発表	ホリデイスクエア事業	施設の活性化とともに学習グループ、各種活動団体に発表の場と市民交流の場を提供する。	通年	生涯学習館
	ロビー展	各学習グループ、一般市民の学習の成果の発表の場を提供し学習意欲の向上を図る。	通年	生涯学習館
	文化祭	学習成果の発表の機会として作品展部門、音楽芸能祭部門に関する芸術文化の振興を図るとともに、市民の連携と融和を図る。	10月～11月	各館1回
ボランティア育成	生涯学習活動及びボランティア活性化推進と活用	市民参画型・ボランティア育成型の講座により新しい学習形式を創出し、参加型の学習手法を生かした講座作りを推進し活用を図る。	通年	生涯学習館
学習グループの育成	学習グループの育成	各種学級・講座から発足したグループを育成し、学習活動への参加をとおしてグループ相互の交流を図る。	通年	各館
分館活動	分館活動育成	地域に密着した公民館として、各分館に対し活動への助言等を行い育成を図る。	通年	公民館
広報	広報活動	インターネット等も活用し、館の活動について広く市民に知らせる。	通年	各館

通学合宿	平日に学校が終わって自宅に帰るのではなく、施設で年齢の異なる子どもたちが一緒に生活体験をすることにより、仲間づくりや人とのふれあいを深める。	9月29日(木)～10月1日(土) 塩嶺野外活動センター
少年スポーツ大会	中学生が地区別対抗のスポーツ大会を通して、地域の友達とかかわり、仲間意識を養う。	11月6日(日) 市民総合体育館
リーダーズ倶楽部	中高生のボランティアグループとして、野外体験活動、奉仕活動などを通して、リーダーとしての自己研鑽、資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「わんぱくアドベンチャー」「通学合宿」の企画・運営参加 ・「夏休み子ども交流事業」への協力参加 ・県外施設研修 ・塩嶺野外活動センターの清掃奉仕活動 ・クリスマス会、新スタッフ研修会 ・各地区行事への協力
地域リーダー育成研修会	子どもの手による子ども会づくりに向けて、行事の一つを企画段階から子どもたちに任せてみるなど、地域の子どもの会の育成者を養成する。	通年 各地区子ども会育成会

3 夏休み子ども交流事業

姉妹都市の東伊豆町と岡谷市の小学5・6年生が、自然体験や野外活動を通して交流し、両市町の絆を深めるとともに、子どもたちの協調性、人間性を養う。

平成21年度より隔年で行き来している。昨年度は、東伊豆町の小学5年生を受け入れ、岡谷市子ども会育成連絡協議会の協力を得て、塩嶺野外活動センター、やまびこスケートの森等で交流をした。

- ・期 日 8月2日(火)～3日(水)
- ・場 所 静岡県東伊豆町
- ・内 容 アニマルキングダム(複合型レジャーランド)や磯での交流、風車見学等
- ・参加者 市内の小学5・6年生、東伊豆町小学5年生
- ・協力参加：岡谷市リーダーズ倶楽部

4 岡谷市少年愛護センター

- (1) 青少年の健全育成及び非行防止を図るため、教育委員会生涯学習活動センターに設置。
- (2) 市長から委嘱された88名の少年愛護委員が市街地等をパトロールして、少年の非行防止や環境浄化活動を行っている。
- (3) 平成27年度の愛護パトロール活動状況

実施日数				従事した愛護委員人数				補導した少年の延べ人数
午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	
6日	15日	107日	128日	16人	45人	304人	365人	47人

5 岡谷市青少年問題協議会

岡谷市青少年問題協議会条例に基づき、青少年の補導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議することや、総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関及び関係団体相互の連絡調整を図ることを目的として設置している。

(1) 岡谷市青少年問題協議会推進方針（抜粋）

第4次岡谷市総合計画 後期重点プロジェクト「輝く子どもの育成」を基本とし、「おかや子育て憲章」の理念に則り推進する。

(2) プロジェクト推進のための施策

ア・子育て土壌づくりの支援

- ①地域とともに支える子育ての推進
- ②親子のふれあい機会の充実
- ③相談・支援サービスの充実

イ・地域における健全な環境づくり

- ①環境浄化の推進
- ②非行防止活動の推進
- ③学童クラブの充実と子どもの居場所づくりの推進

ウ・青少年活動の推進

- ①青少年活動の育成支援
- ②活動の場の充実
- ③社会参加の促進
- ④文化活動の促進支援
- ⑤国際理解の醸成
- ⑥指導者の養成

○岡谷市青少年問題協議会委員名簿（任期：平成27年6月1日～平成29年5月31日）

(1) 会長 教育長 岩本 博行 副会長 少年愛護協議会会長 笠原大洋

(2) 委員

ア・関係行政機関の職員

氏 名	団 体 名 等	備 考
渡邊 克彦	諏訪公共職業安定所岡谷出張所	所長
松本 徹	岡谷警察署 生活安全課	課長
柳沢 秀信	諏訪地方事務所 地域政策課	課長
藤沢 広信	諏訪児童相談所	所長
岩本 博行	岡谷市教育委員会	教育長
濱 道夫	岡谷市社会教育委員の会	会長
丸山 和夫	岡谷市子ども総合相談センター	センター長

イ・学識経験者

氏 名	団 体 名 等	備 考
林 嘉宏	岡谷市区長会	橋原区
原 宏	岡谷地区保護司会	
林 清子	岡谷市民生児童委員協議会	
古屋 博康	岡谷市社会福祉協議会	
横林 智子	小学校校長会	長地小学校
両角 徹生	中学校校長会	岡谷南部中学校
北野 亨	高校校長代表	岡谷東高等学校
片倉 俊幸	小学校PTA連合会	川岸小学校
古林 史基	中学校PTA連合会	岡谷東部中学校
林 蔵人	高校PTA	岡谷東高等学校
宮入 重人	岡谷市子ども会育成連絡協議会	
五味 利恵子	岡谷市女性団体連絡協議会	
笠原 大洋	岡谷市少年愛護協議会	
関島 良治	岡谷市地域子（己）育てサポーター連絡協議会	
鮎澤 憲通	（公財）岡谷市体育協会	
小口 啓子	岡谷市更生保護女性会	
城口 保雄	岡谷少年警察ボランティア協会	
柏原 明彦	岡谷市労務対策協議会	
中澤 拓雄	岡谷市保育園保護者会連合会	
川瀬 勝敏	児童養護施設 つつじが丘学園	

6 岡谷市塩嶺野外活動センター

市内の児童・生徒が、自然環境の中で野外活動・宿泊活動を通じて、豊かな情操と心身の健全育成を図るための生涯学習施設として運営している。また、キャンプ場やマレットゴルフコースなどは、一般市民や市外、県外からの利用者も多く、自然に親しむことで心身のリフレッシュを図るレクリエーション施設としても利用されている。

施設概要

名 称	岡谷市塩嶺野外活動センター (開設期間：5月1日～10月31日)	
位 置	岡谷市横川山 10016 番地 1	TEL23-8028
概 要	着工：昭和56年2月 竣工：昭和56年7月 (シャワー棟 着工：平成3年5月1日、竣工：平成3年7月2日)	
構造及び 使用区分	センターハウス	構造 鉄筋コンクリート造り2階建 1階 事務室、ホール、広間、和室、管理人室、炊事室、物置、便所(男・女) 2階 広間1、和室2、物置、便所(男・女) シャワー棟 鉄筋コンクリート造り平屋建
	炊事場	構造 木造平屋建
	屋外便所	構造 木造平屋建2棟
	その他	キャンプ場、広場、マレットゴルフコース18ホール
床面積	センターハウス	1階 280㎡ 2階 280㎡ 計 560㎡ シャワー棟 36㎡ 機械室 6.38㎡
	炊事場	48.60㎡
	屋外便所	29.64㎡
	倉庫	32.40㎡

区 分		市内高校生 以下	市外高校生 以下	市内 一般	市外 一般
センターハウス使用料	1人日帰り	無 料	210円	310円	510円
	1人1泊	無 料	1,540円	1,540円	2,060円
キャンプ場 使用料	日帰りキャンプ	1日	510円(10人まで)		
	宿泊キャンプ	1泊1張	770円		
	※日帰りキャンプで、10人を超えて使用する場合は、10人増すごとに510円を加算する。 ※貸出用テントを使用する場合は、上記金額にそれぞれ1張770円を加算する。				
シート等使用実費		1人	210円		
シャワー使用実費		1回	100円		

5. スポーツ振興課

(1) スポーツ振興基本方針

■ 『スポーツスローガン』

親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとつづくり

岡谷市教育大綱の教育理念のもと、岡谷市スポーツ推進計画に基づき、子どもから大人まですべての市民がスポーツを好きになり、生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツを通じて地域が一体化し、活気溢れるまちづくりを推進します。

また、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、市民ひとり1スポーツの実現に努めるとともに、子どものスポーツ機会の充実を図り、成長期に合わせた効果的な施策の展開により、たくましい心と体を育みます。



■ 「スポーツ 5つの重点」

1 市民ひとり1スポーツの実現

- ・市民のライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ団体等と連携しながら、各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図ります。
- ・適切な指導ができる指導者の養成に努めるなど、スポーツの安全確保に努めます。

2 競技力の向上

- ・全国大会等の誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。
- ・全国的な舞台で活躍できる選手の育成支援、並びに、スポーツ指導者の養成を推進します。

3 子どものスポーツ機会の充実

- ・学校体育活動の充実をはじめ、成長期に合わせた体力向上策を推進します。
- ・スポーツを行うきっかけづくりのため、多様なスポーツ機会の充実を図ります。

4 スポーツによるまちづくり

- ・恵まれた施設や環境を活用し、スポーツを通じた地域交流や人材育成を推進します。
- ・スケート、バレーボールによるまちづくりの推進と、エースドッジボールの普及促進を図ります。

5 スポーツ環境の整備・充実

- ・安全で快適なスポーツ活動に取り組めるスポーツ環境の整備、充実に努めます。
- ・市有施設の効率的な管理と有効活用の推進、情報提供に努めます。

岡谷市スポーツ推進計画基本理念

スポーツ大好き いきいき おかや

平成28年度岡谷市教育委員会
スポーツの重点項目

- ・ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ・成長に応じた子どものスポーツ機会の充実
- ・国体開催によるまちづくりの推進
- ・安全快適なスポーツ施設の管理・整備

(2) スポーツ施設

① 市営岡谷球場

岡谷市神明町一丁目1番1号 電話 22-2893

昭和24.8 建設

昭和44.5 スタンド全面改修、昭和61.9 夜間照明装置設置、平成15.3 フェンス・サブスタンド改修、

平成16.3 スコアボード・バックスクリーン改修、平成17.3 駐車場等舗装、平成25.12 法面等災害復旧工事

総面積 37,917㎡ (グラウンド 15,141㎡、両翼 92m、センター 122m)

使用時間 午前5時～午後9時30分 休場日 無し

区 分		使用料		付属設備		
専用使用	入場料を徴収する場合	1時間	7,750円	照明施設	記者席	
	入場料を徴収しない場合	全面使用	1時間	1,240円	管理事務室	トイレ
		半面使用	1時間	620円	会議室	電光掲示板
夜間照明		使用した電気料の実費相当額		器材室	放送設備	
電光掲示板		一式1回	2,060円	更衣室		
放送施設		一式1回	2,060円	役員室		
野球用具		一件1回	100円	審判席		

② 岡谷市営庭球場

岡谷市南宮三丁目9554番地1 電話 22-8800

昭和60.11 建設

平成8.3 夜間照明装置設置、平成17.3 砂入人工芝コート2面改修、平成17.6 砂入人工芝コート4面改修

総面積 8,779.7㎡、コート12面 (砂入人工芝コート6面、クレイコート6面)

使用時間 午前8時30分～午後9時30分 休場日 12月29日～翌年1月3日

区 分		使用料		付属設備	
		一 般	小中学生		
専用使用	コート1面使用	1時間	770円	照明施設	ネット庫
個人使用	1人2時間	210円	100円	管理棟	放送設備
	回数券(11枚綴り)	2,100円	1,000円	本部席棟	
	通年使用券	10,500円	4,100円	更衣室	
夜間照明		使用した電気料の実費相当額		トイレ	

③ 岡谷市民湖畔広場

岡谷市湖畔四丁目10020番地11先

昭和61.8 建設

総面積 18,260㎡

使用時間 午前5時～午後7時30分 休場日 無し

区 分		使用料		付属設備	
専用使用	全面使用	1時間	820円	物置	
	半面使用	1時間	410円	バックネット	
体育用具		1件1回	100円		

④ 岡谷市民川岸スポーツ広場

岡谷市川岸上三丁目1945番地14

昭和55.10 建設、平成9.3 改修

総面積 11,286.55㎡

使用時間 午前5時～午後9時30分 休場日 無し

区 分		使用料		付属設備	
専用使用	全面使用	1時間	920円	物置	
	半面使用	1時間	460円	バックネット	
夜間照明		使用した電気料の実費相当額		照明施設	
体育用具		1件1回	100円	トイレ	

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター（屋外400mリンク）

岡谷市4769番地14 電話 24-5210

平成5.3 着工、平成6.9 竣工、建設費 27億6,349万円

総面積 148,724.84㎡

休場期間：2月16日から11月22日まで

使用時間（個人）午前6時～午後9時（専用）午前6時～午後11時 休場日 無し

主施設	国際公認400mパイピングリンク、観覧席（1,000席）
	選手控室（プレハブ平屋建 123.84㎡/H13.8）
	管理棟（鉄筋コンクリート造2階建 1,921.69㎡） 1階：事務室、ホール、休憩室、ロッカー室、更衣室、貸靴室、乾燥室、トイレ、機械室、倉庫、 作業員控室、救護室、厨房、選手控室 2階：研究室、ミーティングルーム、トレーニング室、計測室、リラックス&ケアルーム、 トイレ、検診室、ロビー、更衣室、シャワー室、機械室
	放送記録棟（鉄筋コンクリート造2階建 150㎡） 1階：倉庫 2階：放送室、記録室、役員室、トイレ
	機械棟（鉄筋コンクリート造平屋建 633㎡） 機械室（冷凍機10基）、電気室、氷上整備車庫、控室

区 分		個人使用料		
		一 般	高 校 生	中学生以下
専用使用		1時間 26,230円		
滑走券	1回券(共通券)	1,050円	840円	420円
	回数券(6枚綴)	5,250円	4,200円	2,100円
	シーズン券	26,250円	21,000円	10,500円
入場券	1回券(共通券)	210円		
	回数券(6枚綴)	1,050円		
	シーズン券	5,250円		
コインロッカー		1回 100円		
貸靴		1回 520円		

⑥ 岡谷市学校体育施設

区 分	使用料
大体育館	1時間 420円
小体育館	1時間 210円
格技室	1時間 260円
校庭	1時間 420円
照明施設	使用した電気料の実費相当額

⑦ 岡谷市民総合体育館

岡谷市南宮三丁目2番1号 電話 22-8800

西体育館：平成9.12 着工、平成11.3 竣工、建設費 11億5,963万円

延床面積 4,617.1㎡

東体育館：昭和49.7 着工、昭和50.3 竣工、平成11.8 改修、平成24.2 屋根・外壁改修、床の張替、管理棟の耐震工事

延床面積 4,322.47㎡

使用時間 午前9時～午後9時30分

休館日：第2・第4木曜日（この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは翌日）、12月29日から翌年1月3日まで（その他、岡谷市教育委員会が必要と認める場合）

主施設	西体育館 (スワン ドーム)	体育室 (42m×38m=1,596㎡) エースドッジボール 2面、バドミントン 8面、インディアカ 8面、バレーボール 3面、 バスケットボール 2面、テニス 2面、卓球 24面、体操 各種
		ランニングコース、事務室、会議室、ミーティングルーム、大会運営室、医務室、 応接室、男女ロッカールーム、トイレ、観覧席 (824席)、ロールバック移動席 (792席)
	東体育館	体育室 (38m×30m=1,140㎡) エースドッジボール 2面、バドミントン 6面、インディアカ 6面、バレーボール 2面、 バスケットボール 2面、テニス 1面、卓球 20面、フットサル2面、体操 各種
		柔道場 1面、剣道場 1面、弓道場 6人立、トレーニング室、幼児体育室、会議室、 クラブ室、応接室、男女更衣室、トイレ、器具室、観覧席 (360席)

区 分			使用料 (2時間)	
専用使用	西体育館	入場料等を徴収しない場合	体育に使用する場合	3,680円
			その他の場合	7,360円
		入場料等を徴収する場合	体育に使用する場合	7,360円
			その他の場合	14,720円
	営利、営業を目的として使用する場合		55,200円	
	東体育館	入場料等を徴収しない場合	体育に使用する場合	3,120円
			その他の場合	6,240円
		入場料等を徴収する場合	体育に使用する場合	6,240円
			その他の場合	12,480円
	営利、営業を目的として使用する場合		46,800円	
柔道場、剣道場、弓道場		1,040円		
第1会議室、第2会議室、第3会議室		420円		
移動式バスケットゴール			1台1回	100円
電光掲示板			一式1回	1,030円
フロアシート			一式1回	510円
音響設備			一式1回	510円
体育用具			1セット1回	100円

区 分		使用料	
		一 般	小中学生
個人使用	1人2時間	210円	100円
	回数券(11枚綴り)	2,100円	1,000円

⑧ 岡谷市民水泳プール

岡谷市南宮三丁目2番1号 電話 23-6820

昭和55.9 着工、昭和56.3 竣工

平成15.6 幼児用変形プール改修・同ハッチサッシ改修、平成16.1 ソーラーシステム廃止

平成16.3 ろ過機制御盤改修（全自動化）、プールサイド・更衣室床等の改修（防滑塩ビシート化）

平成22.2 内部改修・サッシ改修、平成22.3 外壁断熱改修・太陽光発電装置設置

平成23.3 ろ過機ろ材入替、平成25.1給湯配管改修・暖房ボイラー入替

延床面積 2,940.8㎡(1階 2,233.72㎡、2階 707.08㎡)

使用時間 7月～8月 午前9時～午後8時30分

9月～6月 午後1時～午後8時30分

休館日：毎週木曜日（この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは翌日）、

12月29日から翌年1月3日まで（その他、岡谷市教育委員会が必要と認める場合）

岡谷市民屋外水泳プールは、平成21年8月31日をもって閉鎖した。

主施設	25m競泳プール 25m×19m（水深115cm～125cm、9コース、日本水泳連盟公認）
	幼児プール 7m×12m（水深40cm～43cm）
	徒歩プール 12m×10m（水深60cm～63cm）
	スライダープール（水深70cm～80cm）
	幼児用変形プール（水深70cm）

区 分		一 般	小中学生
専用使用	1コース使用	1時間 2,060円	
個人使用	1人1回	460円	260円
	回数券(11枚綴り)	4,600円	2,600円

⑨ 岡谷市やまびこアリーナ

岡谷市4769番地14 電話 24-2494

平成6.6.30 竣工、建設費 約17億円

総面積 148,724.84㎡、床面積 5,120.15㎡（1階 3,763.94㎡、2階 1,356.21㎡）

平成8.12.26 建物等を㈱やまびこスケートの森から取得（約16億4,000万円）し、管理を開始

（岡谷市やまびこアリーナ管理規則による）

主施設	国際公認リンク（30m×60m）、マルチビジョン表示システム
	1階:スケートリンク、事務室、ホール、ラウンジ、貸靴室、売店、ゲストルーム、医務室、スタッフルーム、選手控室、採暖室、ロッカー室、観覧席（400席）、トイレ、機械室、器具庫、氷上整備車 2階:CPUルーム、フィットネススタジオ、ミーティングルーム、更衣室、観覧席（400席）、トイレ、ランニングコース、電気室

⑩ 岡谷市営陸上競技場

岡谷市長地柴宮一丁目9番13号（岡谷東部中学校校庭）

昭和43.10 建設

総面積 13,521㎡

日本陸上競技連盟第4種公認300mトラック（H24.10.10～H29.10.9）、付属設備 物置

⑪ 岡谷射撃場

岡谷市神明町一丁目1番1号

昭和37.4 建設、昭和62 全面改修

総面積 6,445㎡、エアライフル、スモールボアライフル（バップル式）兼古式鉄砲 10射台

岡谷市営射撃場は平成20年度で廃止し、平成21年度から長野県ライフル射撃協会へ無償貸付している。

(4) 体育関係団体等

① 岡谷市スポーツ推進委員

(委員長：有賀 裕信 副委員長：古畑 正文、佐藤 智代美)

氏名	就任年月日	任期	得意種目
有賀 裕信	昭和52. 11. 1	平成30. 3. 31	柔道・レクリエーション
古畑 正文	平成24. 4. 1	平成30. 3. 31	バレーボール・トレッキング
小口 道代	平成16. 4. 1	平成30. 3. 31	レクリエーション
佐藤 智代美	平成20. 4. 1	平成30. 3. 31	バレーボール
沖中 美恵子	平成24. 4. 1	平成30. 3. 31	ウォーキング・エースドッジボール
花岡 ひとみ	平成24. 4. 1	平成30. 3. 31	ソフトテニス
今井 美恵子	平成26. 4. 1	平成30. 3. 31	エースドッジボール
田中 仁之	平成26. 4. 1	平成30. 3. 31	ソフトテニス
柴田 晴美	平成26. 4. 1	平成30. 3. 31	バレーボール
清水 身江子	平成28. 4. 1	平成30. 3. 31	バドミントン
赤池 高	平成28. 4. 1	平成30. 3. 31	陸上競技
武居 健二	平成28. 4. 1	平成30. 3. 31	野球・綱引き
神田 佳宏	平成28. 4. 1	平成30. 3. 31	バスケットボール

② 体育団体

名称	代表者氏名	構成団体	備考
公益財団法人岡谷市体育協会	千代 馨脩	4 6 団体	競技団体33、区体協10、地区体協3
岡谷市スポーツ少年団	高林 順三	1 1 団体	野球5、剣道1、バレーボール3 空手1、ソフトテニス 1

(5) 平成28年度スポーツ教室

① スポーツ教室

○少年スポーツ教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
バスケットボール	小3～小6	4～6月	岡谷田中小学校	8回	50人
バレーボール	小1～小6	4～7月	岡谷田中小学校	8回	50人
テニス	小2～中3	5～7月	市営庭球場	8回	40人
剣道	小1～中3	5～7月	市民総合体育館	8回	40人
水泳	小1～小3	5～6月	市民屋内水泳プール	8回	40人
		6～7月		8回	40人
ソフトテニス	小4～中3	8月	市営庭球場	8回	40人
バドミントン	小4～中3	9～10月	市民総合体育館	8回	30人
新体操	小1～中3	11～12月	市民総合体育館	5回	30人
フットサル	小1～小6	1～2月	市民総合体育館	8回	30人
計					390人

○女性スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員
ヨガ	9～10月	市民総合体育館 2 B 会議室	8回	20人
エアロビクス	1～3月	市民総合体育館 2 B 会議室	8回	20人
計				40人

○一般スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員
ゴルフ	5～7月	ゴルフセンター小坂田の森	10回	22人

○市民全般スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員
柔道	6月	市民総合体育館柔道場	8回	40人
卓球	9～11月	市民総合体育館	8回	30人
ソフトバレーボール	12～2月	市民総合体育館	8回	40人
ボウリング	1～2月	スポーツ岡谷	5回	35人
計				145人

○託児付きスポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員
第1回 エアロビクス	5～6月	市民総合体育館	8回	20人
第2回 テニス	9～11月	市営庭球場	8回	20人
第3回 ヨガ	1～3月	市民総合体育館	8回	20人
計				60人

② おかや小学生体育塾

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
前期 (2クラス)	小1～小3	5～9月	やまびこ国際スケートセンター他	各8回	各25人
後期 (2クラス)	小1～小6	10～2月		各8回	各25人
計					100人

③ ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室	小4～中3	11～2月	市民総合体育館他	15回	20人

④ おかやファミリースポーツプログラム

教室名	対象(親子)	開催期間	会場	回数	定員
親子でバスケット体験	小1～小6	6月12日	市民総合体育館	1回	親子50組
親子でサッカー体験	年長～小6	7月10日	湖畔広場	1回	親子50組
親子でナイター野球体験	小1～小6	8月5日	市営岡谷球場	1回	親子50組
親子でソフトバレー体験	小1～小6	1月28日	市民総合体育館	1回	親子50組
計					親子200組

⑤ スケート教室

○多種目スケート教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
小中学生フィギュアスケート教室	小1～中3	10～11月	やまびこアリーナ	4回	35人
小中学生アイスホッケー教室	小1～中3	10～11月	やまびこアリーナ	2回	50人
初級・中級者対象スピードスケート教室	小1～小6	10～11月	やまびこアリーナ	4回	50人
カーリング教室	市民全般	11～1月	やまびこアリーナ	3回	40人
計					175人

○おかやスピードスケートトータルサポートクラブ

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員
初心者～上級者コース	小1～小6	7～2月	やまびこ国際スケートセンター 他	36回	60人
アスリートコース	小4～中3	6～2月	やまびこ国際スケートセンター 他	56回	20人
計					80人

⑥ 親子で氷上運動会

教室名	対象(親子)	開催期間	会場	回数	定員
親子で氷上運動会	年少～小3	11月上旬	やまびこアリーナ	1回	親子50組
計					親子50組

(6) 体育施設の月別利用状況 (平成27年度)

① 市営岡谷球場

区 分	専用使用		野 球	照明施設		放送設備	用 具
	全 面	半 面		ソフトボール			
				全 面	半 面		
4月	36.0 h	0.0 h	26.0 h	0.0 h	0.0 h	0 件	0 件
5月	117.0	0.0	20.0	0.0	0.0	2	0
6月	56.0	8.0	20.0	0.0	0.0	0	0
7月	15.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0	0
8月	218.0	0.0	10.0	0.0	0.0	4	0
9月	39.0	0.0	16.0	3.0	0.0	0	0
10月	27.0	6.0	0.0	0.0	0.0	2	0
11月	169.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10	0
12月	0.0	0.0	0.0	38.0	0.0	0	0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
27年度	677.0	14.0	98.0	41.0	0.0	18	0
26年度	632.0	10.0	119.0	53.0	0.0	19	0

② 岡谷市営庭球場

区 分	専用使用	個人使用			通年使用	
		小中学生	一 般	市内小中口無料)	小中学生	一 般
4月	722.0 h	31 人	261 人	95 人	4 件	175 件
5月	676.0	46	526	126	0	8
6月	699.0	25	290	87	2	0
7月	437.0	28	329	161	0	1
8月	428.0	48	379	65	0	0
9月	884.0	34	271	71	0	0
10月	722.0	25	349	127	0	0
11月	503.0	21	335	58	0	1
12月	94.0	5	186	30	0	0
1月	0.0	8	89	2	0	0
2月	0.0	6	64	5	0	0
3月	0.0	63	259	107	0	0
27年度	5,165.0	340	3,338	934	6	185
26年度	4,356.0	296	3,325	786	0	199

③ 岡谷市民湖畔広場

区 分	専用使用		用 具
	全 面	半 面	
4月	88.0 h	144.0 h	0 件
5月	53.0	55.0	0
6月	30.0	67.0	0
7月	54.0	71.0	0
8月	37.0	65.0	0
9月	88.0	48.0	0
10月	39.0	36.0	0
11月	8.0	4.0	0
12月	0.0	0.0	0
1月	0.0	0.0	0
2月	0.0	1.0	0
3月	0.0	6.0	0
27年度	397.0	497.0	0
26年度	265.0	453.0	4

④ 岡谷市民川岸スポーツ広場

区 分	専用使用		照明施設			用 具
	全 面	半 面	ソフト全面	ソフト半面	サッカー	
4月	389.0 h	5.0 h	0.0 h	0.0 h	3.0 h	0 件
5月	27.0	10.0	0.0	0.0	7.0	0
6月	288.0	16.0	0.0	0.0	2.0	0
7月	289.0	24.0	0.0	0.0	2.0	0
8月	259.0	21.0	0.0	0.0	42.0	0
9月	241.0	11.0	0.0	0.0	5.0	0
10月	316.0	25.0	0.0	0.0	3.0	0
11月	247.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
12月	165.0	0.0	28.0	0.0	0.0	0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	42.0	0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
27年度	2,221.0	112.0	28.0	0.0	106.0	0
26年度	588.8	70.0	47.0	0.0	156.0	4

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター（屋外400mリンク）

区 分	開場日数	大人	高校生	中学生以下	学校授業		入場者	大 会 合宿等	計
					市内	市外			
11月	10	200	33	674	0	0	328	2,223	3,458
12月	31	848	186	2,868	1,645	0	1,293	1,969	8,809
1月	31	1,029	142	2,432	2,084	435	1,113	1,393	8,628
2月	14	387	63	1,077	902	223	440	1,704	4,796
27年度	86	2,464	424	7,051	4,631	658	3,174	7,289	25,691
26年度	86	1,972	425	5,437	4,825	688	2,526	8,412	24,285

⑥ 岡谷市学校体育施設

区 分	体育館		校 庭	
	専用使用	照明施設	専用使用	照明施設
小学校	7,831.0 h	7,831.0 h	5,127.5 h	597.0 h
岡谷小	1,317.0	1,317.0	372.0	
神明小	923.5	923.5	535.0	131.0
小井川小	848.0	848.0	585.5	140.0
田中小	1,062.5	1,062.5	698.0	
湊小	587.0	587.0	556.0	
川岸小	1,164.5	1,164.5	513.0	
長地小	882.5	882.5	1,143.0	326.0
上の原小	1,046.0	1,046.0	725.0	
中学校	3,895.0 h	3,895.0 h	19.0 h	
岡谷北部中	1,437.0	1,437.0	9.0	
岡谷南部中	1,475.0	1,475.0	0.0	
岡谷東部中	375.0	375.0	10.0	
岡谷西部中	608.0	608.0	0.0	
27年度	11,726.0	11,726.0	5,146.5	597.0
26年度	12,883.5	12,883.5	5,181.0	659.5

⑦ 岡谷市民総合体育館

区 分	専用使用		個人使用				回数券使用			使用者数 合計
	件数	人数	小中学生	一般	無料	合計	小中学生	一般	合計	
バレーボール	235	4,354	10	99	23	132	0	0	0	4,486
ソフトバレーボール	643	6,224	16	143	11	170	0	0	0	6,394
バスケットボール	210	2,398	268	925	870	2,063	0	0	0	4,461
バドミントン	831	10,042	178	1,413	410	2,001	0	0	0	12,043
エースドッジボール	8	85	0	4	8	12	0	0	0	97
卓球	523	8,857	79	463	277	819	0	0	0	9,676
テニス	54	714	0	197	1	198	0	0	0	912
ソフトテニス	85	1,755	2	149	33	184	0	0	0	1,939
ヨガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新体操	56	1,707	0	0	0	0	0	0	0	1,707
太極拳	75	598	0	0	0	0	0	0	0	598
体操	144	2,123	0	0	0	0	0	0	0	2,123
吹き矢	25	262	0	0	0	0	0	0	0	262
ダンス	728	11,775	0	78	11	89	0	0	0	11,864
エアロビクス	38	380	0	0	0	0	0	0	0	380
ピラティス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インディアカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柔道	90	1,860	7	55	68	130	0	0	0	1,990
剣道	238	5,802	8	40	27	75	0	0	0	5,877
空手	168	3,611	0	26	0	26	0	0	0	3,637
合気道	93	1,920	0	25	3	28	0	0	0	1,948
弓道	341	4,825	0	593	0	593	0	0	0	5,418
トレーニング	59	1,432	82	6,672	224	6,978	0	8,332	8,332	16,742
綱引き	23	880	0	0	0	0	0	0	0	880
フットサル	94	2,244	5	198	3	206	0	0	0	2,450
大会	197	66,265	0	0	0	0	0	0	0	66,265
その他	819	33,231	0	0	1,935	1,935	0	0	0	35,166
幼児体育室	0	0	0	0	783	783	0	0	0	783
27年度	5,777	173,344	655	11,080	4,687	16,422	0	8,332	8,332	198,098
26年度	5,479	179,992	779	10,109	2,756	13,644	0	6,162	6,162	199,798

⑧ 岡谷市民水泳プール

区 分	開場 日数	コース専用使用	個人使用				回数券	
			小中 学生	一般	市内 小中 (無料)	その他 無料 減免	小中 学生	一般
4月	25	357.0	21	136	72	6	0	24
5月	27	263.0	49	218	156	7	0	34
6月	26	266.0	57	241	235	9	2	38
7月	27	271.0	174	453	625	21	1	33
8月	29	361.0	408	777	631	40	1	29
9月	26	365.0	40	182	152	9	0	37
10月	26	340.0	13	160	71	9	0	26
11月	26	205.0	7	153	78	9	0	24
12月	20	198.5	7	100	28	7	0	27
1月	21	211.0	3	80	31	5	0	20
2月	25	331.0	4	142	35	5	0	14
3月	26	234.0	5	136	59	10	1	27
27年度	304	3,402.5	788	2,778	2,173	137	5	333
26年度	304	3,374.0	844	2,313	2,238	145	4	306

※参考：平成27年度 無料利用者数

施設名	利用者数	備考
岡谷市民総合体育館	4,687人	市内小中学生、幼児体育室等
岡谷市営庭球場	934	市内小中学生
岡谷市民水泳プール	2,173	市内小中学生
岡谷市やまびこ国際スケートセンター	2,515	市内中学生以下
岡谷市やまびこアリーナ	1,297	市内中学生以下

(3)平成28年度体育事業

① 岡谷市・岡谷市教育委員会主催事業

・各区対抗体育大会

事業名	会場
軟式野球競技	市営岡谷球場
ソフトテニス競技	市営庭球場
卓球競技	市民総合体育館スワンドーム
バドミントン競技	市民総合体育館スワンドーム
マレットゴルフ競技	湖畔公園マレットゴルフ場
ソフトバレーボール競技	市民総合体育館東体育館
ソフトボール競技	川岸スポーツ広場
エースドッジボール競技	市民総合体育館スワンドーム
40歳以上野球競技	市営岡谷球場
ボウリング競技	スポーツ岡谷
総合体育大会(綱引競技・表彰式等)	市民総合体育館スワンドーム

・市民スポーツ普及大会

事業名	会場
夏季スポーツ祭(軟式野球)	市営岡谷球場
夏季スポーツ祭(ソフトテニス)	市営庭球場
夏季スポーツ祭(卓球)	市民総合体育館
夏季スポーツ祭(バドミントン)	市民総合体育館
夏季スポーツ祭(柔道)	市民総合体育館柔道場
夏季スポーツ祭(剣道)	市民総合体育館剣道場
夏季スポーツ祭(弓道)	市民総合体育館弓道場
学童春季 高円宮賜杯第36回全日本学童軟式野球 兼第35回県学童軟式野球選手権春季大会予選	市営岡谷球場
第36回学童軟式野球選手権秋季大会予選(学童夏季)	市営岡谷球場
学童秋季軟式野球大会	市営岡谷球場
第51回岡谷市ママさんバレーボール大会	市民総合体育館 他
家庭婦人バレーボールリーグ戦	市民総合体育館 他
岡谷市民春季陸上競技大会	市営陸上競技場
第70回岡谷市民陸上競技選手権大会	市営陸上競技場
第38回市民元旦マラソン大会	市民総合体育館駐車場
第17回市民インドアソフトテニス大会	市民総合体育館
第42回岡谷市民テニス大会(シングルス)	市営庭球場
第42回岡谷市民テニス大会(ダブルス)	市営庭球場
第44回岡谷市卓球選手権大会	市民総合体育館
第48回岡谷市民バスケットボール大会(中学生の部)	市民総合体育館
第48回岡谷市民バスケットボール大会(一般の部)	市民総合体育館
市民夜間ソフトボールリーグ戦	市営岡谷球場
第38回岡谷市民女子ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
第50回岡谷市民男子ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
第41回市民スケート大会	やまびこ国際スケートセンター
岡谷市民スキー大会	霧ヶ峰スキー場
第62回岡谷市民水泳競技大会	市民屋内水泳プール
第46回岡谷市民登山	ハヶ岳(西岳)
早起き野球リーグ戦	湖畔広場ほか
早起き野球トーナメント戦	湖畔広場ほか
第29回エースドッジボール市民大会春季大会	市民総合体育館
第28回岡谷市エースドッジボールジュニア大会	市民総合体育館
第29回エースドッジボール市民大会秋季大会	市民総合体育館
第28回岡谷市内小学校エースドッジボール大会	市民総合体育館

事業名	会場
富岡市エースドッジボール交流大会	市民総合体育館
第30回エースドッジボール市民選手権大会	市民総合体育館
第28回夏季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第10回岡谷市民綱引大会	市民総合体育館
第23回市民カーリング大会	やまびこアイスアリーナ

・競技力向上事業

事業名	会場
第26回長野県市町村対抗駅伝競走大会	松本平広域公園陸上競技場発着
第12回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会	松本平広域公園陸上競技場
第13回諏訪湖少年剣道練成大会	市民総合体育館剣道場
第67回諏訪地方陸上競技選手権大会	茅野市運動公園陸上競技場
第13回諏訪郡市中学生ソフトテニス大会	市営庭球場
第85回南信卓球選手権大会	市民総合体育館
第37回諏訪郡市バスケットボール選手権大会	市民総合体育館
第45回南信少年柔剣道大会(柔道)	市民総合体育館柔道場
第45回南信少年柔剣道大会(剣道)	市民総合体育館剣道場
第66回諏訪地方スケート大会	やまびこ国際スケートセンター

・長野県エースドッジボール協会主催事業

事業名	会場
第26回長野県エースドッジボール諏訪南地区予選会	茅野市
第26回長野県エースドッジボール上伊那地区予選会	伊那市
第26回長野県エースドッジボール大会	市民総合体育館スワンドーム

② その他スポーツ大会

・(公財)岡谷市体育協会支援大会

事業名	会場
市民女子秋季ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
ふれあいママさんバレーボールフェスティバル	市民総合体育館
諏訪湖お盆駅伝	諏訪湖畔広場・道路
甲府・岡谷ソフトテニス交流会	市営庭球場
岡谷市内小中学生長距離記録会	市営陸上競技場
岡谷チャンピオンズリーグ野球大会	市営岡谷球場
マスターズリーグ戦(バレー)	市民総合体育館
岡谷市職域ソフトテニス大会	市営庭球場
岡谷市家庭婦人ソフトテニス大会	市営庭球場
岡谷市ソフトテニス選手権大会	市営庭球場
岡谷ジュニア春季選手権大会	市営庭球場
早朝テニス大会岡谷テニス協会員大会	市営庭球場
岡谷テニス協会杯トーナメント大会	市営庭球場
甲府・岡谷親睦卓球大会	市民総合体育館
壮年ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
平成28年度サッカーリーグ戦(前期)	湖畔広場
平成28年度サッカーリーグ戦(後期)	湖畔広場
夏季小学生サッカー大会	湖畔広場
秋季小学生サッカー大会	湖畔広場
平成28年度岡谷フットサルリーグ	市民総合体育館
春の市民ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
岡谷市地区対抗ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
岡谷市民ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
第75回岡谷市民ボウリング大会	スポーツ岡谷
第76回岡谷市民ボウリング大会	スポーツ岡谷
第77回岡谷市民ボウリング大会	スポーツ岡谷

事業名	会場
塩嶺王城パークラインマラソン	塩嶺王城パークライン
諏訪湖マラソン	諏訪湖
県縦断駅伝競走	長野県内
諏訪湖剣道大会	市民総合体育館
bjリーグ	市民総合体育館
信州諏訪湖温泉ラージボール卓球大会	市民総合体育館
諏訪地方ふらばー大会	市民総合体育館
やまびこカップスピードスケート競技会	やまびこ国際スケートセンター
前期研修ゲートボール大会	市営ゲートボール場
八十二BK杯ゲートボール大会	市営ゲートボール場
岡谷市民新聞杯ゲートボール大会	市営ゲートボール場
知事市長杯ゲートボール大会	市営ゲートボール場
市民ゲートボール大会	市営ゲートボール場
体育の日記念ゲートボール大会	市営ゲートボール場
後期研修ゲートボール大会	市営ゲートボール場
春季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
岡谷市長杯マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
会長杯市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
秋季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
市民マレットゴルフ選手権大会	湖畔公園マレットゴルフ場
創立22周年記念ダンスパーティー	市民総合体育館
全日本少年軟式野球大会予選(中学)	市営岡谷球場
中部地区選抜中学軟式野球大会予選	市営岡谷球場
全日本少年春季軟式野球大会予選	市営岡谷球場
岡谷オープンミックステニス大会	市営庭球場
岡谷ジュニアオープンテニス	市営庭球場
岡谷FDクリスマスパーティー	長地公民館

・スポーツ少年団主催事業

事業名	会場
軟式野球春季交流大会	市営岡谷球場
市長杯・議長杯軟式野球交流大会	湖畔広場
スポーツ少年団軟式野球交流大会(県知事杯)	湖畔広場・やまびこ公園
ライオンズ杯軟式野球交流大会	湖畔広場
軟式野球3年生交流大会	湖畔広場
秋季軟式野球交流大会(4・6年生大会)	湖畔広場
中学生硬式野球交流大会	市営岡谷球場
シルク杯バレーボール交流大会	市民総合体育館
バレーボール交流大会	市民総合体育館 他
ソフトテニス交流大会	市営庭球場
武道空手大会	市民総合体育館

・市関連その他事業

事業名	会場
第15回岡谷カップソフトバレーの部	市民総合体育館スワンドーム
第15回岡谷カップバレーボール高校女子の部	市民総合体育館スワンドーム 他
第15回岡谷カップバレーボールママさんの部	市民総合体育館スワンドーム
第15回岡谷カップバレーボール小学生の部	市民総合体育館スワンドーム 他
第15回岡谷カップバレーボール中学生男女の部	市民総合体育館スワンドーム 他
第15回岡谷カップバレーボール高校男子の部	市民総合体育館スワンドーム

6. 冬季国体推進室

(1) 事業目的

平成29年(2017年)に長野県で開催される第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会の一部が岡谷市において開催されるため、関係団体や県・軽井沢町と連携し、体制づくりを図るとともに、計画的に準備を進める。当該大会を機に、市民スポーツの振興や競技力の向上を図るとともに、地域の活性化やまちの情報発信に繋げ、スケートのまちづくりを推進する。

(2) 競技会の概要

① 大会名

第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会

② 大会目的

広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して、国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするもの。

③ 主催

(公財)日本体育協会、文部科学省、長野県、岡谷市、軽井沢町、(公財)日本アイスホッケー連盟

④ 会期

平成29年1月27日(金)～1月31日(火) 5日間

⑤ 競技会場・競技種目・試合日程

- 軽井沢会場 軽井沢町風越公園アイスアリーナ
 - ・成年男子
- 岡谷会場 やまびこスケートの森アイスアリーナ
 - ・成年男子1. 2回戦の一部(5試合:8チーム)
 - ・少年男子全試合(17試合:13チーム)

※岡谷会場での試合日程

種目	1月27日(金)	1月28日(土)	1月29日(日)	1月30日(月)	1月31日(火)
成年男子	1回戦 (4試合)	2回戦 (1試合)			
少年男子		1回戦 (5試合)	準々決勝 (4試合)	準決勝 (2試合) 順位決定戦 (4試合)	決勝戦 (1試合) 3位決定戦 (1試合)
試合数	4試合	6試合	4試合	6試合	2試合

※公式練習:1月25日(水)～26日(木) 2日間(予定)

⑥ 種目及び参加人員 ※ ()内は岡谷会場分

種目	監督数	選手数	参加都道府県数	小計	合計
成年男子	1人	16人	26チーム (8チーム)	442人 (136人)	663人 (357人)
少年男子	1人	16人	(13チーム)	(221人)	

※その他大会役員等(約150人)

⑦ 諸会議

【組合せ抽選会】

平成29年1月10日(火)午後2時～ 東京都岸記念体育会館

【監督会議】※岡谷会場分

平成29年1月26日(木)午後2時～
イルフプラザ3階 カルチャーセンター 多目的ホール

(3) 平成28年度重点施策

国体冬季大会アイスホッケー競技会開催事業として、第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会岡谷市実行委員会を設立し事業運営を進めていくほか、競技運営に必要な施設整備としてアイスアリーナ得点板表示システム設置工事を実施する。

姉妹都市

マウントプレザント市（アメリカ合衆国ミシガン州）

昭和 40 年 6 月提携

富岡市（群馬県）

昭和 47 年 10 月提携

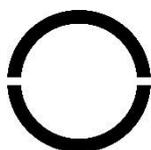
玉野市（岡山県）

昭和 55 年 10 月提携

東伊豆町（静岡県賀茂郡）

昭和 60 年 3 月提携

○市章



市章（昭和 11 年 5 月 9 日制定）

線の太さは直径の 1/10、上下円弧は同形、中心水平の位置に太さの 1/2 の間隔を置く。上半径は岡、下半径は谷を表し、上下半円が協力円満な市の発展を表現しています。

○市木・市花

市木：いちい

市花：つつじ

（昭和 51 年 7 月 1 日指定）

平成 28 年度 岡谷市教育要覧

（-2016-）

編集 岡谷市教育委員会
及び発行 岡谷市幸町 8 番 1 号
TEL (0266) 23-4811
FAX (0266) 24-2755

表紙

「しんけんにふくわたし」

小井川小学校 4 年生の作品